

更別村国民健康保険
第3期データヘルス計画及び
第4期特定健康診査等実施計画

【別冊 参考資料】

令和6年3月
更別村

-目次-

参考資料		
医療費等統計		
1. 基礎統計		5
2. 高額レセプトに係る分析		13
3. 疾病別医療費		19
4. 生活習慣病に係る医療費等の状況		33
5. 特定健康診査に係る分析結果		40
6. 骨折予防・骨粗鬆症重症化予防に係る分析		48
7. 要介護認定状況に係る分析		54
保健事業に係る分析		
1. 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析		64
2. 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析		69
3. 受診行動適正化指導対象者に係る分析		74
4. ジェネリック医薬品普及率に係る分析		77
5. 薬剤併用禁忌に係る分析		80
6. 長期多剤服薬者に係る分析		82
「医療費等統計」と「保健事業に係る分析」の分析結果まとめ		84
年度別 特定健康診査結果等分析		
1. 有所見者割合		91
2. 質問別回答状況		100
巻末資料		
1. 「指導対象者群分析」のグループ分けの見方		117
2. 用語解説集		118
3. 疾病分類		120
4. 分析方法		124

參考資料

参考資料 医療費等統計

1. 基礎統計

当医療費統計は、令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)のレセプトデータを対象とし分析する。被保険者数、レセプト件数、医療費、患者数等は以下のとおりである。被保険者数は平均1,201人、レセプト件数は平均1,180件、患者数は平均521人となった。また、患者一人当たりの医療費は平均39,540円となった。

基礎統計

		令和4年4月	令和4年5月	令和4年6月	令和4年7月	令和4年8月	令和4年9月	令和4年10月	
A	被保険者数(人)	1,234	1,221	1,200	1,202	1,203	1,191	1,192	
B	レセプト件数(件)	入院外	699	691	692	738	742	580	642
		入院	11	16	10	10	8	9	11
		調剤	489	478	459	497	526	407	468
		合計	1,199	1,185	1,161	1,245	1,276	996	1,121
C	医療費(円) ※	18,540,090	19,681,300	19,380,000	24,118,250	21,066,350	17,851,200	19,826,470	
D	患者数(人) ※	525	532	516	554	560	437	497	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	15,024	16,119	16,150	20,065	17,512	14,988	16,633	
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	15,463	16,609	16,693	19,372	16,510	17,923	17,686	
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	35,314	36,995	37,558	43,535	37,618	40,849	39,892	
D/A	有病率(%)	42.5%	43.6%	43.0%	46.1%	46.6%	36.7%	41.7%	
三要素	受診率(件/人・月) ※	0.58	0.58	0.59	0.62	0.62	0.49	0.55	
	一件当たりの日数(日) ※	1.37	1.40	1.40	1.45	1.40	1.40	1.36	
	一日当たりの医療費(円) ※	19,113	19,860	19,735	22,249	20,082	21,717	22,252	

		令和4年11月	令和4年12月	令和5年1月	令和5年2月	令和5年3月	12カ月平均	12カ月合計	
A	被保険者数(人)	1,188	1,187	1,195	1,197	1,205	1,201		
B	レセプト件数(件)	入院外	696	701	686	679	710	688	8,256
		入院	10	10	9	7	12	10	123
		調剤	491	498	476	496	491	481	5,776
		合計	1,197	1,209	1,171	1,182	1,213	1,180	14,155
C	医療費(円) ※	23,948,520	22,564,570	19,601,130	16,735,850	23,730,180	20,586,993	247,043,910	
D	患者数(人) ※	521	533	520	513	540	521	6,248	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	20,159	19,010	16,403	13,981	19,693	17,138		
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	20,007	18,664	16,739	14,159	19,563	17,453		
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	45,966	42,335	37,694	32,623	43,945	39,540		
D/A	有病率(%)	43.9%	44.9%	43.5%	42.9%	44.8%	43.3%		
三要素	受診率(件/人・月) ※	0.59	0.60	0.58	0.57	0.60			
	一件当たりの日数(日) ※	1.50	1.45	1.40	1.37	1.44			
	一日当たりの医療費(円) ※	22,679	21,950	20,124	17,804	22,774			

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…レセプトに記載されている請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※患者数…同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は、一人として集計。

※受診率…被保険者一人当たり、一月当たりのレセプト件数。集計に調剤レセプトを含まない。一月当たりのレセプト件数のため、他帳票の受診率とは一致しない。

※一件当たりの日数…集計に調剤レセプトを含まない。

※一日当たりの医療費…医療費の集計に調剤レセプトを含む。日数の集計に調剤レセプトを含まない。

以下は、令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)について、被保険者一人当たりの医療費及びその構成要素である受診率、一件当たりの日数、一日当たりの医療費を入院・入院外別に示したものである。

受診率は被保険者一人当たりのレセプト件数である。受診動向や感染症の流行に影響を受けやすく医療機関を受診する人が多いと受診率が高くなる。一件当たりの日数はレセプト一件当たりの診療実日数であり、通院頻度や入院日数等の影響を受ける。一日当たりの医療費は医療費の単価(一回の診療または一日の入院にかかる医療費)を表す。

被保険者一人当たりの医療費及び医療費の三要素

		入院	入院外	全体
被保険者一人当たりの医療費(円)		41,135	146,303	187,438
三要素	受診率(件/人) ※	0.09	6.26	6.36
	一件当たりの日数(日) ※	7.15	1.33	1.41
	一日当たりの医療費(円) ※	61,610	17,611	20,885

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

本分析における被保険者一人当たりの医療費は、分析期間内の被保険者数を用いて算出している。そのため、月単位の被保険者数を用いて算出している他帳票とは一致しない。

※受診率…被保険者一人当たりのレセプト件数。集計に調剤レセプトを含まない。

※一件当たりの日数…集計に調剤レセプトを含まない。

※一日当たりの医療費…医療費の集計に調剤レセプトを含む。日数の集計に調剤レセプトを含まない。

以下は、年齢階層別に被保険者数、レセプト件数、医療費、患者数等を示したものである。

年齢階層別基礎統計

年齢階層	A 被保険者数(人)	B レセプト件数(件)				C 医療費(円) ※	D 患者数(人) ※
		入院外	入院	調剤	合計		
0歳～4歳	57	322	18	243	583	8,510,780	53
5歳～9歳	58	336	1	269	606	4,647,220	56
10歳～14歳	58	207	9	114	330	10,519,160	50
15歳～19歳	62	206	2	129	337	3,317,720	43
20歳～24歳	52	169	4	94	267	2,859,670	30
25歳～29歳	67	161	5	103	269	2,887,960	37
30歳～34歳	65	299	7	187	493	5,187,780	47
35歳～39歳	78	367	16	235	618	17,061,150	57
40歳～44歳	82	329	4	225	558	8,308,530	61
45歳～49歳	61	322	3	200	525	9,391,680	48
50歳～54歳	80	414	6	292	712	12,566,800	58
55歳～59歳	92	570	4	435	1,009	11,892,180	75
60歳～64歳	132	1,063	9	761	1,833	32,640,760	115
65歳～69歳	169	1,528	9	1,059	2,596	54,718,490	155
70歳～	205	1,963	26	1,430	3,419	62,534,030	186
合計	1,318	8,256	123	5,776	14,155	247,043,910	1,071

年齢階層	C/A	C/B	C/D	D/A	医療費の三要素		
	被保険者一人当たりの医療費(円)	レセプト一件当たりの医療費(円)	患者一人当たりの医療費(円)	有病率(%)	受診率(件/人) ※	一件当たりの日数(日) ※	一日当たりの医療費(円) ※
0歳～4歳	149,312	14,598	160,581	93.0%	5.96	1.45	17,298
5歳～9歳	80,124	7,669	82,986	96.6%	5.81	1.22	11,280
10歳～14歳	181,365	31,876	210,383	86.2%	3.72	1.89	25,782
15歳～19歳	53,512	9,845	77,156	69.4%	3.35	1.30	12,288
20歳～24歳	54,994	10,710	95,322	57.7%	3.33	1.34	12,326
25歳～29歳	43,104	10,736	78,053	55.2%	2.48	1.39	12,556
30歳～34歳	79,812	10,523	110,378	72.3%	4.71	1.43	11,871
35歳～39歳	218,733	27,607	299,318	73.1%	4.91	1.68	26,492
40歳～44歳	101,324	14,890	136,205	74.4%	4.06	1.28	19,458
45歳～49歳	153,962	17,889	195,660	78.7%	5.33	1.34	21,491
50歳～54歳	157,085	17,650	216,669	72.5%	5.25	1.32	22,602
55歳～59歳	129,263	11,786	158,562	81.5%	6.24	1.34	15,505
60歳～64歳	247,278	17,807	283,833	87.1%	8.12	1.49	20,375
65歳～69歳	323,778	21,078	353,023	91.7%	9.09	1.41	25,204
70歳～	305,044	18,290	336,204	90.7%	9.70	1.38	22,789
合計	187,438	17,453	230,667	81.3%	6.36	1.41	20,885

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

年齢階層別基礎統計は分析期間内の被保険者数、患者数を算出している。他基礎統計では被保険者数、患者数を月単位で算出しており、本統計とは一致しない。

※医療費…レセプトに記載されている請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※患者数…分析期間中に一人の方に複数のレセプトが発行された場合は、一人として集計。

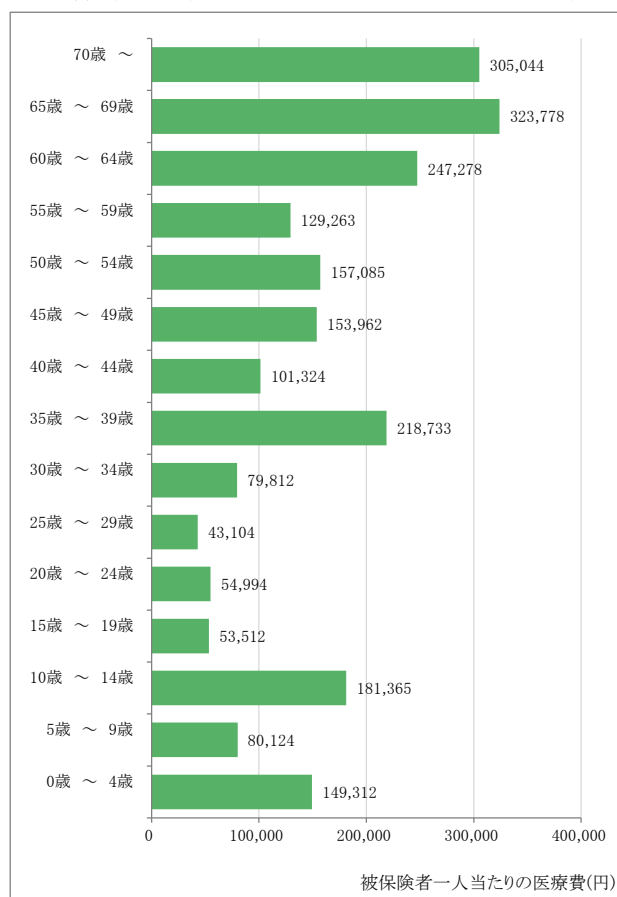
※受診率…被保険者一人当たりのレセプト件数。集計に調剤レセプトを含まない。

※一件当たりの日数…集計に調剤レセプトを含まない。

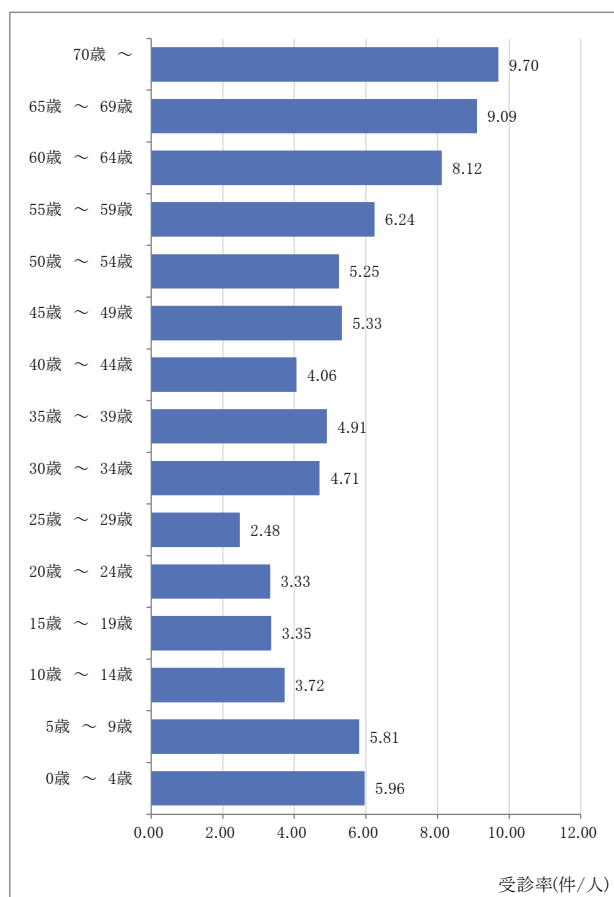
※一日当たりの医療費…医療費の集計に調剤レセプトを含む。日数の集計に調剤レセプトを含まない。

以下は、被保険者一人当たりの医療費、受診率、一件当たりの日数、一日当たりの医療費の年齢階層別の状況をグラフにて示したものである。

年齢階層別 被保険者一人当たりの医療費

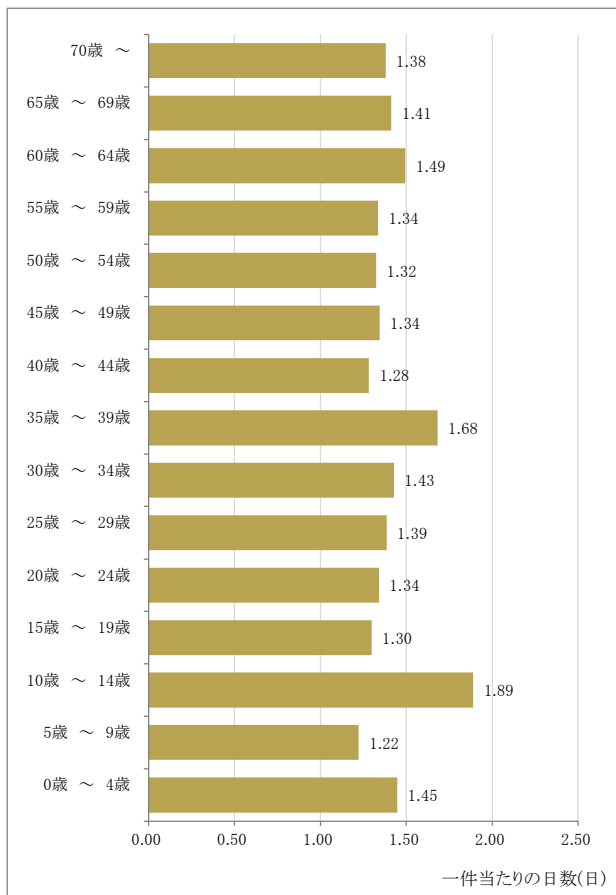


年齢階層別 受診率

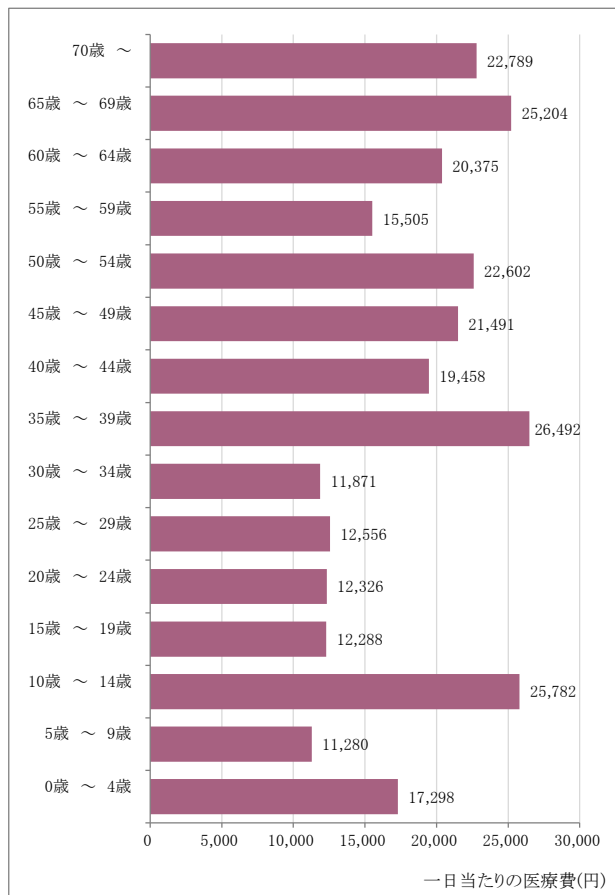


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
 資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
 受診率…被保険者一人当たりのレセプト件数。集計に調剤レセプトを含まない。

年齢階層別 一件当たりの日数



年齢階層別 一日当たりの医療費



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

一件当たりの日数…集計に調剤レセプトを含まない。

一日当たりの医療費…医療費の集計に調剤レセプトを含む。日数の集計に調剤レセプトを含まない。

令和2年度から令和4年度におけるレセプトデータを対象とし年度別に分析する。令和4年度を令和2年度と比較すると、一カ月平均の被保険者数1,201人は、令和2年度1,212人より11人減少しており、医療費2億4,704万円は令和2年度3億658万円より5,954万円減少している。また、一カ月平均の患者数521人は、令和2年度514人より7人増加している。

年度別 基礎統計

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
A	一カ月平均の被保険者数(人)	1,212	1,208	1,201	
B	レセプト件数(件)	入院外	8,143	8,310	8,256
		入院	219	159	123
		調剤	5,530	5,691	5,776
		合計	13,892	14,160	14,155
C	医療費(円) ※	306,582,670	299,970,080	247,043,910	
D	一カ月平均の患者数(人) ※	514	517	521	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	252,939	248,422	205,656	
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	22,069	21,184	17,453	
D/A	有病率(%)	42.4%	42.8%	43.3%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

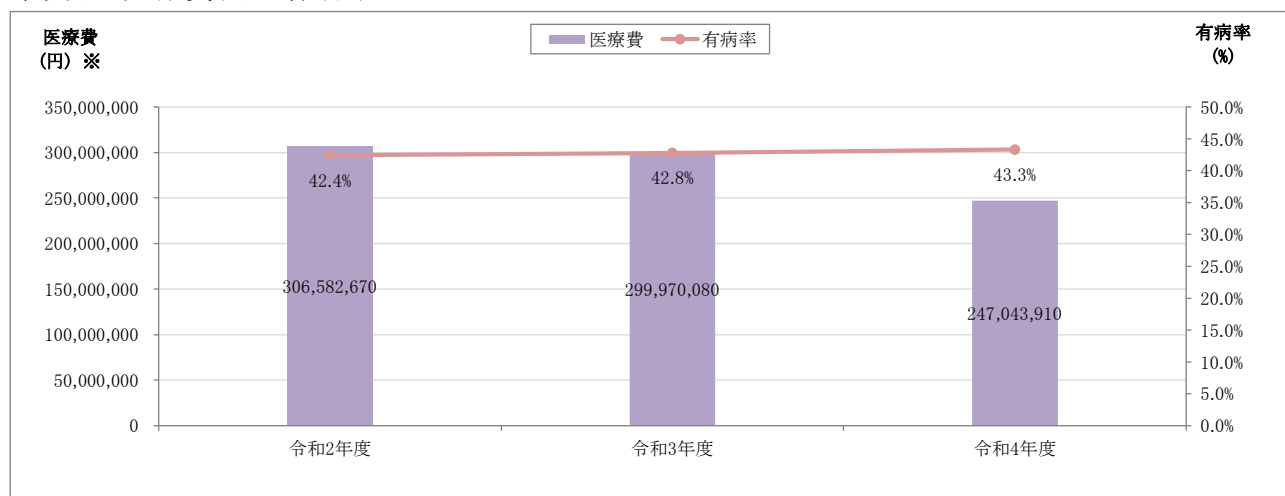
対象診療年月は令和2年4月～令和5年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…レセプトに記載されている請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※一カ月平均の患者数…同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は一人として集計。

年度別 医療費及び有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和5年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…レセプトに記載されている請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

以下は、年度別の被保険者一人当たりの医療費及びその構成要素である受診率、一件当たりの日数、一日当たりの医療費について入院・入院外別に示したものである。

年度別 被保険者一人当たりの医療費及び医療費の三要素

年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
入院	被保険者一人当たりの医療費(円)	94,946	81,626	41,135	
	三要素	受診率(件/人) ※	0.17	0.12	0.09
		一件当たりの日数(日) ※	12.90	11.57	7.15
		一日当たりの医療費(円) ※	44,349	58,367	61,610
入院外	被保険者一人当たりの医療費(円)	137,313	146,488	146,303	
	三要素	受診率(件/人) ※	6.17	6.32	6.26
		一件当たりの日数(日) ※	1.34	1.32	1.33
		一日当たりの医療費(円) ※	16,636	17,594	17,611
全体	被保険者一人当たりの医療費(円)	232,260	228,114	187,438	
	三要素	受診率(件/人) ※	6.33	6.44	6.36
		一件当たりの日数(日) ※	1.64	1.51	1.41
		一日当たりの医療費(円) ※	22,344	23,457	20,885

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和2年4月～令和5年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

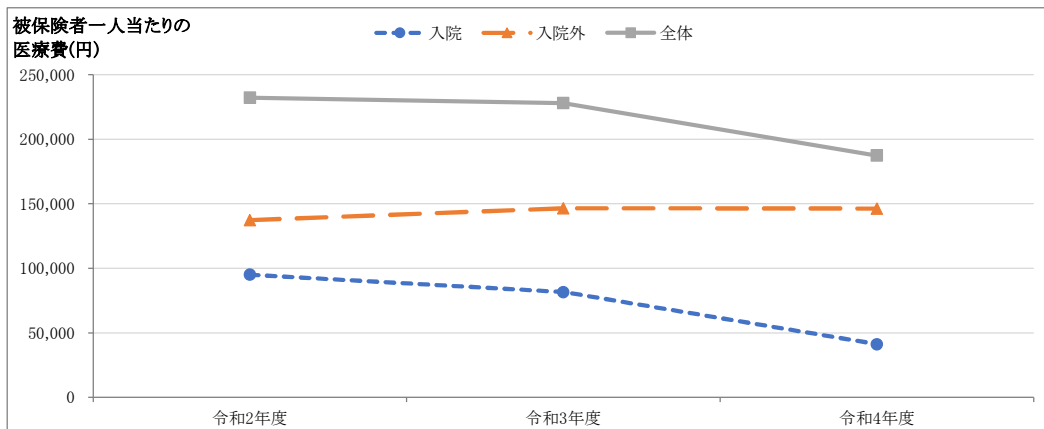
本分析における被保険者一人当たりの医療費は、各年度内の被保険者数を用いて算出している。年度別基礎統計の被保険者一人当たりの医療費は、各年度の一カ月平均の被保険者数を用いて算出しているため、本分析とは一致しない。

※受診率…被保険者一人当たりのレセプト件数。集計に調剤レセプトを含まない。

※一件当たりの日数…集計に調剤レセプトを含まない。

※一日当たりの医療費…医療費の集計に調剤レセプトを含む。日数の集計に調剤レセプトを含まない。

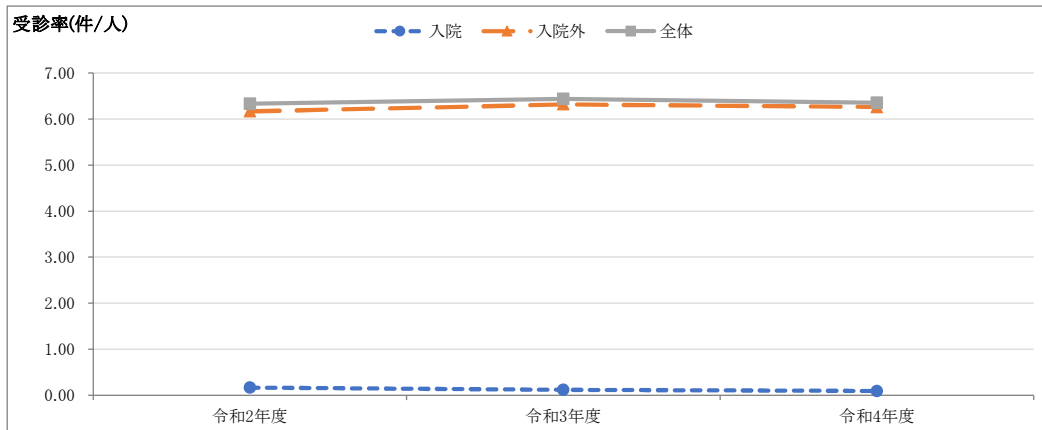
年度別 被保険者一人当たりの医療費



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和2年4月～令和5年3月診療分(36カ月分)。

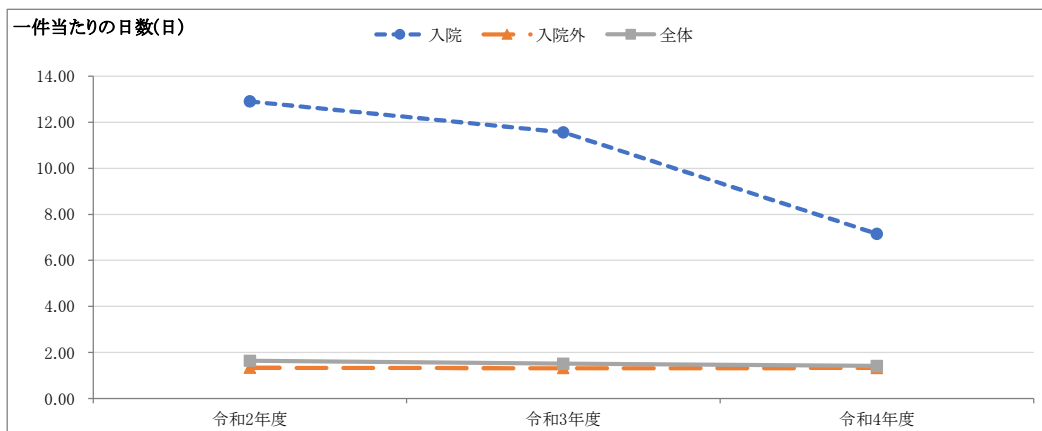
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

年度別 受診率



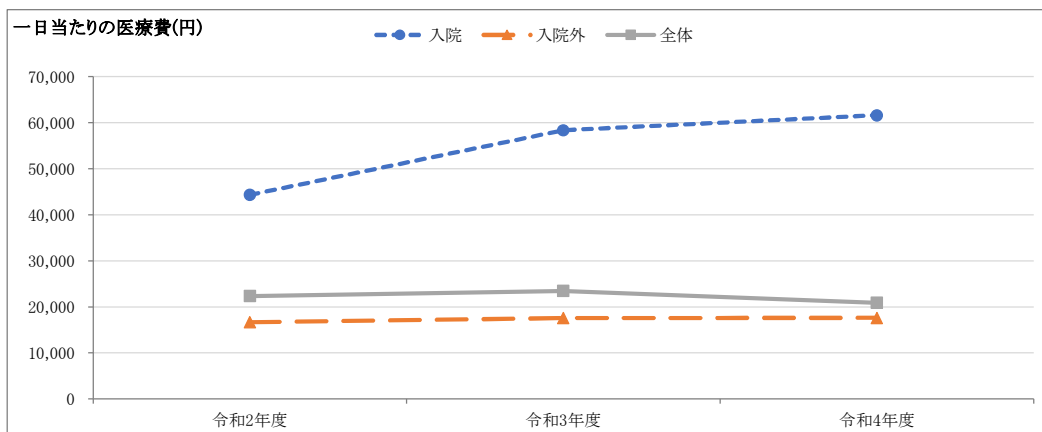
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外の電子レセプト。
 対象診療年月は令和2年4月～令和5年3月診療分(36カ月分)。
 資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
 受診率…被保険者一人当たりのレセプト件数。集計に調剤レセプトを含まない。

年度別 一件当たりの日数



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外の電子レセプト。
 対象診療年月は令和2年4月～令和5年3月診療分(36カ月分)。
 資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
 一件当たりの日数…集計に調剤レセプトを含まない。

年度別 一日当たりの医療費



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は令和2年4月～令和5年3月診療分(36カ月分)。
 資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
 一日当たりの医療費…医療費の集計に調剤レセプトを含む。日数の集計に調剤レセプトを含まない。

2. 高額レセプトに係る分析

(1) 高額レセプトの件数及び割合

令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、診療点数が5万点以上のものを高額レセプトとし、以下のとおり集計した。高額レセプトは60件発生しており、レセプト件数全体の0.4%を占める。高額レセプトの医療費は5,538万円となり、医療費全体の22.4%を占める。

高額(5万点以上)レセプト件数及び割合

		令和4年4月	令和4年5月	令和4年6月	令和4年7月	令和4年8月	令和4年9月	令和4年10月
A	レセプト件数(件)	1,199	1,185	1,161	1,245	1,276	996	1,121
B	高額レセプト件数(件)	3	6	6	7	4	5	5
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.3%	0.5%	0.5%	0.6%	0.3%	0.5%	0.4%
C	医療費全体(円) ※	18,540,090	19,681,300	19,380,000	24,118,250	21,066,350	17,851,200	19,826,470
D	高額レセプトの医療費(円) ※	3,028,410	4,944,550	4,278,650	8,925,090	3,224,080	4,281,270	4,329,350
E	その他レセプトの医療費(円) ※	15,511,680	14,736,750	15,101,350	15,193,160	17,842,270	13,569,930	15,497,120
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	16.3%	25.1%	22.1%	37.0%	15.3%	24.0%	21.8%

		令和4年11月	令和4年12月	令和5年1月	令和5年2月	令和5年3月	12カ月平均	12カ月合計
A	レセプト件数(件)	1,197	1,209	1,171	1,182	1,213	1,180	14,155
B	高額レセプト件数(件)	6	5	5	2	6	5	60
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.5%	0.4%	0.4%	0.2%	0.5%	0.4%	
C	医療費全体(円) ※	23,948,520	22,564,570	19,601,130	16,735,850	23,730,180	20,586,993	247,043,910
D	高額レセプトの医療費(円) ※	6,431,480	4,720,330	3,432,650	1,470,200	6,316,380	4,615,203	55,382,440
E	その他レセプトの医療費(円) ※	17,517,040	17,844,240	16,168,480	15,265,650	17,413,800	15,971,789	191,661,470
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	26.9%	20.9%	17.5%	8.8%	26.6%	22.4%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費全体…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

以下は、令和2年度から令和4年度に発生している高額レセプトの集計結果を年度別に示したものである。令和4年度高額レセプト件数60件は令和2年度113件より53件減少しており、令和4年度高額レセプトの医療費5,538万円は令和2年度1億1,272万円より5,734万円減少している。

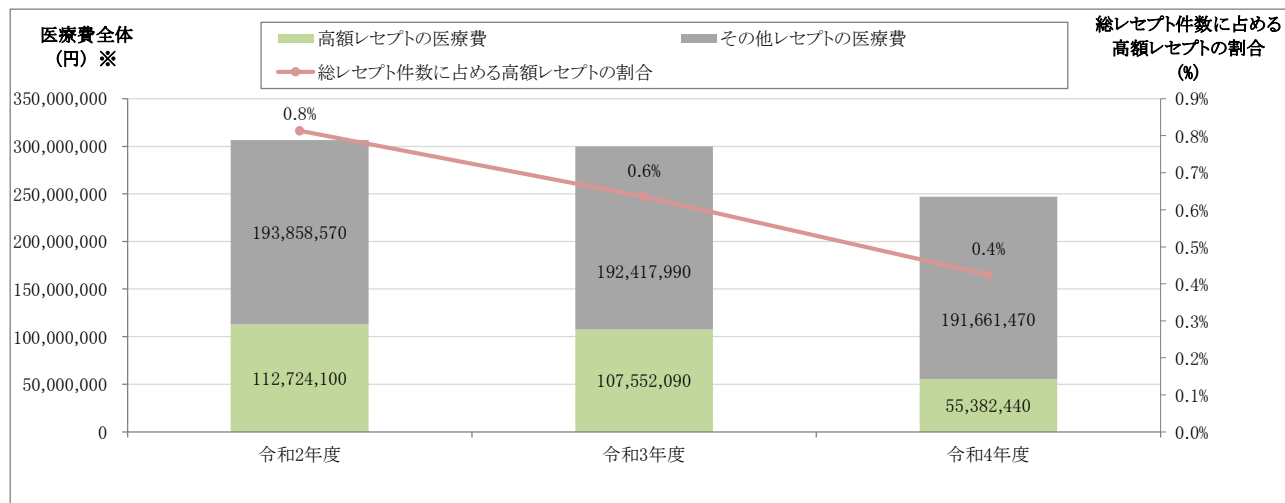
年度別 高額(5万点以上)レセプト件数及び割合

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
A	レセプト件数(件)	13,892	14,160	14,155
B	高額レセプト件数(件)	113	90	60
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.8%	0.6%	0.4%
C	医療費全体(円) ※	306,582,670	299,970,080	247,043,910
D	高額レセプトの医療費(円) ※	112,724,100	107,552,090	55,382,440
E	その他レセプトの医療費(円) ※	193,858,570	192,417,990	191,661,470
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	36.8%	35.9%	22.4%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和2年4月～令和5年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
※医療費全体…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。
※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。
※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

年度別 高額(5万点以上)レセプトの医療費及び件数割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和2年4月～令和5年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
※医療費全体…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

(2) 高額レセプト発生患者の疾病傾向

以下は、令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、高額レセプト発生患者の疾病傾向を示したものである。高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、最も医療費がかかっている疾病を主要傷病名と定義し、対象者の全医療費を集計した。高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類毎に分類した結果、高額レセプト発生患者の一人当たり医療費が高額な疾病分類は「乳房の悪性新生物<腫瘍>」「肺炎」「その他の悪性新生物<腫瘍>」等である。

高額(5万点以上)レセプト発生患者の疾病傾向(患者一人当たりの医療費順)

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
1	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳癌	1	0	8,786,950	8,786,950	8,786,950
2	1004	肺炎	細菌性肺炎	1	5,908,460	1,300,200	7,208,660	7,208,660
3	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 頭頂葉神経膠腫, 腎癌	7	17,031,870	17,520,180	34,552,050	4,936,007
4	1301	炎症性多発性関節障害	関節リウマチ	1	0	2,674,810	2,674,810	2,674,810
5	0906	脳梗塞	アテローム血栓性脳梗塞	1	2,238,260	234,800	2,473,060	2,473,060
6	1302	関節症	変形性膝関節症, 変形性股関節症	2	3,912,510	622,060	4,534,570	2,267,285
7	0704	その他の眼及び付属器の疾患	硝子体出血	1	687,570	1,440,100	2,127,670	2,127,670
8	0902	虚血性心疾患	不安定狭心症	1	1,237,430	640,740	1,878,170	1,878,170
9	1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	化膿性関節炎・指関節, 全身性エリテマトーデス	2	1,659,120	912,960	2,572,080	1,286,040
10	0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	小腸脂肪腫	1	1,097,080	131,760	1,228,840	1,228,840
11	0606	その他の神経系の疾患	顔面痙攣	1	1,104,420	121,150	1,225,570	1,225,570
12	1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	急性胃潰瘍穿孔	1	1,011,880	99,810	1,111,690	1,111,690
13	1111	胆石症及び胆のう炎	胆のう結石症, 胆石性胆のう炎	2	1,106,250	870,360	1,976,610	988,305
14	1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	踵骨骨折後遺症, 肩鎖靭帯損傷	2	1,271,760	640,780	1,912,540	956,270
15	1504	その他の妊娠, 分娩及び産じょく	骨盤位	1	884,760	57,570	942,330	942,330
16	1404	その他の腎尿路系の疾患	直腸膀胱瘻	1	874,990	58,920	933,910	933,910
17	0903	その他の心疾患	うっ血性心不全	1	724,630	191,050	915,680	915,680
18	0404	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	低カルシウム血症	1	608,530	120,280	728,810	728,810
19	1113	その他の消化器系の疾患	癒着性イレウス	1	565,910	123,550	689,460	689,460
20	1702	その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	多指症	1	524,750	143,630	668,380	668,380

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類毎に集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

以下は、令和2年度から令和4年度における、高額レセプト発生患者の疾病傾向を患者一人当たりの医療費順に年度別に示したものである。

年度別 高額(5万点以上)レセプト発生患者の疾病傾向(患者一人当たりの医療費順)

年度	順位	疾病分類(中分類)	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数(人) ※	患者一人当たりの 医療費(円) ※
令和2年度	1	0209 白血病	急性骨髄単球性白血病	1	7,455,840
	2	0905 脳内出血	視床出血	1	5,958,500
	3	0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	上葉非小細胞肺癌, 上葉肺腺癌, 下葉非小細胞肺癌	3	5,894,257
	4	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	腎癌, 膵頭部癌, 大脳深部神経膠腫	5	5,143,924
	5	1402 腎不全	慢性腎不全	1	4,639,370
令和3年度	1	0209 白血病	急性骨髄単球性白血病	1	26,991,040
	2	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳癌	1	7,984,380
	3	0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	TAFRO症候群	1	7,131,940
	4	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 膵頭部癌, 腎癌	6	4,610,527
	5	0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	下葉肺癌	1	2,873,060
令和4年度	1	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳癌	1	8,786,950
	2	1004 肺炎	細菌性肺炎	1	7,208,660
	3	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 頭頂葉神経膠腫, 腎癌	7	4,936,007
	4	1301 炎症性多発性関節障害	関節リウマチ	1	2,674,810
	5	0906 脳梗塞	アテローム血栓性脳梗塞	1	2,473,060

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和5年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類毎に集計した。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

以下は、令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)の高額レセプト発生患者の疾病傾向を患者数順に示したものである。高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類毎に分類した結果、高額レセプト発生患者数が多い疾病分類は「その他の悪性新生物<腫瘍>」「胆石症及び胆のう炎」「関節症」等である。

高額(5万点以上)レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 頭頂葉神経膠腫, 腎癌	7	17,031,870	17,520,180	34,552,050	4,936,007
2	1111	胆石症及び胆のう炎	胆のう結石症, 胆石性胆のう炎	2	1,106,250	870,360	1,976,610	988,305
2	1302	関節症	変形性膝関節症, 変形性股関節症	2	3,912,510	622,060	4,534,570	2,267,285
2	1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	化膿性関節炎・指関節, 全身性エリテマトーデス	2	1,659,120	912,960	2,572,080	1,286,040
2	1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	踵骨骨折後遺症, 肩鎖靭帯損傷	2	1,271,760	640,780	1,912,540	956,270
6	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳癌	1	0	8,786,950	8,786,950	8,786,950
6	0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	小腸脂肪腫	1	1,097,080	131,760	1,228,840	1,228,840
6	0404	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	低カルシウム血症	1	608,530	120,280	728,810	728,810
6	0606	その他の神経系の疾患	顔面痙攣	1	1,104,420	121,150	1,225,570	1,225,570
6	0704	その他の眼及び付属器の疾患	硝子体出血	1	687,570	1,440,100	2,127,670	2,127,670
6	0902	虚血性心疾患	不安定狭心症	1	1,237,430	640,740	1,878,170	1,878,170
6	0903	その他の心疾患	うっ血性心不全	1	724,630	191,050	915,680	915,680
6	0906	脳梗塞	アテローム血栓性脳梗塞	1	2,238,260	234,800	2,473,060	2,473,060
6	1004	肺炎	細菌性肺炎	1	5,908,460	1,300,200	7,208,660	7,208,660
6	1007	慢性副鼻腔炎	汎副鼻腔炎	1	512,110	129,920	642,030	642,030
6	1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	急性胃潰瘍穿孔	1	1,011,880	99,810	1,111,690	1,111,690
6	1113	その他の消化器系の疾患	癒着性イレウス	1	565,910	123,550	689,460	689,460
6	1301	炎症性多発性関節障害	関節リウマチ	1	0	2,674,810	2,674,810	2,674,810
6	1404	その他の腎尿路系の疾患	直腸膀胱瘻	1	874,990	58,920	933,910	933,910
6	1504	その他の妊娠, 分娩及び産じょく	骨盤位	1	884,760	57,570	942,330	942,330

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類毎に集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

以下は、令和2年度から令和4年度における、高額レセプト発生患者の疾病傾向を患者数順に年度別に示したものである。

年度別 高額(5万点以上)レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

年度	順位	疾病分類(中分類)	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数(人) ※	患者一人当たりの 医療費(円) ※	
令和2年度	1	1302 関節症	一側性原発性膝関節症, 原発性膝関節症, 変形性股関節症	6	2,243,565	
	2	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	腎癌, 膵頭部癌, 大脳深部神経膠腫	5	5,143,924	
	3	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	上葉非小細胞肺癌, 上葉肺腺癌, 下葉非小細胞肺癌	3	5,894,257	
	3	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症	3	2,252,567	
	3	0606 その他の神経系の疾患	レビー小体型認知症, 一過性脳虚血発作, 顔面神経麻痺	3	3,538,327	
	3	0704 その他の眼及び付属器の疾患	原発開放隅角緑内障, ぶどう膜炎	3	1,151,977	
	3	0906 脳梗塞	心原性脳塞栓症, ラクナ梗塞, アテローム血栓性脳梗塞	3	2,491,057	
	3	1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	陳旧性前十字靭帯損傷, 肩関節拘縮, 骨髄炎	3	1,391,483	
	3	1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	肩腱板断裂, 胸髄損傷, 前十字靭帯断裂	3	2,200,557	
令和3年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 膵頭部癌, 腎癌	6	4,610,527	
	2	1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	肩腱板断裂, 内側半月板損傷	4	2,663,888	
	3	0902 虚血性心疾患	急性下壁心筋梗塞	3	2,734,713	
	4	0202 結腸の悪性新生物<腫瘍>	虫垂癌, 上行結腸癌	2	1,846,165	
	4	0903 その他の心疾患	慢性うつ血性心不全, 心房細動	2	1,846,550	
	4	0906 脳梗塞	ラクナ梗塞, 心原性脳塞栓症	2	1,833,630	
	4	0908 その他の脳血管疾患	前交通動脈瘤, 内頸動脈狭窄症	2	2,086,540	
	4	1111 胆石症及び胆のう炎	胆石性急性胆のう炎, 急性胆のう炎	2	1,136,610	
	4	1302 関節症	変形性膝関節症, 変形性股関節症	2	1,409,645	
	4	1303 脊椎障害(脊椎症を含む)	腰部脊柱管狭窄症	2	2,801,810	
	4	1403 尿路結石症	尿管結石症, 腎結石症	2	1,441,920	
	令和4年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 頭頂葉神経膠腫, 腎癌	7	4,936,007
		2	1111 胆石症及び胆のう炎	胆のう結石症, 胆石性胆のう炎	2	988,305
2		1302 関節症	変形性膝関節症, 変形性股関節症	2	2,267,285	
2		1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	化膿性関節炎・指関節, 全身性エリテマトーデス	2	1,286,040	
2		1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	踵骨骨折後遺症, 肩鎖靭帯損傷	2	956,270	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和5年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間中の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類毎に集計した。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

3. 疾病別医療費

(1) 大分類による疾病別医療費統計

令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費、レセプト件数、患者数を算出した。「新生物<腫瘍>」が医療費合計の18.8%、「内分泌、栄養及び代謝疾患」は医療費合計の11.7%と高い割合を占めている。

大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	7,047,837	2.9%	12	1,040	12	276	10	25,536	15
II. 新生物<腫瘍>	46,349,848	18.8%	1	868	13	267	11	173,595	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	1,065,620	0.4%	20	369	18	100	17	10,656	19
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	28,802,783	11.7%	2	4,437	1	504	1	57,148	6
V. 精神及び行動の障害	8,154,098	3.3%	11	1,717	9	137	15	59,519	5
VI. 神経系の疾患	12,041,511	4.9%	9	2,543	6	235	13	51,240	9
VII. 眼及び付属器の疾患	12,371,470	5.0%	8	1,550	10	353	8	35,047	14
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,319,017	0.5%	19	446	16	101	16	13,060	18
IX. 循環器系の疾患	21,449,860	8.7%	4	3,832	2	396	6	54,166	7
X. 呼吸器系の疾患	21,383,134	8.7%	5	2,877	5	481	3	44,456	10
X I. 消化器系の疾患 ※	16,757,133	6.8%	6	3,545	3	449	4	37,321	13
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	5,712,974	2.3%	14	1,828	8	346	9	16,511	17
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	22,477,414	9.1%	3	3,273	4	429	5	52,395	8
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	15,000,906	6.1%	7	1,374	11	245	12	61,228	4
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	2,040,929	0.8%	16	53	20	19	20	107,417	3
X VI. 周産期に発生した病態 ※	1,431,747	0.6%	18	36	21	12	21	119,312	2
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	1,494,492	0.6%	17	74	19	34	19	43,956	11
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	5,054,618	2.1%	15	2,159	7	499	2	10,129	20
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	8,451,802	3.4%	10	656	15	212	14	39,867	12
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	595,894	0.2%	21	425	17	63	18	9,459	21
X X II. 特殊目的用コード	6,898,343	2.8%	13	857	14	361	7	19,109	16
分類外	0	0.0%		0		0		0	
合計	245,901,430			14,043		1,067		230,461	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

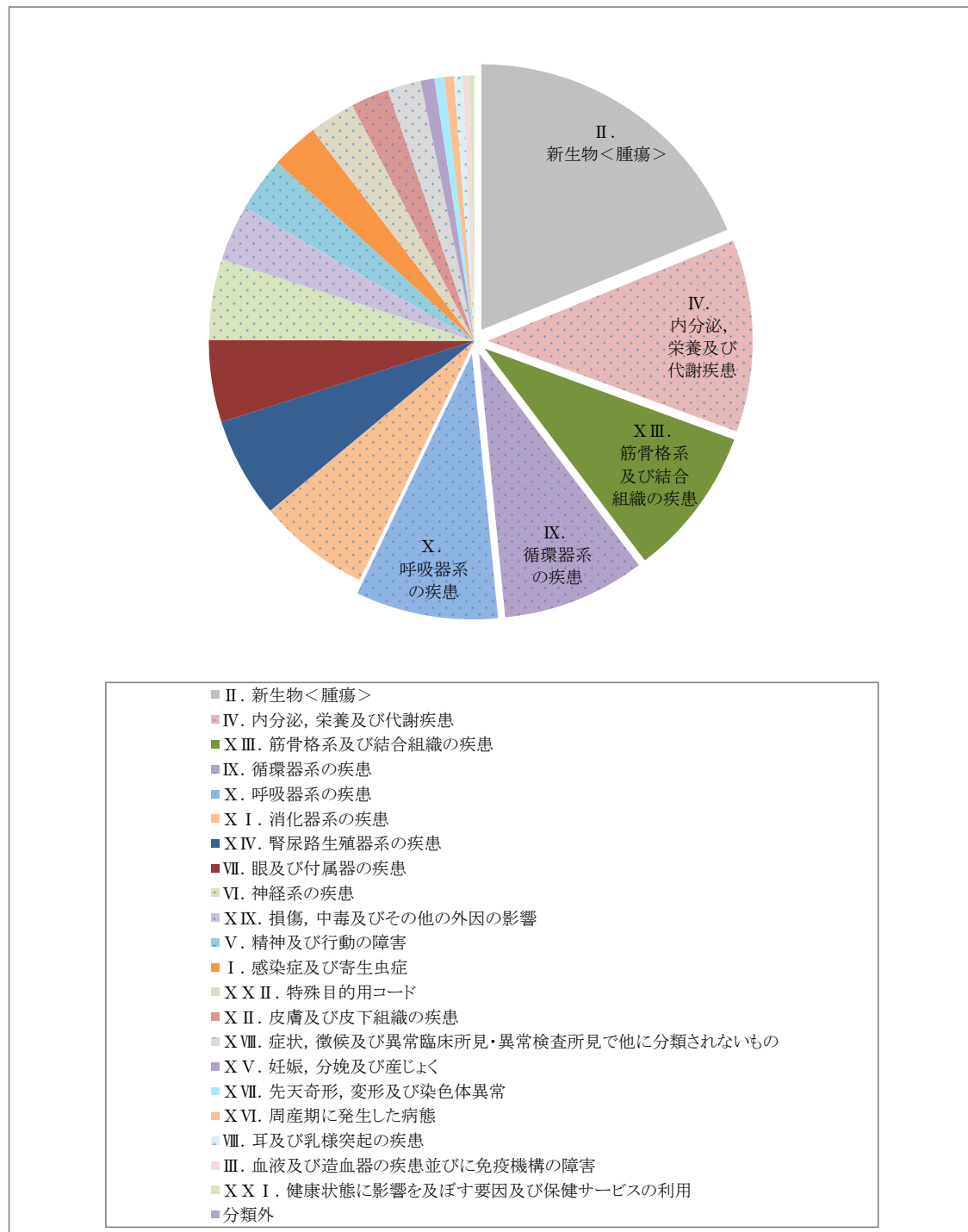
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

疾病項目別医療費割合は、「新生物<腫瘍>」「内分泌，栄養及び代謝疾患」「筋骨格系及び結合組織の疾患」「循環器系の疾患」「呼吸器系の疾患」の医療費で高い割合を占める。

疾病項目別医療費割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

以下は、令和2年度から令和4年度に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費を算出し年度別に示したものである。

年度別 大分類による疾病別医療費統計 ※各年度毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	令和2年度			令和3年度			令和4年度		
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	7,521,998	2.5%	13	13,223,664	4.4%	11	7,047,837	2.9%	12
II. 新生物<腫瘍>	57,187,711	18.7%	1	62,013,272	20.7%	1	46,349,848	18.8%	1
III. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	2,636,979	0.9%	16	8,469,936	2.8%	13	1,065,620	0.4%	20
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	29,711,526	9.7%	4	30,411,036	10.1%	3	28,802,783	11.7%	2
V. 精神及び行動の障害	15,716,565	5.1%	8	10,012,040	3.3%	12	8,154,098	3.3%	11
VI. 神経系の疾患	20,095,813	6.6%	6	13,297,647	4.4%	10	12,041,511	4.9%	9
VII. 眼及び付属器の疾患	14,370,369	4.7%	9	15,402,253	5.1%	8	12,371,470	5.0%	8
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,869,469	0.6%	18	2,264,882	0.8%	17	1,319,017	0.5%	19
IX. 循環器系の疾患	30,712,470	10.0%	3	32,068,188	10.7%	2	21,449,860	8.7%	4
X. 呼吸器系の疾患	20,770,492	6.8%	5	17,274,330	5.8%	6	21,383,134	8.7%	5
X I. 消化器系の疾患 ※	19,887,190	6.5%	7	19,608,590	6.5%	5	16,757,133	6.8%	6
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	11,346,439	3.7%	11	6,340,229	2.1%	14	5,712,974	2.3%	14
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	40,363,250	13.2%	2	29,115,316	9.7%	4	22,477,414	9.1%	3
X IV. 腎尿路生殖系系の疾患	13,063,470	4.3%	10	15,934,663	5.3%	7	15,000,906	6.1%	7
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	3,881,124	1.3%	14	1,440,342	0.5%	18	2,040,929	0.8%	16
X VI. 周産期に発生した病態 ※	81,106	0.0%	21	168,369	0.1%	21	1,431,747	0.6%	18
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	2,139,582	0.7%	17	1,231,915	0.4%	19	1,494,492	0.6%	17
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3,767,107	1.2%	15	3,965,626	1.3%	15	5,054,618	2.1%	15
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	9,770,564	3.2%	12	13,655,870	4.6%	9	8,451,802	3.4%	10
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	651,100	0.2%	19	960,329	0.3%	20	595,894	0.2%	21
X X II. 特殊目的用コード	647,904	0.2%	20	2,819,069	0.9%	16	6,898,343	2.8%	13
分類外	8,272	0.0%	22	10,794	0.0%	22	0	0.0%	
合計	306,200,500			299,688,360			245,901,430		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和5年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

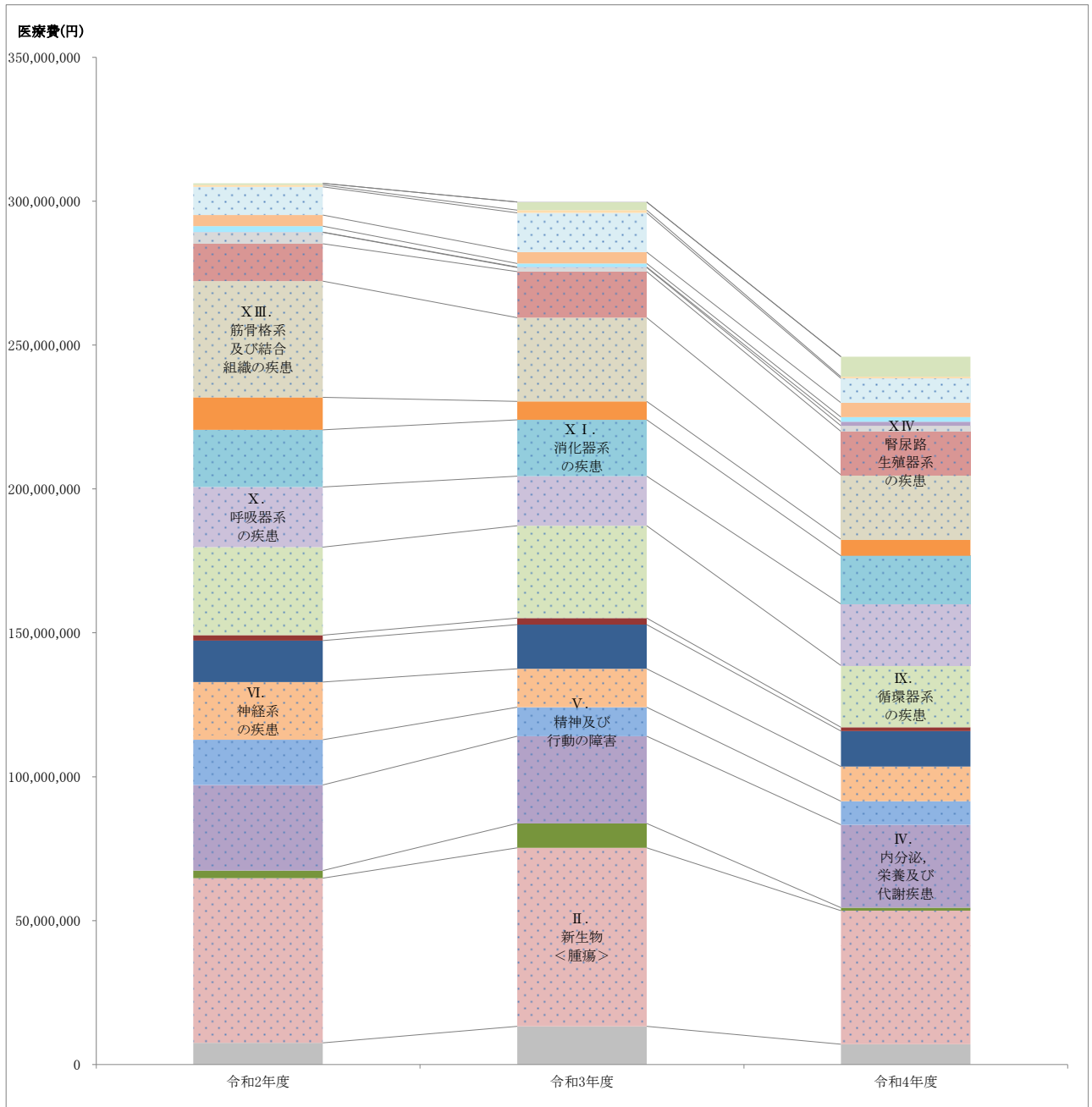
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

年度・疾病項目別医療費統計



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和5年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

(2) 中分類による疾病別医療費統計

以下は、令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費、患者数、患者一人当たりの医療費、各項目の上位10疾病を示したものである。

中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	32,687,066	13.3%	103
2	0402	糖尿病	16,292,632	6.6%	349
3	1113	その他の消化器系の疾患	9,979,050	4.1%	297
4	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	8,621,654	3.5%	16
5	0901	高血圧性疾患	8,495,160	3.5%	284
6	0606	その他の神経系の疾患	8,378,676	3.4%	210
7	0403	脂質異常症	7,998,270	3.3%	314
8	1402	腎不全	7,603,232	3.1%	29
9	0704	その他の眼及び付属器の疾患	7,447,641	3.0%	230
10	2220	その他の特殊目的用コード	6,898,343	2.8%	361

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	5,054,618	499	46.8%
2	2220	その他の特殊目的用コード	6,898,343	361	33.8%
3	0402	糖尿病	16,292,632	349	32.7%
4	0403	脂質異常症	7,998,270	314	29.4%
5	1113	その他の消化器系の疾患	9,979,050	297	27.8%
6	0901	高血圧性疾患	8,495,160	284	26.6%
7	0703	屈折及び調節の障害	1,615,919	278	26.1%
8	1003	その他の急性上気道感染症	2,646,625	245	23.0%
9	1202	皮膚炎及び湿疹	2,665,876	240	22.5%
10	1006	アレルギー性鼻炎	3,518,830	233	21.8%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
1	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	8,621,654	16	538,853
2	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	32,687,066	103	317,350
3	1402	腎不全	7,603,232	29	262,180
4	1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	1,077,263	8	134,658
5	0601	パーキンソン病	1,959,736	15	130,649
6	1504	その他の妊娠, 分娩及び産じょく	1,689,559	16	105,597
7	1004	肺炎	3,374,347	36	93,732
8	1501	流産	351,370	4	87,843
9	1301	炎症性多発性関節障害	5,451,387	65	83,867
10	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	2,662,446	39	68,268

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

以下は、令和2年度から令和4年度に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費上位10疾病を年度別に示したものである。

年度別 中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に対して占める割合)	患者数(人) ※
令和2年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	25,561,356	8.3%	112
	2	0402 糖尿病	17,183,889	5.6%	344
	3	0606 その他の神経系の疾患	14,675,308	4.8%	219
	4	0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	14,120,324	4.6%	24
	5	1113 その他の消化器系の疾患	12,928,958	4.2%	290
	6	1302 関節症	11,938,497	3.9%	131
	7	0901 高血圧性疾患	9,052,689	3.0%	280
	8	0704 その他の眼及び付属器の疾患	8,313,498	2.7%	188
	9	1301 炎症性多発性関節障害	8,284,218	2.7%	84
	10	0403 脂質異常症	7,710,890	2.5%	299
令和3年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	28,824,127	9.6%	124
	2	0402 糖尿病	17,563,389	5.9%	355
	3	1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	12,428,058	4.1%	157
	4	0209 白血病	11,933,651	4.0%	2
	5	1113 その他の消化器系の疾患	10,585,114	3.5%	319
	6	0704 その他の眼及び付属器の疾患	9,609,160	3.2%	205
	7	0901 高血圧性疾患	8,639,083	2.9%	288
	8	0606 その他の神経系の疾患	8,617,177	2.9%	215
	9	0403 脂質異常症	8,346,844	2.8%	318
	10	0902 虚血性心疾患	8,299,078	2.8%	88
令和4年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	32,687,066	13.3%	103
	2	0402 糖尿病	16,292,632	6.6%	349
	3	1113 その他の消化器系の疾患	9,979,050	4.1%	297
	4	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	8,621,654	3.5%	16
	5	0901 高血圧性疾患	8,495,160	3.5%	284
	6	0606 その他の神経系の疾患	8,378,676	3.4%	210
	7	0403 脂質異常症	7,998,270	3.3%	314
	8	1402 腎不全	7,603,232	3.1%	29
	9	0704 その他の眼及び付属器の疾患	7,447,641	3.0%	230
	10	2220 その他の特殊目的用コード	6,898,343	2.8%	361

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和5年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

以下は、患者数上位10疾病を年度別に示したものである。

年度別 中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
令和2年度	1	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3,767,107	356	34.4%
	2	0402 糖尿病	17,183,889	344	33.3%
	3	0403 脂質異常症	7,710,890	299	28.9%
	4	1113 その他の消化器系の疾患	12,928,958	290	28.0%
	5	1202 皮膚炎及び湿疹	3,545,558	282	27.3%
	6	0901 高血圧性疾患	9,052,689	280	27.1%
	7	0703 屈折及び調節の障害	1,859,035	246	23.8%
	8	1203 その他の皮膚及び皮下組織の疾患	7,298,181	226	21.9%
	9	0606 その他の神経系の疾患	14,675,308	219	21.2%
	10	1006 アレルギー性鼻炎	3,549,874	215	20.8%
令和3年度	1	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3,965,626	382	36.7%
	2	0402 糖尿病	17,563,389	355	34.1%
	3	1113 その他の消化器系の疾患	10,585,114	319	30.7%
	4	0403 脂質異常症	8,346,844	318	30.6%
	5	0901 高血圧性疾患	8,639,083	288	27.7%
	6	0703 屈折及び調節の障害	1,469,952	255	24.5%
	7	1202 皮膚炎及び湿疹	3,151,510	250	24.0%
	8	1006 アレルギー性鼻炎	3,725,289	235	22.6%
	9	0606 その他の神経系の疾患	8,617,177	215	20.7%
	10	1203 その他の皮膚及び皮下組織の疾患	2,776,577	212	20.4%
令和4年度	1	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	5,054,618	499	46.8%
	2	2220 その他の特殊目的用コード	6,898,343	361	33.8%
	3	0402 糖尿病	16,292,632	349	32.7%
	4	0403 脂質異常症	7,998,270	314	29.4%
	5	1113 その他の消化器系の疾患	9,979,050	297	27.8%
	6	0901 高血圧性疾患	8,495,160	284	26.6%
	7	0703 屈折及び調節の障害	1,615,919	278	26.1%
	8	1003 その他の急性上気道感染症	2,646,625	245	23.0%
	9	1202 皮膚炎及び湿疹	2,665,876	240	22.5%
	10	1006 アレルギー性鼻炎	3,518,830	233	21.8%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和5年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

以下は、患者一人当たりの医療費上位10疾病を年度別に示したものである。

年度別 中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人) ※	患者一人当たりの医療費(円)
令和2年度	1	0905 脳内出血	3,610,140	2	1,805,070
	2	0209 白血病	5,893,782	5	1,178,756
	3	0108 感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	1,132,238	1	1,132,238
	4	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	14,120,324	24	588,347
	5	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	1,524,458	4	381,115
	6	1504 その他の妊娠, 分娩及び産じょく	3,631,567	14	259,398
	7	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	3,194,796	13	245,754
	8	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	25,561,356	112	228,226
	9	0906 脳梗塞	6,860,276	34	201,773
	10	1402 腎不全	4,242,838	22	192,856
令和3年度	1	0209 白血病	11,933,651	2	5,966,826
	2	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	1,845,325	2	922,663
	3	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	8,057,252	20	402,863
	4	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	28,824,127	124	232,453
	5	1402 腎不全	5,300,773	31	170,993
	6	0601 パーキンソン病	2,225,308	17	130,900
	7	1403 尿路結石症	2,421,616	19	127,453
	8	1111 胆石症及び胆のう炎	2,807,974	23	122,086
	9	0106 その他のウイルス性疾患	4,169,366	35	119,125
	10	0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	7,661,338	68	112,667
令和4年度	1	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	8,621,654	16	538,853
	2	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	32,687,066	103	317,350
	3	1402 腎不全	7,603,232	29	262,180
	4	1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	1,077,263	8	134,658
	5	0601 パーキンソン病	1,959,736	15	130,649
	6	1504 その他の妊娠, 分娩及び産じょく	1,689,559	16	105,597
	7	1004 肺炎	3,374,347	36	93,732
	8	1501 流産	351,370	4	87,843
	9	1301 炎症性多発性関節障害	5,451,387	65	83,867
	10	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	2,662,446	39	68,268

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和5年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中分類による疾病別医療費統計(全項目)

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)			レセプト件数 ※			患者数 ※				
	245,901,430			14,043			1,067				
疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	7,047,837	2.9%		1,040	7.4%		276	25.9%		25,536	
0101 腸管感染症	1,316,746	0.5%	46	215	1.5%	52	72	6.7%	37	18,288	51
0102 結核	20,045	0.0%	110	3	0.0%	112	3	0.3%	106	6,682	99
0103 主として性的伝播様式をとる感染症	171,740	0.1%	86	38	0.3%	92	23	2.2%	78	7,467	95
0104 皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	1,274,059	0.5%	48	217	1.5%	50	56	5.2%	48	22,751	43
0105 ウイルス性肝炎	1,544,091	0.6%	44	109	0.8%	71	38	3.6%	60	40,634	21
0106 その他のウイルス性疾患	114,055	0.0%	93	120	0.9%	66	29	2.7%	71	3,933	109
0107 真菌症	1,944,212	0.8%	34	315	2.2%	37	75	7.0%	35	25,923	37
0108 感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
0109 その他の感染症及び寄生虫症	662,889	0.3%	63	216	1.5%	51	81	7.6%	32	8,184	91
II. 新生物<腫瘍>	46,349,848	18.8%		868	6.2%		267	25.0%		173,595	
0201 胃の悪性新生物<腫瘍>	292,178	0.1%	83	65	0.5%	82	30	2.8%	69	9,739	83
0202 結腸の悪性新生物<腫瘍>	356,674	0.1%	75	53	0.4%	86	21	2.0%	79	16,984	54
0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	28,280	0.0%	108	4	0.0%	111	2	0.2%	109	14,140	63
0204 肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	137,202	0.1%	89	46	0.3%	88	15	1.4%	87	9,147	88
0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	418,882	0.2%	71	85	0.6%	76	26	2.4%	75	16,111	58
0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	8,621,654	3.5%	4	86	0.6%	75	16	1.5%	83	538,853	1
0207 子宮の悪性新生物<腫瘍>	416,743	0.2%	72	57	0.4%	85	35	3.3%	63	11,907	73
0208 悪性リンパ腫	123,214	0.1%	92	25	0.2%	97	9	0.8%	93	13,690	65
0209 白血病	126,087	0.1%	91	20	0.1%	104	4	0.4%	103	31,522	32
0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	32,687,066	13.3%	1	337	2.4%	36	103	9.7%	27	317,350	2
0211 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	3,141,868	1.3%	23	303	2.2%	38	161	15.1%	18	19,515	48
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	1,065,620	0.4%		369	2.6%		100	9.4%		10,656	
0301 貧血	569,653	0.2%	66	243	1.7%	47	52	4.9%	49	10,955	76
0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	495,967	0.2%	68	158	1.1%	62	62	5.8%	46	7,999	93
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	28,802,783	11.7%		4,437	31.6%		504	47.2%		57,148	
0401 甲状腺障害	1,809,887	0.7%	36	478	3.4%	30	110	10.3%	25	16,454	56
0402 糖尿病	16,292,632	6.6%	2	2,141	15.2%	6	349	32.7%	3	46,684	17
0403 脂質異常症	7,998,270	3.3%	7	3,198	22.8%	2	314	29.4%	4	25,472	39
0404 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	2,701,994	1.1%	24	760	5.4%	22	120	11.2%	24	22,517	44
V. 精神及び行動の障害	8,154,098	3.3%		1,717	12.2%		137	12.8%		59,519	
0501 血管性及び詳細不明の認知症	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
0502 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	24,499	0.0%	109	22	0.2%	100	3	0.3%	106	8,166	92
0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	2,662,446	1.1%	27	623	4.4%	24	39	3.7%	57	68,268	10

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	245,901,430	14,043	1,067

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位	
0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	3,203,067	1.3%	22	949	6.8%	15	68	6.4%	40	47,104	16
0505	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	1,140,070	0.5%	50	783	5.6%	21	68	6.4%	40	16,766	55
0506	知的障害<精神遅滞>	105,745	0.0%	94	93	0.7%	73	8	0.7%	96	13,218	66
0507	その他の精神及び行動の障害	1,018,271	0.4%	54	181	1.3%	60	28	2.6%	73	36,367	26
VI. 神経系の疾患	12,041,511	4.9%		2,543	18.1%		235	22.0%		51,240		
0601	パーキンソン病	1,959,736	0.8%	33	226	1.6%	49	15	1.4%	87	130,649	5
0602	アルツハイマー病	69,512	0.0%	99	7	0.0%	108	2	0.2%	109	34,756	27
0603	てんかん	1,597,465	0.6%	43	291	2.1%	41	26	2.4%	75	61,441	11
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
0605	自律神経系の障害	36,122	0.0%	105	22	0.2%	100	2	0.2%	109	18,061	52
0606	その他の神経系の疾患	8,378,676	3.4%	6	2,277	16.2%	4	210	19.7%	13	39,898	22
VII. 眼及び付属器の疾患	12,371,470	5.0%		1,550	11.0%		353	33.1%		35,047		
0701	結膜炎	786,181	0.3%	59	595	4.2%	25	135	12.7%	21	5,824	103
0702	白内障	2,521,729	1.0%	30	393	2.8%	33	65	6.1%	43	38,796	23
0703	屈折及び調節の障害	1,615,919	0.7%	42	1,055	7.5%	11	278	26.1%	7	5,813	104
0704	その他の眼及び付属器の疾患	7,447,641	3.0%	9	1,173	8.4%	10	230	21.6%	11	32,381	31
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,319,017	0.5%		446	3.2%		101	9.5%		13,060		
0801	外耳炎	134,215	0.1%	90	110	0.8%	70	32	3.0%	66	4,194	108
0802	その他の外耳疾患	86,849	0.0%	96	50	0.4%	87	25	2.3%	77	3,474	111
0803	中耳炎	322,048	0.1%	80	136	1.0%	63	33	3.1%	64	9,759	82
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	53,849	0.0%	102	21	0.1%	102	9	0.8%	93	5,983	102
0805	メニエール病	155,286	0.1%	87	73	0.5%	78	12	1.1%	90	12,941	68
0806	その他の内耳疾患	224,801	0.1%	84	112	0.8%	68	21	2.0%	79	10,705	80
0807	その他の耳疾患	341,969	0.1%	79	126	0.9%	64	38	3.6%	60	8,999	89
IX. 循環器系の疾患	21,449,860	8.7%		3,832	27.3%		396	37.1%		54,166		
0901	高血圧性疾患	8,495,160	3.5%	5	3,293	23.4%	1	284	26.6%	6	29,913	33
0902	虚血性心疾患	2,543,738	1.0%	29	576	4.1%	26	76	7.1%	34	33,470	30
0903	その他の心疾患	5,464,668	2.2%	13	803	5.7%	20	142	13.3%	20	38,484	24
0904	くも膜下出血	7,295	0.0%	113	8	0.1%	107	1	0.1%	112	7,295	97
0905	脳内出血	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
0906	脳梗塞	1,903,968	0.8%	35	233	1.7%	48	41	3.8%	55	46,438	18
0907	脳動脈硬化(症)	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
0908	その他の脳血管疾患	1,622,915	0.7%	41	104	0.7%	72	48	4.5%	50	33,811	28
0909	動脈硬化(症)	317,609	0.1%	81	188	1.3%	58	46	4.3%	52	6,905	98
0911	低血圧(症)	82,921	0.0%	98	43	0.3%	89	6	0.6%	101	13,820	64
0912	その他の循環器系の疾患	1,011,586	0.4%	55	112	0.8%	68	48	4.5%	50	21,075	45
X. 呼吸器系の疾患	21,383,134	8.7%		2,877	20.5%		481	45.1%		44,456		
1001	急性鼻咽頭炎[かぜ]<感冒>	34,623	0.0%	107	23	0.2%	98	8	0.7%	96	4,328	107
1002	急性咽喉炎及び急性扁桃炎	386,957	0.2%	73	186	1.3%	59	77	7.2%	33	5,025	105
1003	その他の急性上気道感染症	2,646,625	1.1%	28	832	5.9%	19	245	23.0%	8	10,803	77

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	245,901,430	14,043	1,067

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
1004 肺炎	3,374,347	1.4%	20	83	0.6%	77	36	3.4%	62	93,732	7
1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	444,060	0.2%	70	213	1.5%	53	69	6.5%	39	6,436	100
1006 アレルギー性鼻炎	3,518,830	1.4%	18	1,431	10.2%	7	233	21.8%	10	15,102	60
1007 慢性副鼻腔炎	972,209	0.4%	56	293	2.1%	40	67	6.3%	42	14,511	62
1008 急性又は慢性と明示されない気管支炎	85,998	0.0%	97	39	0.3%	91	8	0.7%	96	10,750	79
1009 慢性閉塞性肺疾患	1,116,642	0.5%	51	269	1.9%	45	42	3.9%	54	26,587	36
1010 喘息	5,324,315	2.2%	15	867	6.2%	16	110	10.3%	25	48,403	14
1011 その他の呼吸器系の疾患	3,478,528	1.4%	19	389	2.8%	34	147	13.8%	19	23,663	41
X I . 消化器系の疾患	16,757,133	6.8%		3,545	25.2%		449	42.1%		37,321	
1101 う蝕 ※	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1102 歯肉炎及び歯周疾患	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1103 その他の歯及び歯の支持組織の障害	13,747	0.0%	111	6	0.0%	109	3	0.3%	106	4,582	106
1104 胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	1,668,468	0.7%	39	513	3.7%	28	94	8.8%	28	17,750	53
1105 胃炎及び十二指腸炎	2,152,266	0.9%	32	1,040	7.4%	12	172	16.1%	15	12,513	71
1106 痔核	385,904	0.2%	74	65	0.5%	82	21	2.0%	79	18,376	50
1107 アルコール性肝疾患	8,209	0.0%	112	1	0.0%	113	1	0.1%	112	8,209	90
1108 慢性肝炎 (アルコール性のものを除く)	56,119	0.0%	101	59	0.4%	84	6	0.6%	101	9,353	85
1109 肝硬変 (アルコール性のものを除く)	48,904	0.0%	103	28	0.2%	94	15	1.4%	87	3,260	112
1110 その他の肝疾患	678,774	0.3%	61	247	1.8%	46	87	8.2%	29	7,802	94
1111 胆石症及び胆のう炎	1,282,163	0.5%	47	72	0.5%	79	27	2.5%	74	47,488	15
1112 膵疾患	483,529	0.2%	69	91	0.6%	74	39	3.7%	57	12,398	72
1113 その他の消化器系の疾患	9,979,050	4.1%	3	2,505	17.8%	3	297	27.8%	5	33,599	29
X II . 皮膚及び皮下組織の疾患	5,712,974	2.3%		1,828	13.0%		346	32.4%		16,511	
1201 皮膚及び皮下組織の感染症	356,408	0.1%	76	177	1.3%	61	57	5.3%	47	6,253	101
1202 皮膚炎及び湿疹	2,665,876	1.1%	26	1,260	9.0%	8	240	22.5%	9	11,108	74
1203 その他の皮膚及び皮下組織の疾患	2,690,690	1.1%	25	999	7.1%	14	213	20.0%	12	12,632	69
X III . 筋骨格系及び結合組織の疾患	22,477,414	9.1%		3,273	23.3%		429	40.2%		52,395	
1301 炎症性多発性関節障害	5,451,387	2.2%	14	382	2.7%	35	65	6.1%	43	83,867	9
1302 関節症	5,522,717	2.2%	12	1,011	7.2%	13	129	12.1%	22	42,812	20
1303 脊椎障害(脊椎症を含む)	1,079,741	0.4%	52	442	3.1%	31	73	6.8%	36	14,791	61
1304 椎間板障害	568,244	0.2%	67	206	1.5%	54	45	4.2%	53	12,628	70
1305 頸腕症候群	295,599	0.1%	82	300	2.1%	39	40	3.7%	56	7,390	96
1306 腰痛症及び坐骨神経痛	1,802,900	0.7%	37	1,220	8.7%	9	164	15.4%	17	10,993	75
1307 その他の脊柱障害	184,702	0.1%	85	122	0.9%	65	20	1.9%	82	9,235	87
1308 肩の傷害<損傷>	604,002	0.2%	64	275	2.0%	44	39	3.7%	57	15,487	59
1309 骨の密度及び構造の障害	2,389,350	1.0%	31	738	5.3%	23	85	8.0%	30	28,110	34
1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	4,578,772	1.9%	17	853	6.1%	18	192	18.0%	14	23,848	40

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	245,901,430	14,043	1,067

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	15,000,906	6.1%		1,374	9.8%		245	23.0%		61,228	
1401 糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	708,141	0.3%	60	117	0.8%	67	31	2.9%	68	22,843	42
1402 腎不全	7,603,232	3.1%	8	290	2.1%	42	29	2.7%	71	262,180	3
1403 尿路結石症	143,820	0.1%	88	30	0.2%	93	11	1.0%	91	13,075	67
1404 その他の腎尿路系の疾患	3,308,426	1.3%	21	548	3.9%	27	129	12.1%	22	25,647	38
1405 前立腺肥大(症)	883,119	0.4%	57	278	2.0%	43	33	3.1%	64	26,761	35
1406 その他の男性生殖器の疾患	35,389	0.0%	106	68	0.5%	80	11	1.0%	91	3,217	113
1407 月経障害及び閉経周辺期障害	669,005	0.3%	62	190	1.4%	57	32	3.0%	66	20,906	46
1408 乳房及びその他の女性生殖器の疾患	1,649,774	0.7%	40	195	1.4%	55	83	7.8%	31	19,877	47
XV. 妊娠、分娩及び産じょく	2,040,929	0.8%		53	0.4%		19	1.8%		107,417	
1501 流産	351,370	0.1%	78	15	0.1%	106	4	0.4%	103	87,843	8
1502 妊娠高血圧症候群	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1503 単胎自然分娩	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1504 その他の妊娠、分娩及び産じょく	1,689,559	0.7%	38	40	0.3%	90	16	1.5%	83	105,597	6
XVI. 周産期に発生した病態	1,431,747	0.6%		36	0.3%		12	1.1%		119,312	
1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	1,077,263	0.4%	53	23	0.2%	98	8	0.7%	96	134,658	4
1602 その他の周産期に発生した病態	354,484	0.1%	77	16	0.1%	105	8	0.7%	96	44,311	19
XVII. 先天奇形、変形及び染色体異常	1,494,492	0.6%		74	0.5%		34	3.2%		43,956	
1701 心臓の先天奇形	37,046	0.0%	104	6	0.0%	109	4	0.4%	103	9,262	86
1702 その他の先天奇形、変形及び染色体異常	1,457,446	0.6%	45	68	0.5%	80	30	2.8%	69	48,582	13
XVIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	5,054,618	2.1%		2,159	15.4%		499	46.8%		10,129	
1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	5,054,618	2.1%	16	2,159	15.4%	5	499	46.8%	1	10,129	81
XIX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	8,451,802	3.4%		656	4.7%		212	19.9%		39,867	
1901 骨折	1,184,386	0.5%	49	191	1.4%	56	72	6.7%	37	16,450	57
1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	797,748	0.3%	58	27	0.2%	95	16	1.5%	83	49,859	12
1903 熱傷及び腐食	96,976	0.0%	95	21	0.1%	102	9	0.8%	93	10,775	78
1904 中毒	60,198	0.0%	100	27	0.2%	95	16	1.5%	83	3,762	110
1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	6,312,494	2.6%	11	505	3.6%	29	168	15.7%	16	37,574	25
XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	595,894	0.2%		425	3.0%		63	5.9%		9,459	
2101 検査及び診査のための保健サービスの利用者	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2102 予防接種	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2103 正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2104 歯の補てつ	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	245,901,430	14,043	1,067

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
2105	特定の処置(歯の補てつを 除く)及び保健ケアのための保健 サービスの利用者	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2106	その他の理由による保健サービスの 利用者	595,894	0.2%	65	425	3.0%	32	63	5.9%	45	9,459	84
X X II . 特殊目的用コード		6,898,343	2.8%		857	6.1%		361	33.8%		19,109	
2210	重症急性呼吸器症候群[SARS]	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2220	その他の特殊目的用コード	6,898,343	2.8%	10	857	6.1%	17	361	33.8%	2	19,109	49
分類外		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
9999	分類外	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。
 そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※う蝕…「う蝕」等歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

4. 生活習慣病に係る医療費等の状況

(1) 生活習慣病と生活習慣病以外の医療費と患者数

令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)のレセプトより、疾病分類表における中分類単位で生活習慣病と生活習慣病以外の医療費を集計した結果を示す。ここでは、生活習慣病の基礎疾患(糖尿病、脂質異常症、高血圧性疾患)及び生活習慣病に係る重症化疾患を生活習慣病とし集計した。生活習慣病の医療費は4,516万円で、医療費全体に占める割合は18.4%である。

生活習慣病と生活習慣病以外の医療費

	入院(円)	構成比(%)	入院外(円)	構成比(%)	合計(円)	構成比(%)
生活習慣病	3,142,186	5.8%	42,019,718	21.9%	45,161,904	18.4%
生活習慣病以外	51,074,254	94.2%	149,665,272	78.1%	200,739,526	81.6%
合計(円)	54,216,440		191,684,990		245,901,430	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

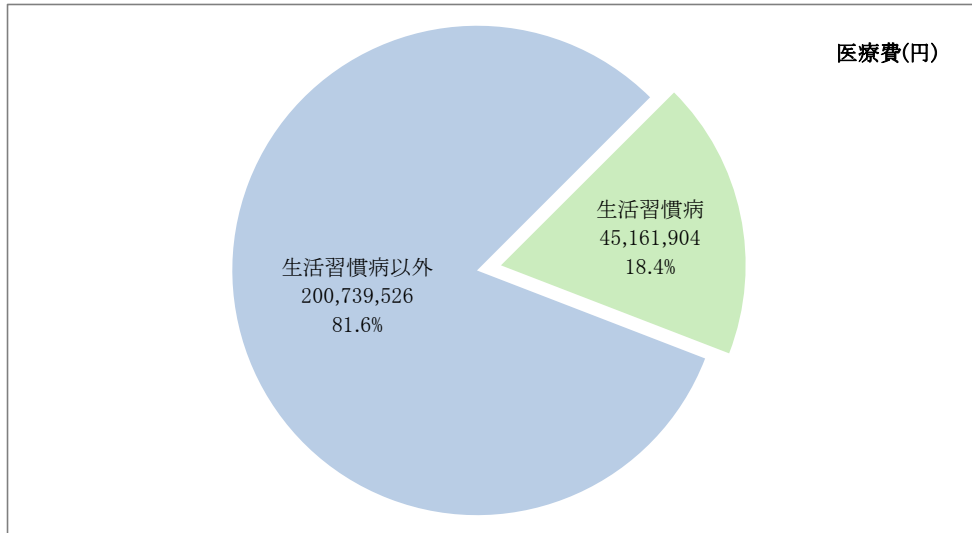
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。
0402 糖尿病、0403 脂質異常症、0901 高血圧性疾患、0902 虚血性心疾患、0904 くも膜下出血、0905 脳内出血、0906 脳梗塞、0907 脳動脈硬化(症)、0909 動脈硬化(症)、1402 腎不全

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

医療費全体に占める生活習慣病医療費の割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

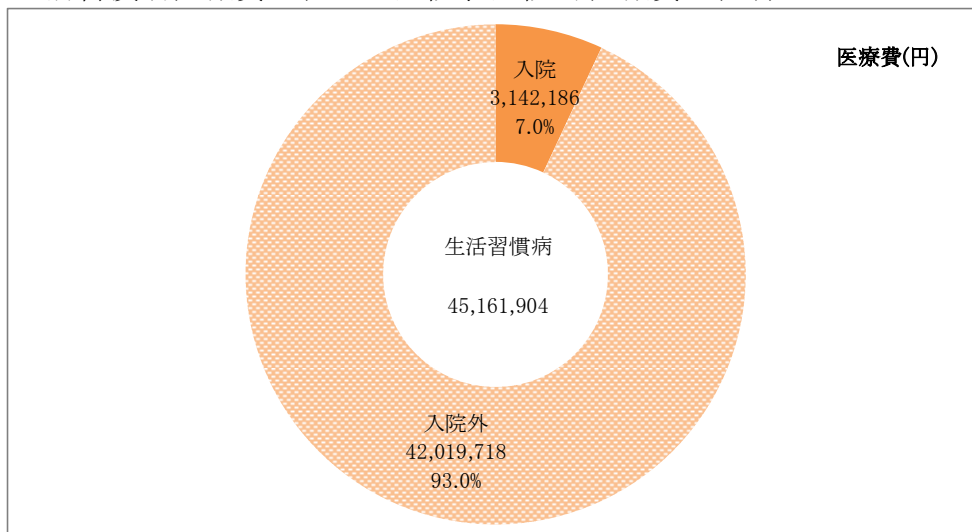
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。
0402 糖尿病、0403 脂質異常症、0901 高血圧性疾患、0902 虚血性心疾患、0904 くも膜下出血、0905 脳内出血、0906 脳梗塞、0907 脳動脈硬化(症)、0909 動脈硬化(症)、1402 腎不全

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

生活習慣病医療費に占める入院、入院外医療費の割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

0402 糖尿病、0403 脂質異常症、0901 高血圧性疾患、0902 虚血性心疾患、0904 くも膜下出血、0905 脳内出血、0906 脳梗塞、0907 脳動脈硬化(症)、0909 動脈硬化(症)、1402 腎不全

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

生活習慣病で医療機関を受診している患者数は515人で、被保険者全体に占めるその割合は39.1%である。

医療機関受診状況及び生活習慣病罹患状況

		人数(人)	割合(%)
A	被保険者数	1,318	
B	医療機関受診者数(患者数)	1,071	81.3%
C	生活習慣病有 ※	515	39.1%
B-C	生活習慣病無 ※	556	42.2%
A-B	医療機関未受診者数	247	18.7%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※生活習慣病有…分析期間中に生活習慣病に関する診療行為がある患者を対象に集計している。

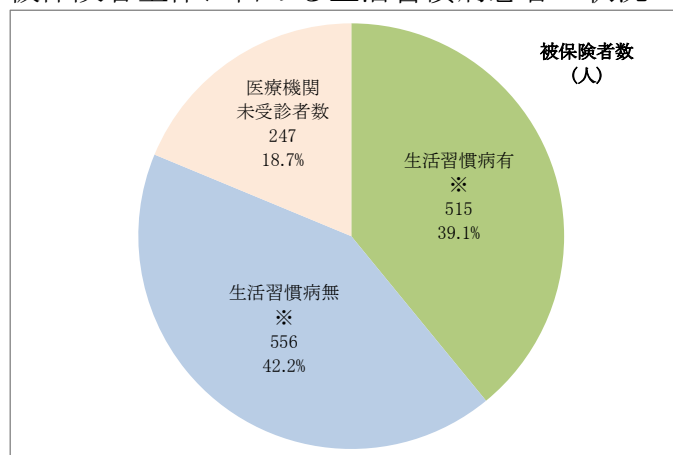
※生活習慣病無…レセプトが発生している患者のうち、分析期間中に生活習慣病に関する診療行為がない患者を対象に集計している。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

0402 糖尿病、0403 脂質異常症、0901 高血圧性疾患、0902 虚血性心疾患、0904 くも膜下出血、0905 脳内出血、0906 脳梗塞、0907 脳動脈硬化(症)、0909 動脈硬化(症)、1402 腎不全

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

被保険者全体に占める生活習慣病患者の状況



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※生活習慣病有…分析期間中に生活習慣病に関する診療行為がある患者を対象に集計している。

※生活習慣病無…レセプトが発生している患者のうち、分析期間中に生活習慣病に関する診療行為がない患者を対象に集計している。

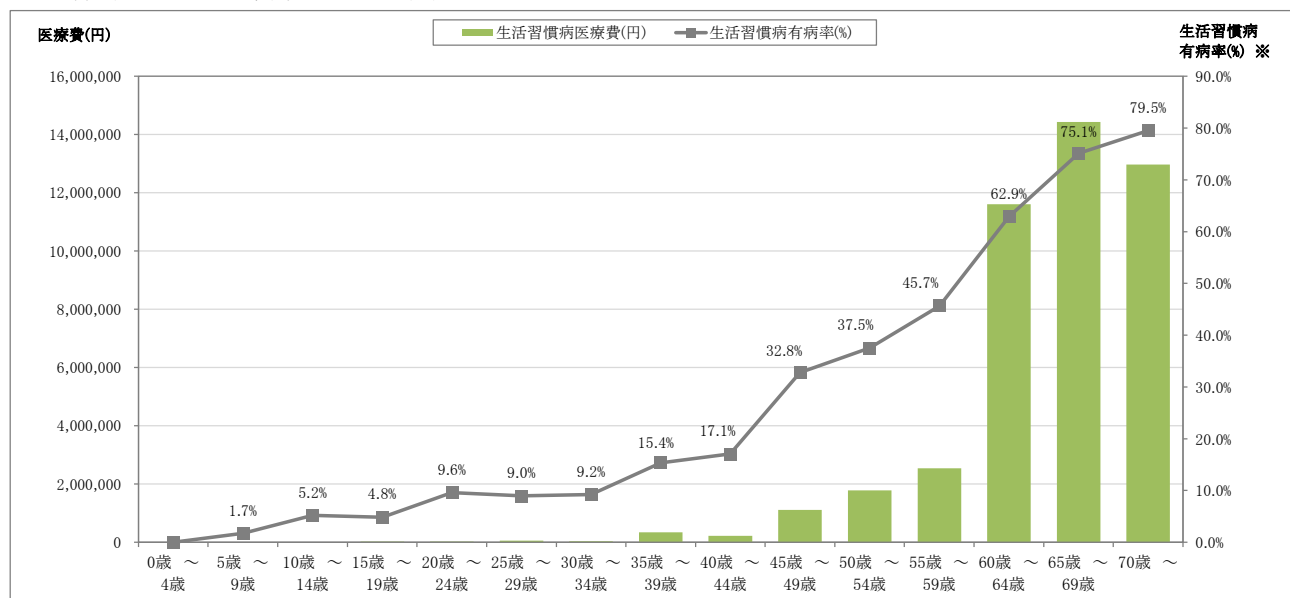
生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

0402 糖尿病、0403 脂質異常症、0901 高血圧性疾患、0902 虚血性心疾患、0904 くも膜下出血、0905 脳内出血、0906 脳梗塞、0907 脳動脈硬化(症)、0909 動脈硬化(症)、1402 腎不全

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

年齢階層別の生活習慣病医療費と有病率を以下に示す。年齢階層が上がるにつれて患者数が増え医療費が増大する傾向にある。

年齢階層別 生活習慣病医療費と有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※生活習慣病有病率…被保険者数に占める生活習慣病患者数の割合。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

0402 糖尿病、0403 脂質異常症、0901 高血圧性疾患、0902 虚血性心疾患、0904 くも膜下出血、0905 脳内出血、0906 脳梗塞、0907 脳動脈硬化(症)、0909 動脈硬化(症)、1402 腎不全

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

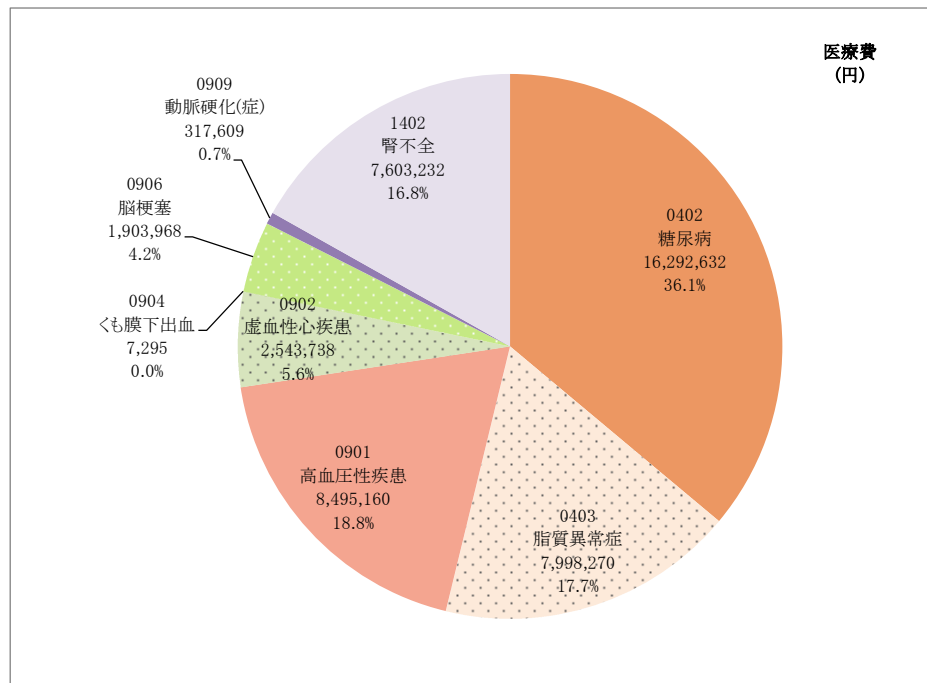
(2) 生活習慣病疾病別医療費等の状況

令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)における、生活習慣病疾病別の医療費、患者数、患者一人当たりの医療費、有病率は以下のとおりである。

生活習慣病疾病別 医療費統計

疾病分類(中分類)	医療費(円)	構成比(%)	順位	患者数(人)	有病率(%) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
0402 糖尿病	16,292,632	36.1%	1	349	26.5%	1	46,684	2
0403 脂質異常症	7,998,270	17.7%	3	314	23.8%	2	25,472	6
0901 高血圧性疾患	8,495,160	18.8%	2	284	21.5%	3	29,913	5
0902 虚血性心疾患	2,543,738	5.6%	5	76	5.8%	4	33,470	4
0904 くも膜下出血	7,295	0.0%	8	1	0.1%	8	7,295	7
0905 脳内出血	0	0.0%	9	0	0.0%	9	0	9
0906 脳梗塞	1,903,968	4.2%	6	41	3.1%	6	46,438	3
0907 脳動脈硬化(症)	0	0.0%	9	0	0.0%	9	0	9
0909 動脈硬化(症)	317,609	0.7%	7	46	3.5%	5	6,905	8
1402 腎不全	7,603,232	16.8%	4	29	2.2%	7	262,180	1
合計	45,161,904			515	39.1%		87,693	

生活習慣病疾病別 医療費割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

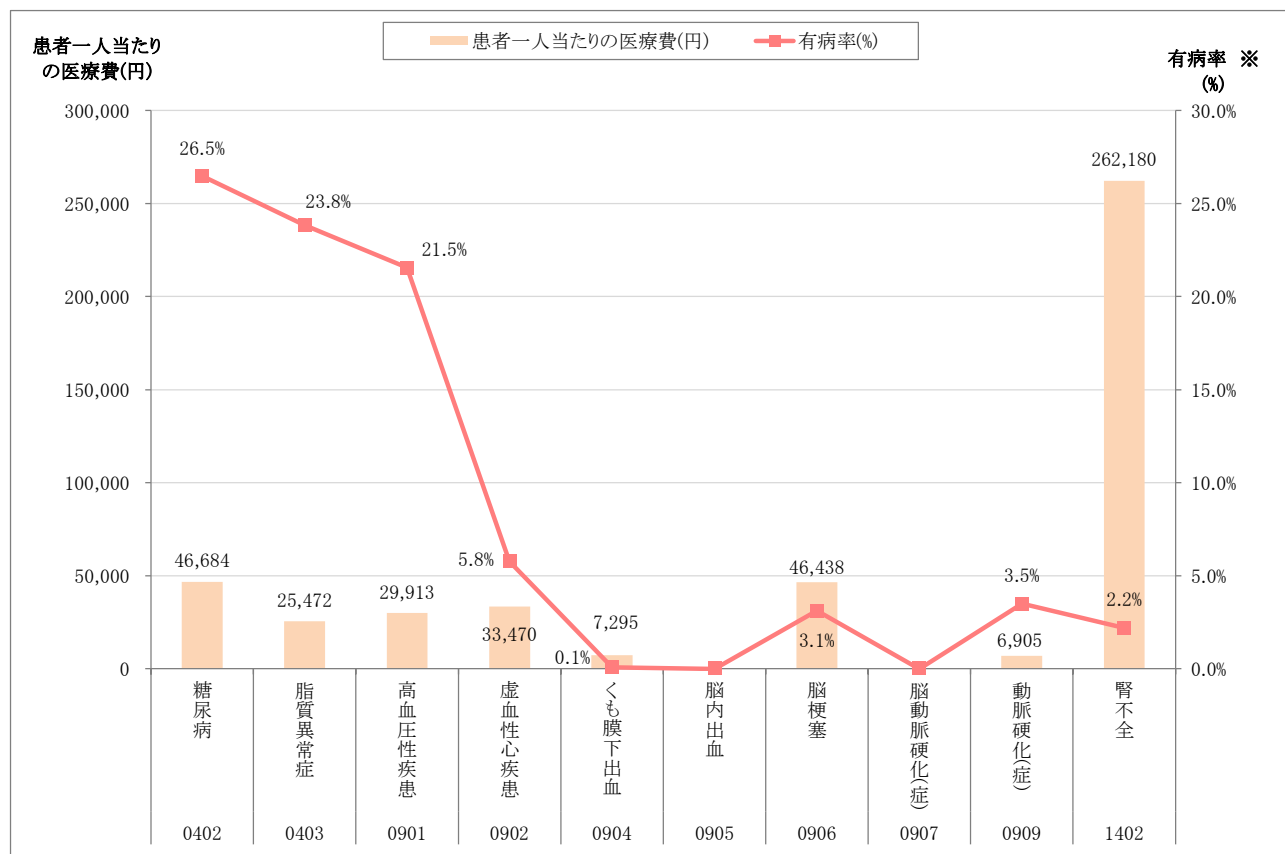
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※有病率…被保険者数に占める患者数の割合。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

生活習慣病疾病別 患者一人当たりの医療費と有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※有病率…被保険者数に占める患者数の割合。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

以下は、令和2年度から令和4年度における、生活習慣病医療費を年度別に示したものである。令和4年度を令和2年度と比較すると、糖尿病医療費1,629万円は、令和2年度1,718万円より89万円減少している。また、脂質異常症医療費800万円は、令和2年度771万円より29万円増加している。高血圧性疾患医療費850万円は、令和2年度905万円より55万円減少している。

年度別 生活習慣病医療費

疾病分類(中分類)		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
		医療費(円) ※	構成比(%)	医療費(円) ※	構成比(%)	医療費(円) ※	構成比(%)
0402	糖尿病	17,183,889	33.4%	17,563,389	34.0%	16,292,632	36.1%
0403	脂質異常症	7,710,890	15.0%	8,346,844	16.2%	7,998,270	17.7%
0901	高血圧性疾患	9,052,689	17.6%	8,639,083	16.7%	8,495,160	18.8%
0902	虚血性心疾患	1,754,397	3.4%	8,299,078	16.1%	2,543,738	5.6%
0904	くも膜下出血	2,426	0.0%	5,078	0.0%	7,295	0.0%
0905	脳内出血	3,610,140	7.0%	30,801	0.1%	0	0.0%
0906	脳梗塞	6,860,276	13.3%	3,075,925	6.0%	1,903,968	4.2%
0907	脳動脈硬化(症)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
0909	動脈硬化(症)	1,107,351	2.1%	402,949	0.8%	317,609	0.7%
1402	腎不全	4,242,838	8.2%	5,300,773	10.3%	7,603,232	16.8%
合計		51,524,896		51,663,920		45,161,904	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和5年3月診療分(36ヵ月分)。

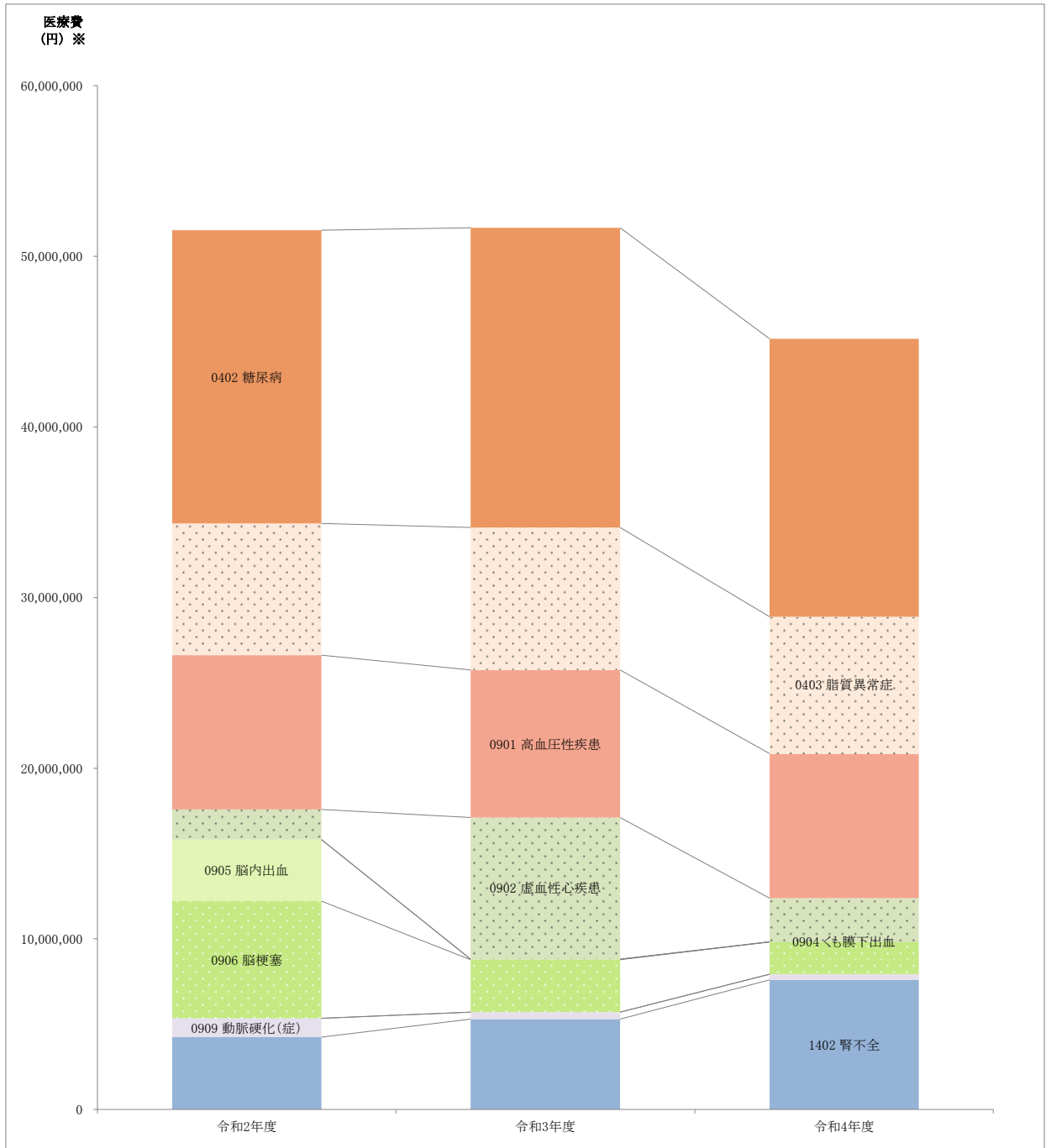
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

年度別 生活習慣病医療費



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和5年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

5. 特定健康診査に係る分析結果

(1) メタボリックシンドローム該当状況

以下は、令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)における、特定健康診査受診者のメタボリックシンドローム該当状況を示したものである。基準該当は18.4%、予備群該当は8.6%である。

メタボリックシンドローム該当状況

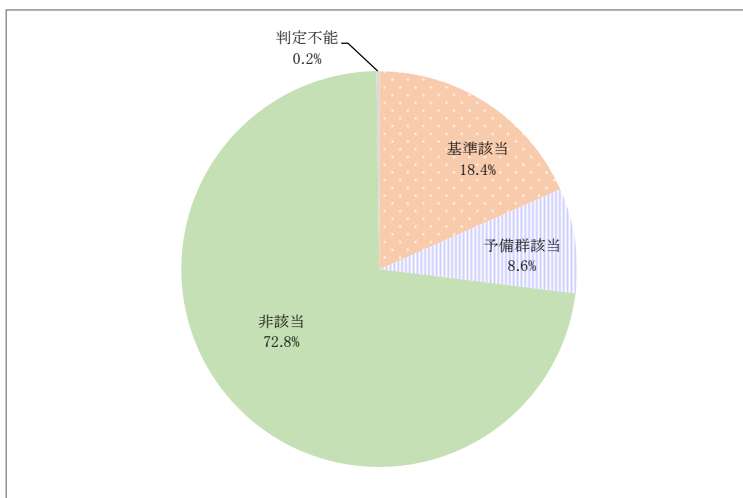
	健診受診者数	基準該当	予備群該当	非該当	判定不能
該当者数(人)	430	79	37	313	1
割合(%) ※	-	18.4%	8.6%	72.8%	0.2%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

メタボリックシンドローム該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

※メタボリックシンドローム判定基準

腹囲	追加リスク (①血糖 ②脂質 ③血圧)	該当状況
≥85cm (男性)	2つ以上該当	メタボリックシンドローム基準該当者
≥90cm (女性)	1つ該当	メタボリックシンドローム予備群該当者

※追加リスクの基準値は以下のとおりである。

- ①血糖:空腹時血糖が110mg/dl以上
- ②脂質:中性脂肪150mg/dl以上 または HDLコレステロール40mg/dl未満
- ③血圧:収縮期血圧130mmHg以上 または 拡張期血圧85mmHg以上

※糖尿病、高血圧症または脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者も対象となる。

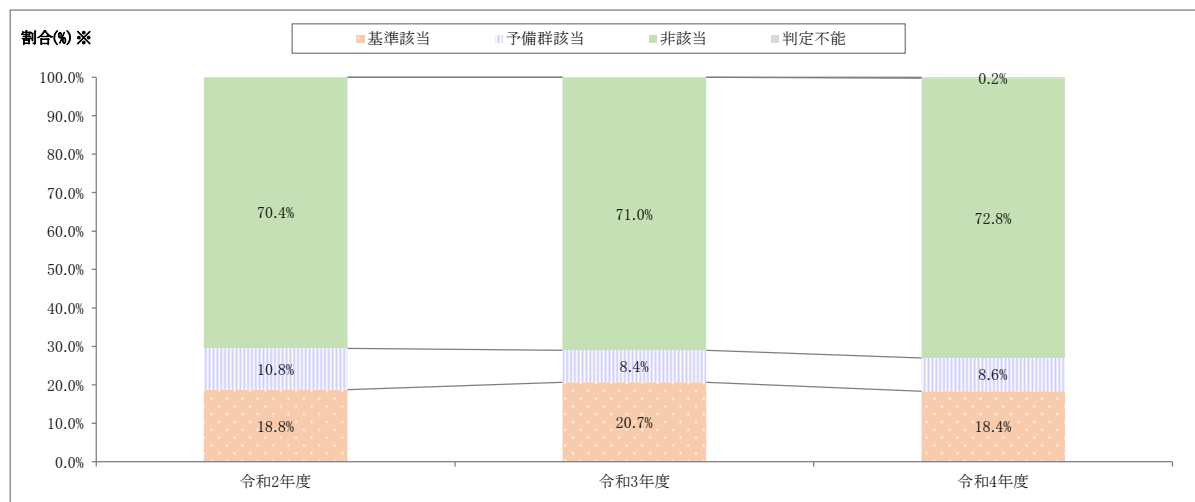
以下は、令和2年度から令和4年度における、特定健康診査受診者のメタボリックシンドローム該当状況を年度別に示したものである。令和4年度を令和2年度と比較すると、基準該当18.4%は令和2年度18.8%より0.4ポイント減少しており、予備群該当8.6%は令和2年度10.8%より2.2ポイント減少している。

年度別 メタボリックシンドローム該当状況

年度	健診受診者数(人)
令和2年度	416
令和3年度	455
令和4年度	430

年度	基準該当		予備群該当		非該当		判定不能	
	人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※
令和2年度	78	18.8%	45	10.8%	293	70.4%	0	0.0%
令和3年度	94	20.7%	38	8.4%	323	71.0%	0	0.0%
令和4年度	79	18.4%	37	8.6%	313	72.8%	1	0.2%

年度別 メタボリックシンドローム該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

(2) 有所見者割合

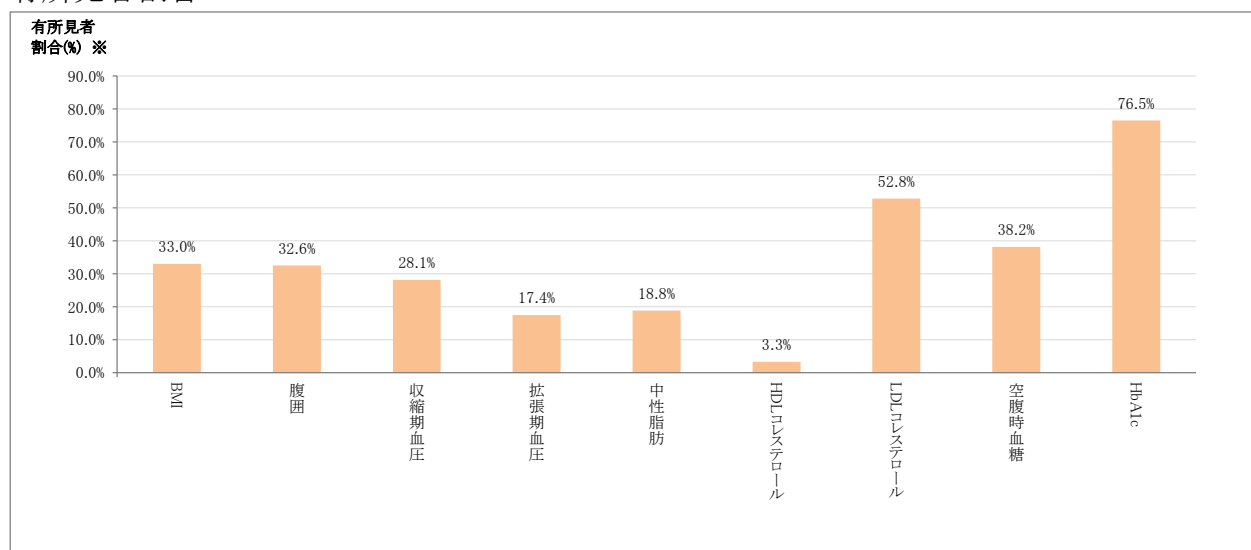
令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)における、特定健康診査受診者の有所見者割合は以下のとおりである。

有所見者割合

	BMI	腹囲	収縮期血圧	拡張期血圧
対象者数(人) ※	430	430	430	430
有所見者数(人) ※	142	140	121	75
有所見者割合(%) ※	33.0%	32.6%	28.1%	17.4%

	中性脂肪	HDLコレステロール	LDLコレステロール	空腹時血糖	HbA1c
対象者数(人) ※	430	430	430	427	430
有所見者数(人) ※	81	14	227	163	329
有所見者割合(%) ※	18.8%	3.3%	52.8%	38.2%	76.5%

有所見者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値

BMI:25以上、 腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上、 収縮期血圧:130mmHg以上、 拡張期血圧:85mmHg以上、

中性脂肪:150mg/dl以上、 HDLコレステロール:39mg/dl以下、 LDLコレステロール:120mg/dl以上、

空腹時血糖値:100mg/dl以上、 HbA1c:5.6%以上

以下は、令和2年度から令和4年度における、特定健康診査受診者の有所見者割合を年度別に示したものである。

年度別 有所見者割合

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
BMI	対象者数(人) ※	416	455	430
	有所見者数(人) ※	155	166	142
	有所見者割合(%) ※	37.3%	36.5%	33.0%
腹囲	対象者数(人) ※	416	455	430
	有所見者数(人) ※	140	151	140
	有所見者割合(%) ※	33.7%	33.2%	32.6%
収縮期血圧	対象者数(人) ※	416	455	430
	有所見者数(人) ※	107	139	121
	有所見者割合(%) ※	25.7%	30.5%	28.1%
拡張期血圧	対象者数(人) ※	416	455	430
	有所見者数(人) ※	44	75	75
	有所見者割合(%) ※	10.6%	16.5%	17.4%
中性脂肪	対象者数(人) ※	416	455	430
	有所見者数(人) ※	72	79	81
	有所見者割合(%) ※	17.3%	17.4%	18.8%
HDLコレステロール	対象者数(人) ※	416	455	430
	有所見者数(人) ※	19	16	14
	有所見者割合(%) ※	4.6%	3.5%	3.3%
LDLコレステロール	対象者数(人) ※	416	455	430
	有所見者数(人) ※	252	263	227
	有所見者割合(%) ※	60.6%	57.8%	52.8%
空腹時血糖	対象者数(人) ※	416	455	427
	有所見者数(人) ※	129	165	163
	有所見者割合(%) ※	31.0%	36.3%	38.2%
HbA1c	対象者数(人) ※	416	455	430
	有所見者数(人) ※	285	315	329
	有所見者割合(%) ※	68.5%	69.2%	76.5%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値

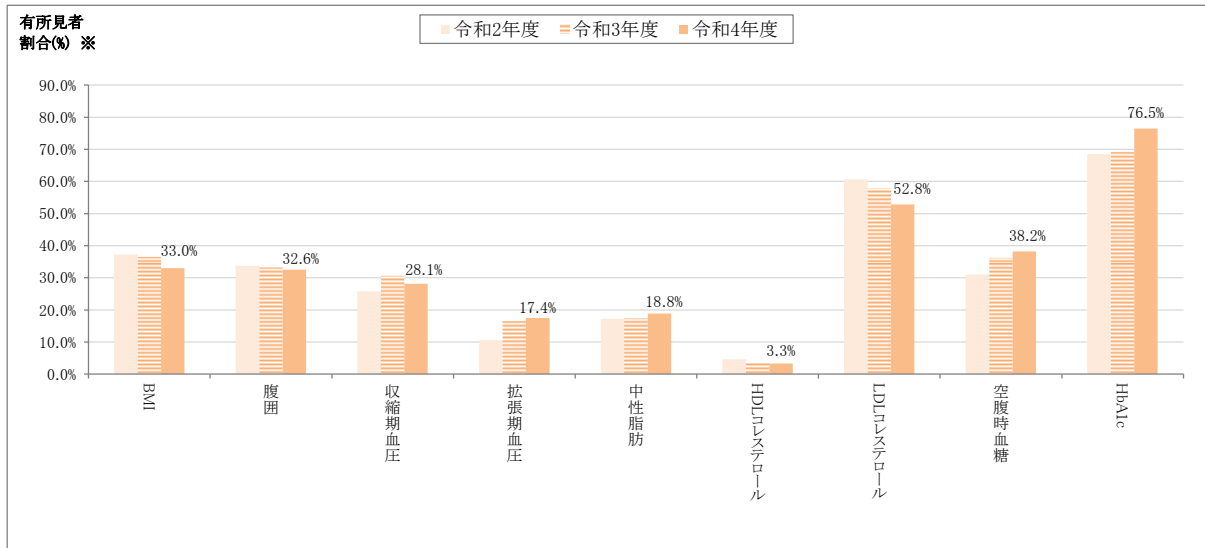
BMI:25以上、 腹囲:男性85cm以上、 女性90cm以上、

収縮期血圧:130mmHg以上、 拡張期血圧:85mmHg以上、

中性脂肪:150mg/dl以上、 HDLコレステロール:39mg/dl以下、 LDLコレステロール:120mg/dl以上、

空腹時血糖値:100mg/dl以上、 HbA1c:5.6%以上

年度別 有所見者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値

BMI:25以上、 腹囲:男性85cm以上、 女性90cm以上、

収縮期血圧:130mmHg以上、 拡張期血圧:85mmHg以上、

中性脂肪:150mg/dl以上、HDLコレステロール:39mg/dl以下、 LDLコレステロール:120mg/dl以上、

空腹時血糖値:100mg/dl以上、 HbA1c:5.6%以上

(3) 質問別回答状況

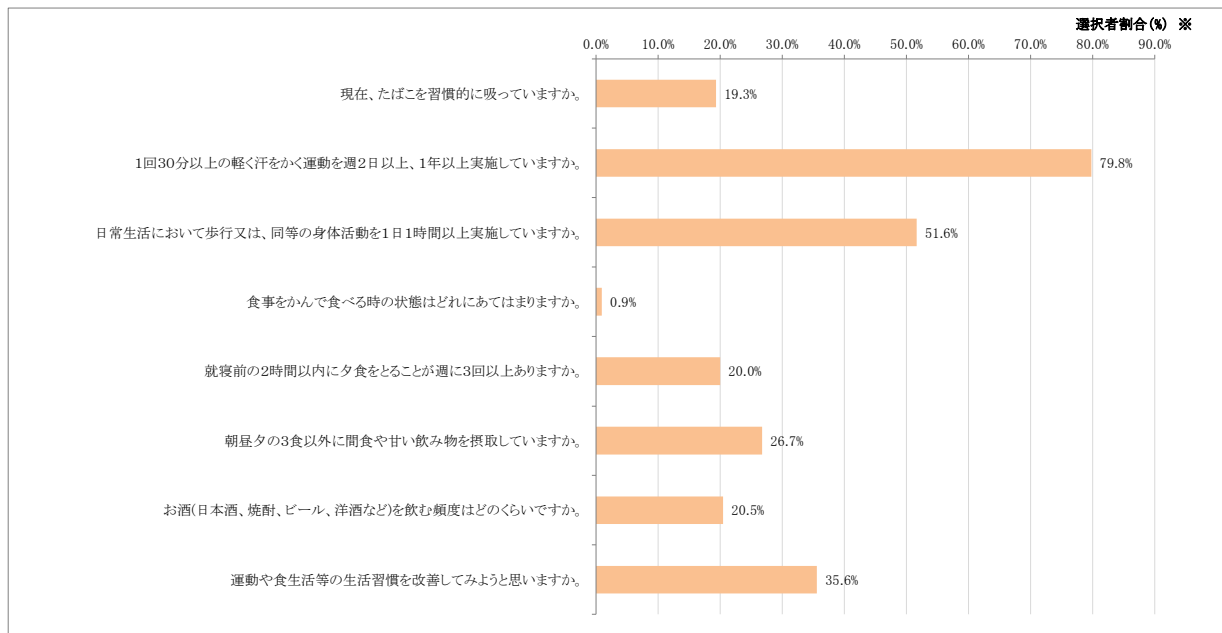
令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)における、特定健康診査の喫煙・運動・口腔機能・食習慣・飲酒・生活習慣の改善に関する各質問において、対応の考慮が必要な選択肢を選択した者の割合は以下のとおりである。

対応の考慮が必要な選択肢の選択状況

	喫煙	運動		口腔機能
	現在、たばこを習慣的に吸っていますか。	1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施していますか。	日常生活において歩行又は、同等の身体活動を1日1時間以上実施していますか。	食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。
質問の選択肢	「はい」	「いいえ」	「いいえ」	「ほとんどかめない」
質問回答者数(人) ※	430	430	430	430
選択者数(人) ※	83	343	222	4
選択者割合(%) ※	19.3%	79.8%	51.6%	0.9%

	食習慣	飲酒	生活習慣の改善
	就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ありますか。	朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか。	お酒(日本酒、焼酎、ビール、洋酒など)を飲む頻度はどのくらいですか。
質問の選択肢	「はい」	「毎日」	「改善するつもりはない」
質問回答者数(人) ※	430	430	430
選択者数(人) ※	86	115	153
選択者割合(%) ※	20.0%	26.7%	35.6%

対応の考慮が必要な選択肢の選択者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数…該当の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…質問回答者のうち、該当の選択肢を選択した人の割合。

以下は、令和2年度から令和4年度における、特定健康診査の喫煙・運動・口腔機能・食習慣・飲酒・生活習慣の改善に関する各質問において、対応の考慮が必要な選択肢を選択した者の割合を年度別に示したものである。

年度別 対応の考慮が必要な選択肢の選択状況

類型名	質問文	質問の選択肢				
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	
喫煙	現在、たばこを習慣的に吸っていますか。	「はい」	質問回答者数(人) ※	416	455	430
			選択者数(人) ※	79	92	83
			選択者割合(%) ※	19.0%	20.2%	19.3%
運動	1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施していますか。	「いいえ」	質問回答者数(人) ※	416	455	430
			選択者数(人) ※	340	376	343
			選択者割合(%) ※	81.7%	82.6%	79.8%
	日常生活において歩行又は、同等の身体活動を1日1時間以上実施していますか。	「いいえ」	質問回答者数(人) ※	416	455	430
			選択者数(人) ※	222	235	222
			選択者割合(%) ※	53.4%	51.6%	51.6%
口腔機能	食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。	「ほとんどかめない」	質問回答者数(人) ※	416	455	430
			選択者数(人) ※	3	3	4
			選択者割合(%) ※	0.7%	0.7%	0.9%
食習慣	就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ありますか。	「はい」	質問回答者数(人) ※	416	454	430
			選択者数(人) ※	73	95	86
			選択者割合(%) ※	17.5%	20.9%	20.0%
	朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか。	「毎日」	質問回答者数(人) ※	416	455	430
			選択者数(人) ※	105	112	115
			選択者割合(%) ※	25.2%	24.6%	26.7%
飲酒	お酒(日本酒、焼酎、ビール、洋酒など)を飲む頻度はどのくらいですか。	「毎日」	質問回答者数(人) ※	416	455	430
			選択者数(人) ※	78	91	88
			選択者割合(%) ※	18.8%	20.0%	20.5%
生活習慣の改善	運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思えますか。	「改善するつもりはない」	質問回答者数(人) ※	416	455	430
			選択者数(人) ※	147	174	153
			選択者割合(%) ※	35.3%	38.2%	35.6%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

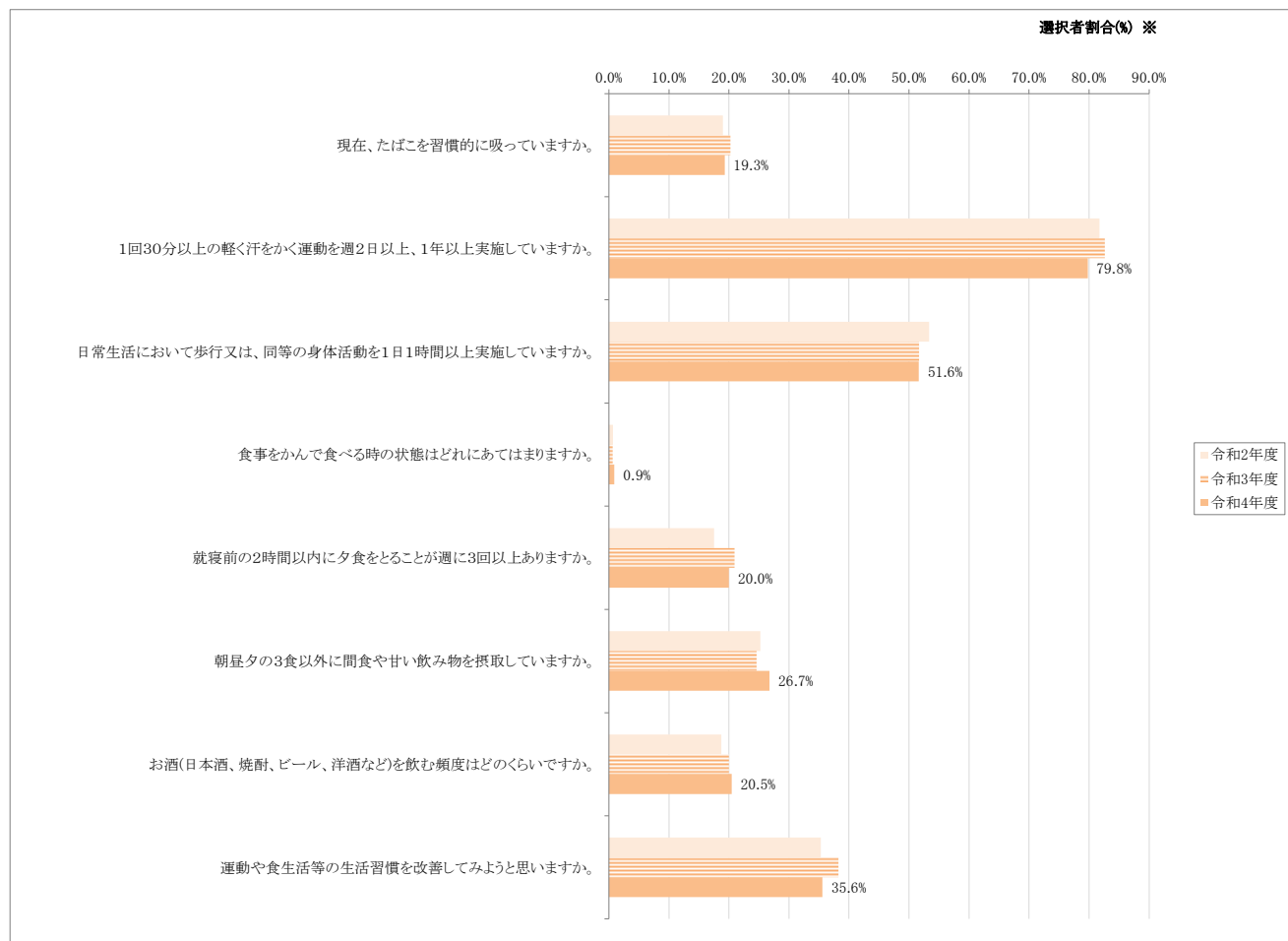
資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数…該当の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…質問回答者のうち、該当の選択肢を選択した人の割合。

年度別 対応の考慮が必要な選択肢の選択者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※選択者割合…質問回答者のうち、該当の選択肢を選択した人の割合。

- ・ 現在、たばこを習慣的に吸っていますか。
- ・ 1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施していますか。
- ・ 日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施していますか。
- ・ 食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。
- ・ 就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ありますか。
- ・ 朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか。
- ・ お酒(日本酒、焼酎、ビール、洋酒など)を飲む頻度はどのくらいですか。
- ・ 運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか。

- …「はい」の選択者数を集計。
- …「いいえ」の選択者数を集計。
- …「いいえ」の選択者数を集計。
- …「ほとんどかめない」の選択者数を集計。
- …「はい」の選択者数を集計。
- …「毎日」の選択者数を集計。
- …「毎日」の選択者数を集計。
- …「改善するつもりはない」の選択者数を集計。

6. 骨折予防・骨粗鬆症重症化予防に係る分析

厚生労働省「2019年国民生活基礎調査」によると、「骨折・転倒」は要介護になった主な要因において「認知症」「脳血管疾患(脳卒中)」「高齢による衰弱」に次ぐ第4位であり、全体の12.5%を占めている。骨折及び骨折のリスクを高める要因となる骨粗鬆症は健康寿命を阻害する危険因子の一つである。ここでは骨折予防・骨粗鬆症重症化予防の取り組みに向けての基礎調査として、骨折及び骨粗鬆症の医療費等の状況について分析する。

(1) 骨折及び骨粗鬆症医療費の状況

以下は、40歳以上の被保険者を対象として、骨折医療費の状況について示したものである。骨折医療費は99万円で、医療費総計の0.5%を占めている。骨折医療費のうち、入院医療費は30万円、入院外医療費は70万円であり、入院の患者一人当たりの骨折医療費は15万円と高額である。

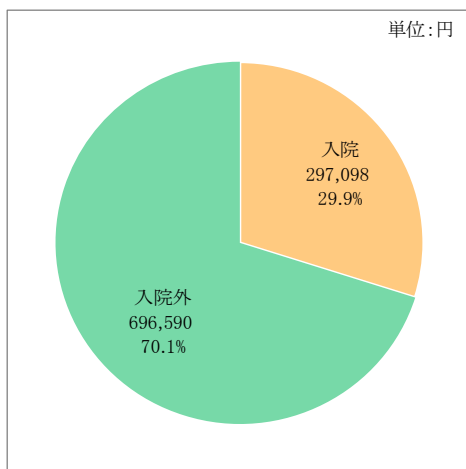
骨折医療費の状況

	A	B	B/A	C	B/C
	医療費総計(円)	骨折医療費(円)	医療費総計に占める骨折医療費の割合(%)	骨折患者数(人)	患者一人当たりの骨折医療費(円)
合計	191,380,110	993,688	0.5%	46	21,602
入院	29,912,330	297,098	1.0%	2	148,549
入院外	161,467,780	696,590	0.4%	45	15,480

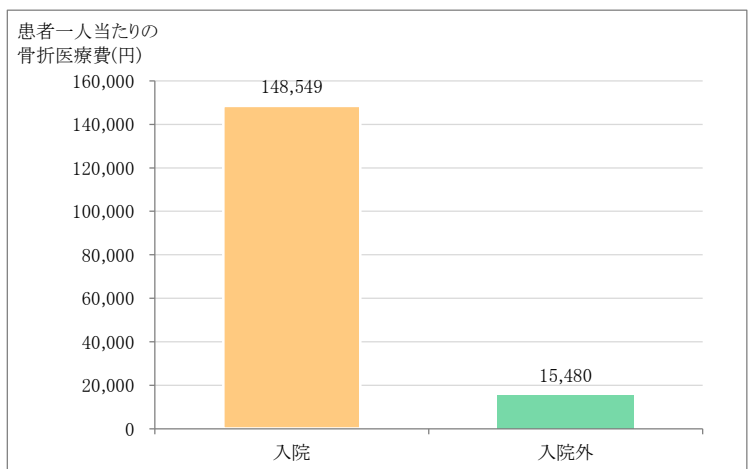
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
骨折…中分類により、次の疾病を対象に集計。1901「骨折」

骨折医療費の内訳(入院・入院外)



患者一人当たりの骨折医療費の比較(入院・入院外)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
骨折…中分類により、次の疾病を対象に集計。1901「骨折」

男女別の状況は以下のとおりである。

骨折医療費99万円のうち、男性の医療費は15万円、女性の医療費は84万円であり、その構成比は男性15.3%、女性84.7%である。また、骨折の有病率(40歳以上の被保険者に占める割合)は、男女計では5.6%、男性5.4%、女性5.8%である。

男女別 骨折医療費の状況

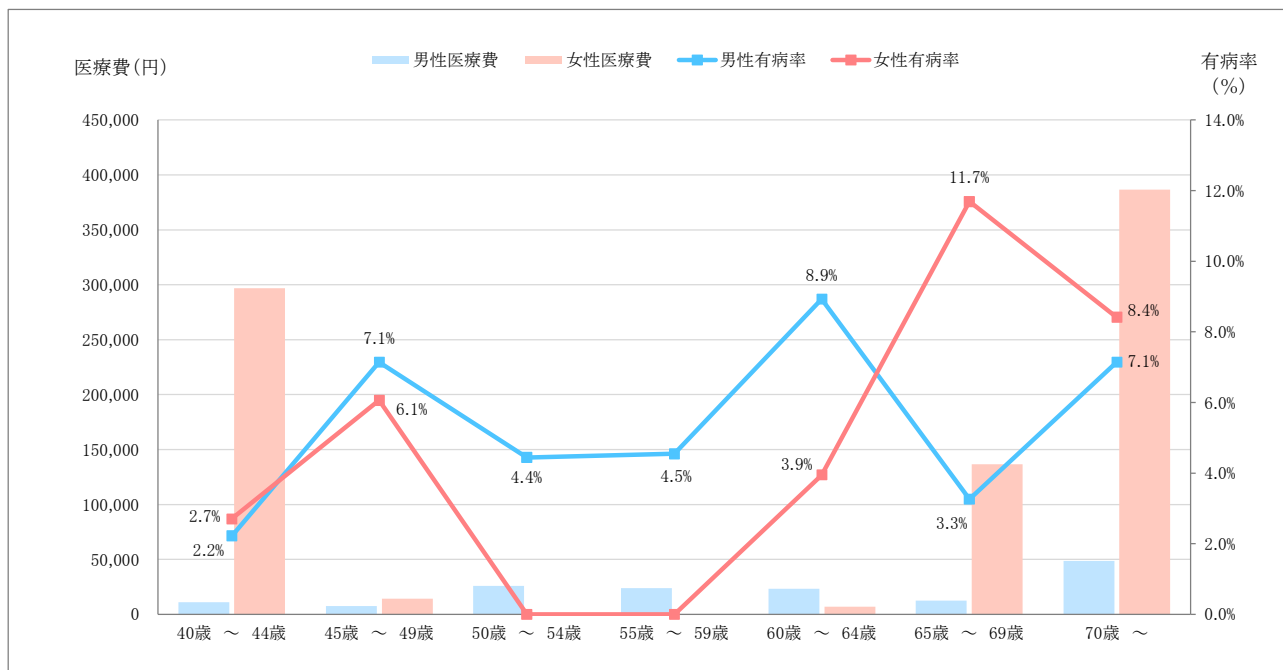
	医療費(円)		患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)	有病率(%)
		構成比(%)			
合計	993,688		46	21,602	5.6%
男性	152,277	15.3%	22	6,922	5.4%
女性	841,411	84.7%	24	35,059	5.8%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
骨折…中分類により、次の疾病を対象に集計。1901「骨折」

男女年齢階層別の状況は以下のとおりである。

男女年齢階層別 骨折の医療費及び有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
骨折…中分類により、次の疾病を対象に集計。1901「骨折」

高齢者に骨折が多い理由は、運動機能・筋力の低下で転倒しやすいことに加えて、骨粗鬆症による骨の脆弱化により軽微な外力であっても骨折しやすいことによるとされる。骨粗鬆症は「骨折の最大の危険因子」(「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2015年版」)である。

骨粗鬆症の医療費の状況について以下に示す。骨粗鬆症医療費は男女計で232万円、男性28万円、女性205万円であり、その構成比は男性11.9%、女性88.1%である。また、骨粗鬆症の有病率(40歳以上の被保険者に占める割合)は、男女計では9.9%、男性2.9%、女性16.7%である。

男女別 骨粗鬆症医療費の状況

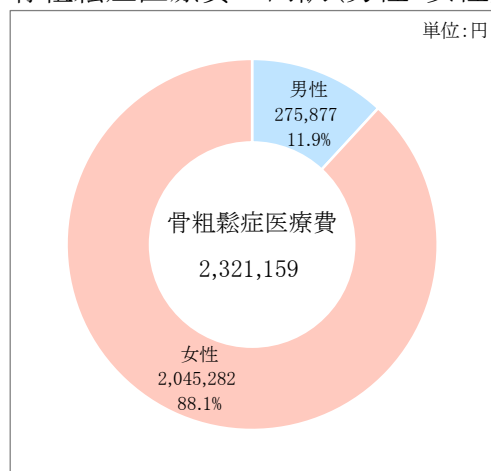
	医療費(円)	構成比(%)	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)	有病率(%)
合計	2,321,159		81	28,656	9.9%
男性	275,877	11.9%	12	22,990	2.9%
女性	2,045,282	88.1%	69	29,642	16.7%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

骨粗鬆症医療費の内訳(男性・女性)



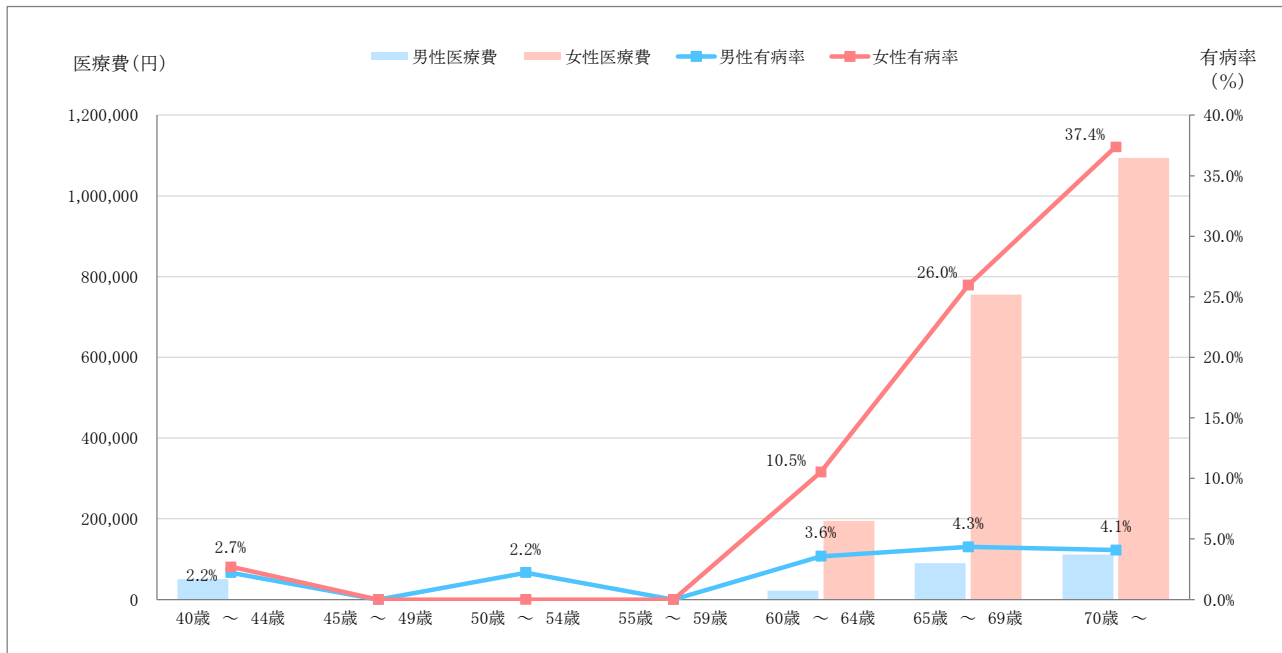
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

男女年齢階層別の状況は以下のとおりである。

男女年齢階層別 骨粗鬆症の医療費及び有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

脆弱性骨折(骨の強度が低下し、軽微な外力によって生じる非外傷性骨折)は、椎体(背骨を構成する骨(椎骨)の円柱状の部分)、大腿骨近位部(足の付け根)、下腿骨(膝と足首の間の骨)、上腕骨近位部(腕の付け根)、橈骨遠位端(手首)、肋骨等において発生頻度が高い。骨粗鬆症患者がこれらの部位に骨折を生じた場合、骨折の要因として骨粗鬆症の影響が強く疑われる。骨粗鬆症患者において脆弱性骨折の好発部位に生じた骨折をここでは骨粗鬆症関連骨折と定義して、その発生状況をレセプトデータから確認する。

骨粗鬆症患者のうち、分析期間に骨粗鬆症関連骨折が発生している患者数は13人であり、患者全体の16.0%を占めている。

骨粗鬆症患者における骨粗鬆症関連骨折発生状況

	患者数(人)	構成比(%)
骨粗鬆症患者全体	81	
骨粗鬆症関連骨折あり	13	16.0%
骨粗鬆症関連骨折なし	68	84.0%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

骨粗鬆症関連骨折…「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2015年版(骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン作成委員会編)」に基づき、株式会社データホライズンにて選定した、骨粗鬆症に関連性が高い骨折(椎体骨折、上腕骨近位部骨折、骨盤骨折、肋骨骨折、橈骨遠位端骨折、大腿骨近位部骨折、下腿骨骨折、脆弱性骨折)の総称。

以下は、骨粗鬆症患者における骨粗鬆症関連骨折の医療費の状況について示したものである。医療費が最も高いのは「椎体骨折」、患者数が最も多いのは「椎体骨折」、患者一人当たりの医療費が最も高いのは「椎体骨折」である。

骨粗鬆症患者における骨粗鬆症関連骨折の医療費の状況

	医療費(円)		患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
		構成比(%)		
骨粗鬆症関連骨折	81,486		13	6,268
椎体骨折	66,764	81.9%	7	9,538
上腕骨近位部骨折	0	0.0%	0	0
骨盤骨折	0	0.0%	0	0
肋骨骨折	2,751	3.4%	2	1,376
橈骨遠位端骨折	10,569	13.0%	4	2,642
大腿骨近位部骨折	1,402	1.7%	1	1,402
下腿骨骨折	0	0.0%	0	0
脆弱性骨折	0	0.0%	0	0

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

骨粗鬆症関連骨折…「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2015年版(骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン作成委員会編)」に基づき、株式会社データホライズンにて選定した、骨粗鬆症に関連性が高い骨折(椎体骨折、上腕骨近位部骨折、骨盤骨折、肋骨骨折、橈骨遠位端骨折、大腿骨近位部骨折、下腿骨骨折、脆弱性骨折)の総称。

集計対象範囲を骨粗鬆症患者に限定しているため、他統計と一致しない。

(2) 骨粗鬆症患者の治療継続状況

骨粗鬆症の治療と予防の目的は、骨折を予防し、生活機能及びQOLの維持・改善を図ることである。骨粗鬆症の薬物治療は長期的な継続が必要であるが、一般的に服薬継続率が低く、それに伴う骨折の抑制率の低下が問題となっている。ここでは令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)のレセプトデータから、骨粗鬆症患者の治療状況について分析した。分析期間に骨粗鬆症治療薬の処方がある患者(治療薬服用中患者)のうち、男女計では1.5%、男性0.0%、女性1.7%が、治療薬の適切な服用間隔を超えて処方が確認できない治療中断患者に該当している。

骨粗鬆症患者の治療状況

	A	B	B1	B2	B2/B
	骨粗鬆症患者数(人)	治療薬服用中患者数(人)			治療薬服用中患者に占める治療中断患者の割合(%)
		継続治療中患者数(人)	治療中断患者数(人)		
合計	81	68	67	1	1.5%
男性	12	10	10	0	0.0%
女性	69	58	57	1	1.7%

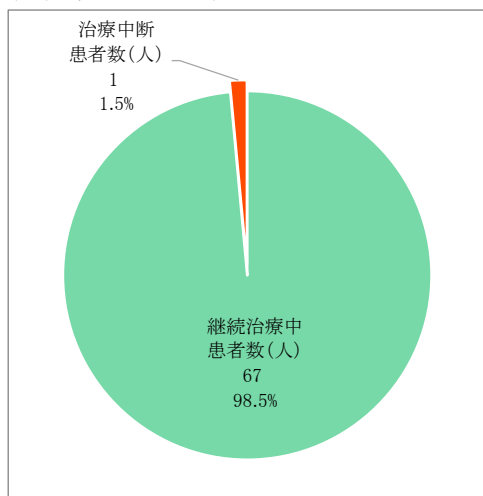
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

治療薬服用中患者…骨粗鬆症患者のうち、1種類以上の骨粗鬆症治療薬の処方がある患者。骨粗鬆症治療薬は、「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2015年版(骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン作成委員会編)」に基づき、株式会社データホライズンにて選定した。

骨粗鬆症治療薬服用中患者の治療継続状況



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

治療薬服用中患者…骨粗鬆症患者のうち、1種類以上の骨粗鬆症治療薬の処方がある患者。骨粗鬆症治療薬は、「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2015年版(骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン作成委員会編)」に基づき、株式会社データホライズンにて選定した。

治療中断患者の判定について

治療薬の適切な服用間隔を超えて処方が確認できない場合に当該治療薬について中断とする。分析期間内に複数の骨粗鬆症治療薬の処方がある患者については、処方されている全ての骨粗鬆症治療薬について中断に該当する場合のみ、治療中断患者として判定している。

7. 要介護認定状況に係る分析

(1) 要介護度別被保険者数

以下は、更別村国民健康保険における、要介護度別被保険者数を示したものである。要介護認定者数は7人で、要介護認定状況が確認できた40歳以上の被保険者の0.9%を占めている。

年齢階層別 要介護度別被保険者数

単位：人

年齢階層	非該当	要介護認定								不明	合計
		要支援		要介護							
		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5			
40歳～44歳	82	0	0	0	0	0	0	0	0	0	82
45歳～49歳	61	0	0	0	0	0	0	0	0	0	61
50歳～54歳	80	0	0	0	0	0	0	0	0	0	80
55歳～59歳	92	0	0	0	0	0	0	0	0	0	92
60歳～64歳	131	1	0	1	0	0	0	0	0	0	132
65歳～69歳	167	2	1	0	1	0	0	0	0	0	169
70歳～	201	4	1	1	1	1	0	0	0	0	205
合計	814	7	2	2	2	1	0	0	0	0	821

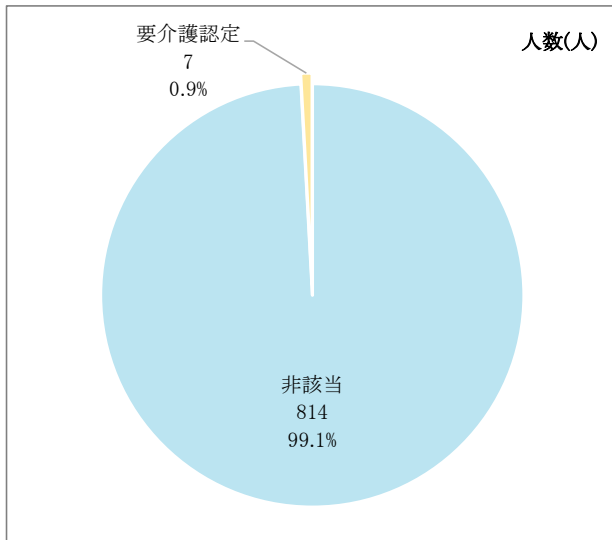
データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)。対象年齢は40歳以上。

被保険者の資格情報は令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)。

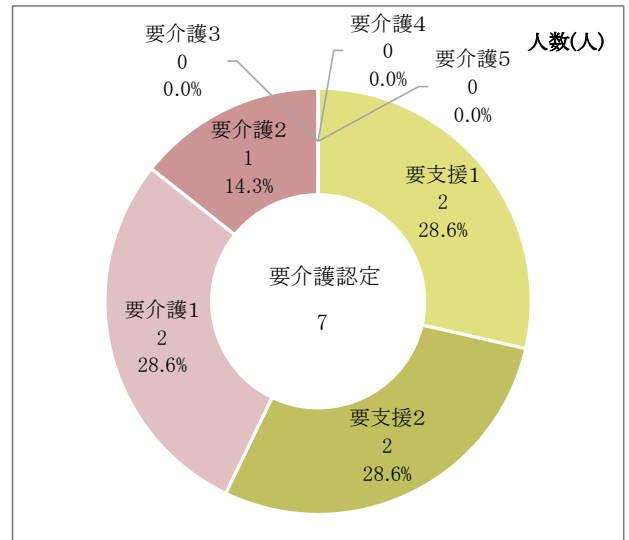
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

介護データの期間内で資格が確認できた最終年月の要介護度で集計している(介護データの期間内で資格が確認できた最終年月において、要介護認定者ではない被保険者は「非該当」とする。以下同じ。)。介護データの期間内に資格が確認できない被保険者が存在した場合、その要介護度は「不明」とする。

要介護認定率



要介護度別認定者数構成比



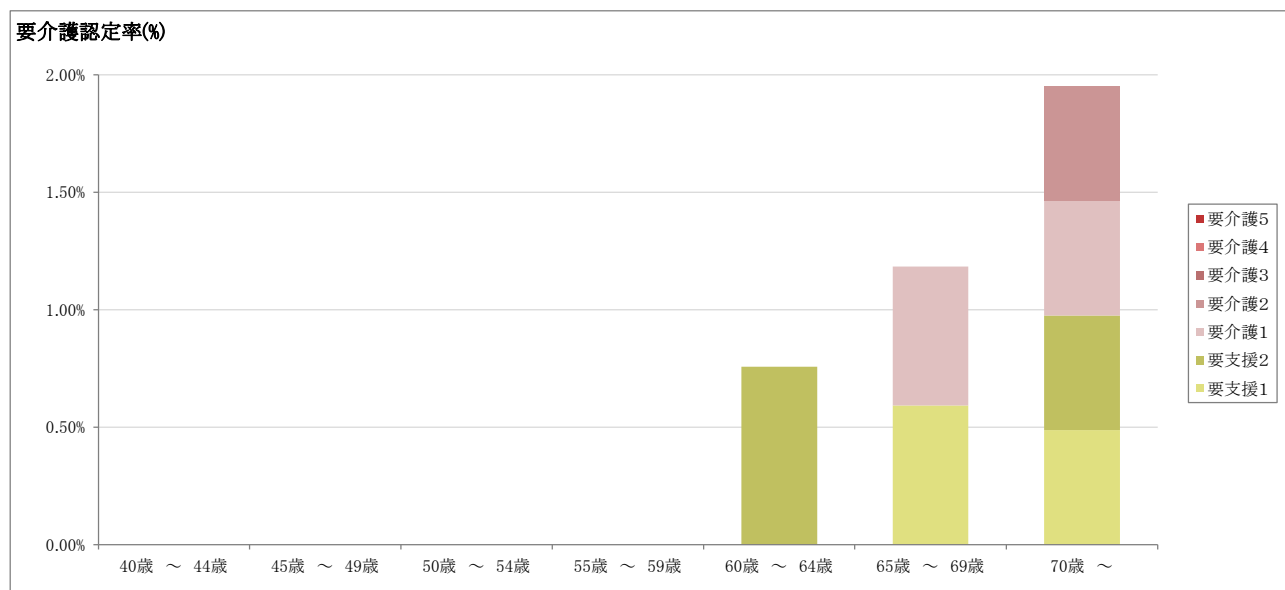
データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)。対象年齢は40歳以上。

被保険者の資格情報は令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

介護データの期間内で資格が確認できた最終年月の要介護度で集計している。要介護認定率は要介護度が「不明」の被保険者を含めず算出。

年齢階層別 要介護認定率



データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)。対象年齢は40歳以上。

被保険者の資格情報は令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

介護データの期間内で資格が確認できた最終年月の要介護度で集計している。

要介護度別被保険者数を男女年齢階層別に示す。

年齢階層別 要介護度別被保険者数(男性)

単位:人

年齢階層	非該当	要介護認定	要介護							不明	合計
			要支援		要介護						
			要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5		
40歳～44歳	45	0	0	0	0	0	0	0	0	0	45
45歳～49歳	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28
50歳～54歳	45	0	0	0	0	0	0	0	0	0	45
55歳～59歳	44	0	0	0	0	0	0	0	0	0	44
60歳～64歳	55	1	0	1	0	0	0	0	0	0	56
65歳～69歳	91	1	0	0	1	0	0	0	0	0	92
70歳～	97	1	0	0	0	1	0	0	0	0	98
合計	405	3	0	1	1	1	0	0	0	0	408

データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)。対象年齢は40歳以上。
被保険者の資格情報は令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

介護データの期間内で資格が確認できた最終年月の要介護度で集計している。介護データの期間内に資格が確認できない被保険者が存在した場合は「不明」とする。

年齢階層別 要介護度別被保険者数(女性)

単位:人

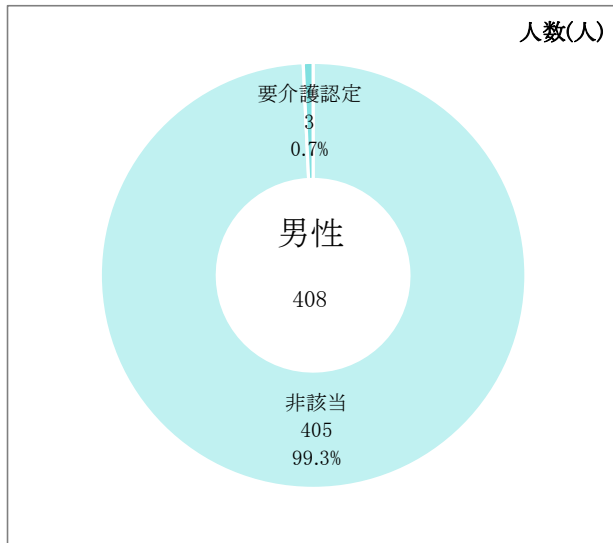
年齢階層	非該当	要介護認定	要介護							不明	合計
			要支援		要介護						
			要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5		
40歳～44歳	37	0	0	0	0	0	0	0	0	0	37
45歳～49歳	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33
50歳～54歳	35	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35
55歳～59歳	48	0	0	0	0	0	0	0	0	0	48
60歳～64歳	76	0	0	0	0	0	0	0	0	0	76
65歳～69歳	76	1	1	0	0	0	0	0	0	0	77
70歳～	104	3	1	1	1	0	0	0	0	0	107
合計	409	4	2	1	1	0	0	0	0	0	413

データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)。対象年齢は40歳以上。
被保険者の資格情報は令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)。

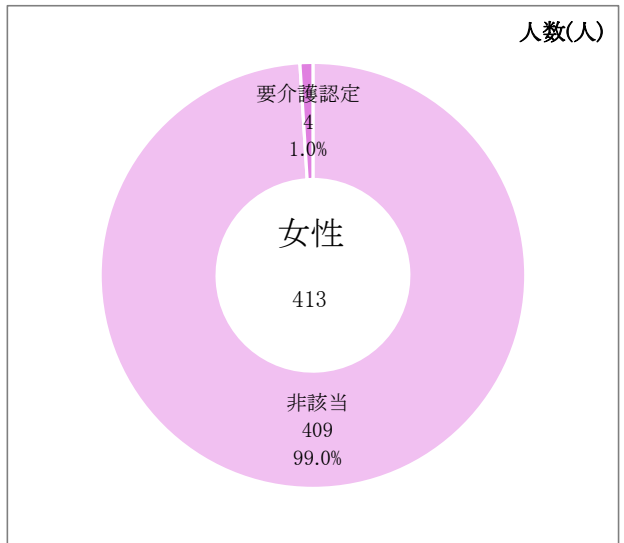
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

介護データの期間内で資格が確認できた最終年月の要介護度で集計している。介護データの期間内に資格が確認できない被保険者が存在した場合は「不明」とする。

要介護認定率(男性)



要介護認定率(女性)

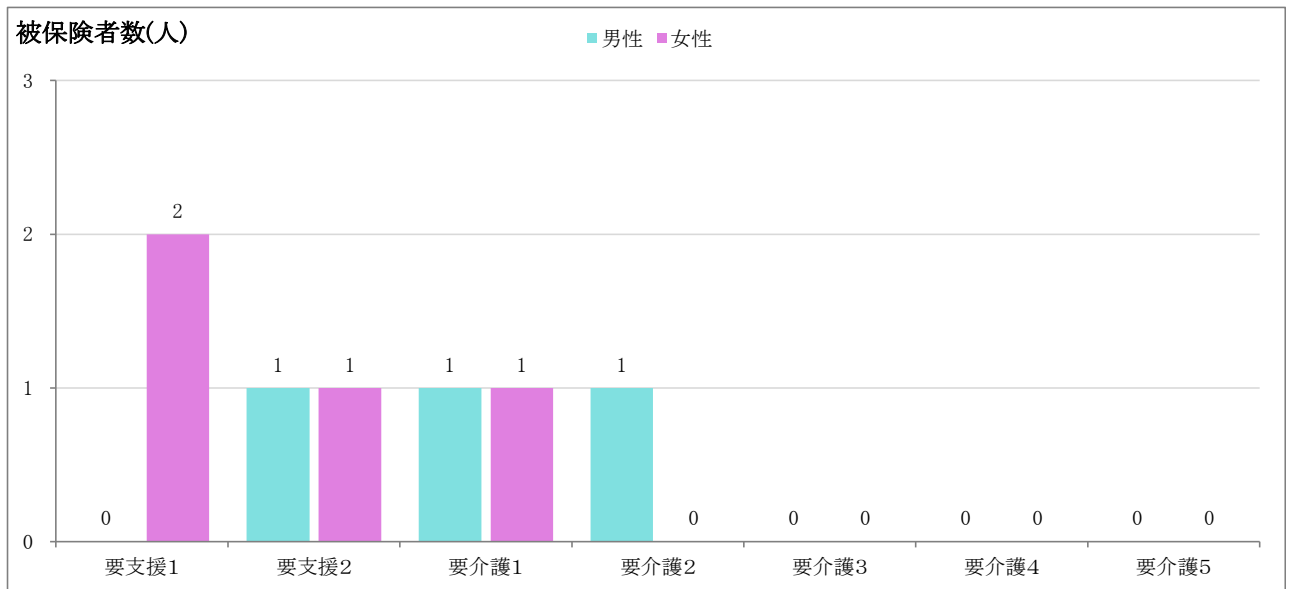


データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)。対象年齢は40歳以上。
被保険者の資格情報は令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

介護データの期間内で資格が確認できた最終年月の要介護度で集計している。要介護認定率は要介護度が「不明」の被保険者を含めず算出。

男女別 要介護度別被保険者数



データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)。対象年齢は40歳以上。
被保険者の資格情報は令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

介護データの期間内で資格が確認できた最終年月の要介護度で集計している。

以下は、令和2年度から令和4年度における、要介護度別被保険者数を年度別に示したものである。

年度別 要介護度別被保険者数

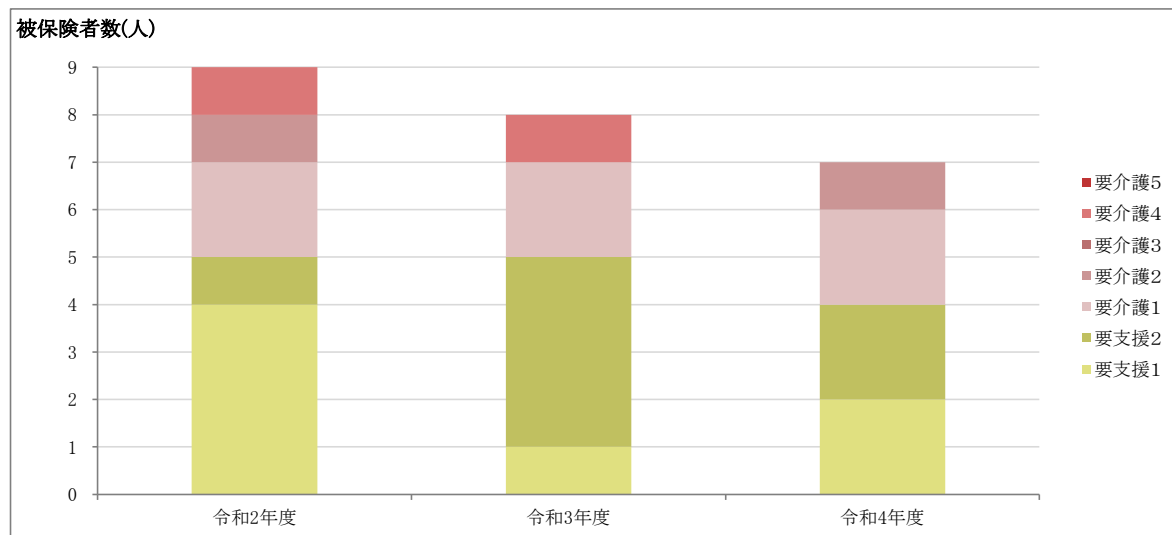
単位:人

要介護度		令和2年度	令和3年度	令和4年度
非該当		811	806	814
該当		9	8	7
要支援	要支援1	4	1	2
	要支援2	1	4	2
要介護	要介護1	2	2	2
	要介護2	1	0	1
	要介護3	0	0	0
	要介護4	1	1	0
	要介護5	0	0	0
合計		820	814	821

データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和2年4月～令和5年3月分(36カ月分)。対象年齢は各年度末時点で40歳以上。
被保険者の資格情報は令和2年4月～令和5年3月分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
各年度、資格が確認できた最終年月の要介護度で集計している。

年度別 要介護度別被保険者数



データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和2年4月～令和5年3月分(36カ月分)。対象年齢は各年度末時点で40歳以上。
被保険者の資格情報は令和2年4月～令和5年3月分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
各年度、資格が確認できた最終年月の要介護度で集計している。

(2) 要介護度別医療費の状況

以下は、要介護度別医療費の状況について示したものである。

要介護度別 医療費統計

要介護度	被保険者数(人) ※	医療費(円) ※	患者数(人) ※	被保険者一人当たりの医療費(円)	患者一人当たりの医療費(円)
非該当	815	183,864,380	692	225,600	265,700
該当	9	8,188,090	9	909,788	909,788
要支援	要支援1	326,820	2	163,410	163,410
	要支援2	3,426,350	4	856,588	856,588
要介護	要介護1	3,821,700	3	1,273,900	1,273,900
	要介護2	613,220	1	613,220	613,220
	要介護3	0	0	0	0
	要介護4	0	0	0	0
	要介護5	0	0	0	0
不明		0	0		
合計	821	192,052,470	698	233,925	275,147

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)。

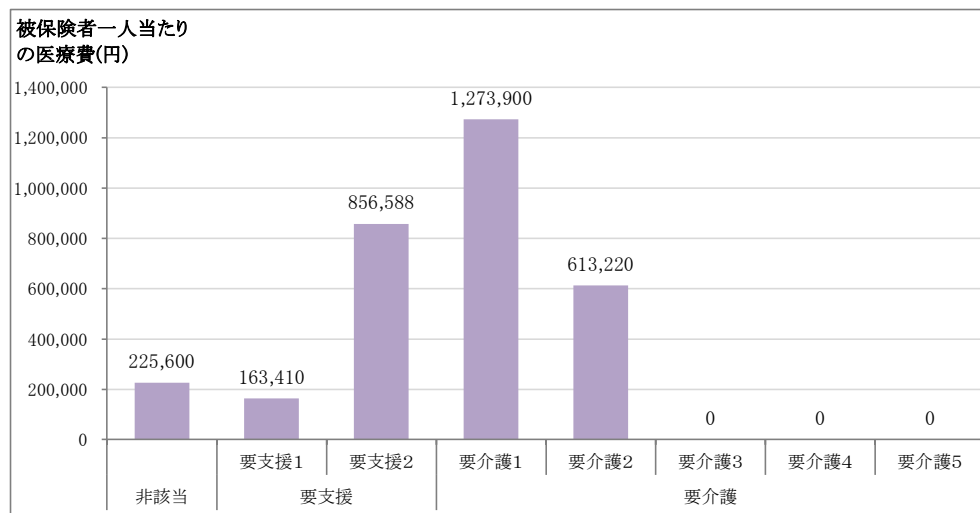
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※被保険者数…要介護度別延べ人数。各人が介護データの期間内に該当した全ての要介護度において、それぞれ一人として集計する(介護データの期間内で要介護認定者ではない年月が存在した場合、当該年月の要介護度を「非該当」とする。以下同じ。)。要介護度の変更により、一人の被保険者が複数の要介護度に該当する場合があるため、要介護度別の被保険者数の和は、被保険者数合計とは必ずしも一致しない。

※医療費…診療年月時点の要介護度で集計している。介護データの期間外に発生したレセプトの集計結果は「不明」に分類する。

※患者数…診療年月時点の要介護度で集計している。介護データの期間外に発生したレセプトの集計結果は「不明」に分類する。要介護度の変更により、一人の患者が複数の要介護度に該当する場合があるため、要介護度別の患者数の和は、患者数合計とは必ずしも一致しない。

要介護度別 被保険者一人当たりの医療費



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

診療年月時点の要介護度で集計している。

(3) 要介護度と疾病有病状況

① 要介護度別上位10疾病

以下は、要介護度別の医療費上位10疾病を示したものである。

要介護度別 医療費上位10疾病

単位：円

要介護度	1位	2位	3位	4位	5位
非該当	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	0402 糖尿病	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	1113 その他の消化器系の疾患	0901 高血圧性疾患
	21,882,311	15,767,901	8,621,654	8,362,524	8,298,916
要支援	要支援1 0606 その他の神経系の疾患	1309 骨の密度及び構造の障害	0903 その他の心疾患	0403 脂質異常症	1010 喘息
	85,820	40,368	34,161	29,901	21,813
要支援	要支援2 0601 パーキンソン病	0903 その他の心疾患	1402 腎不全	1010 喘息	1009 慢性閉塞性肺疾患
	938,046	371,109	256,087	247,412	232,836
要介護	要介護1 0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	0702 白内障	0603 てんかん	0901 高血圧性疾患
	2,342,681	399,993	324,962	142,445	88,403
	要介護2 0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1113 その他の消化器系の疾患		
	503,369	99,657	4,194		
	要介護3				
要介護4					
要介護5					
全体	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	0402 糖尿病	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	1113 その他の消化器系の疾患	0901 高血圧性疾患
	24,728,361	15,937,262	8,621,654	8,520,254	8,456,673

要介護度	6位	7位	8位	9位	10位
非該当	0403 脂質異常症	1402 腎不全	0606 その他の神経系の疾患	0704 その他の眼及び付属器の疾患	1302 関節症
	7,863,016	7,343,905	7,303,760	6,960,859	5,491,494
要支援	要支援1 1009 慢性閉塞性肺疾患	1011 その他の呼吸器系の疾患	0901 高血圧性疾患	0402 糖尿病	0902 虚血性心疾患
	18,328	17,057	15,871	9,947	8,967
要支援	要支援2 1011 その他の呼吸器系の疾患	1306 腰痛症及び坐骨神経痛	0402 糖尿病	1404 その他の腎尿路系の疾患	1113 その他の消化器系の疾患
	176,223	153,950	140,462	103,600	90,550
要介護	要介護1 1113 その他の消化器系の疾患	0403 脂質異常症	0606 その他の神経系の疾患	0903 その他の心疾患	1011 その他の呼吸器系の疾患
	60,776	57,352	52,327	44,708	43,395
	要介護2				
	要介護3				
	要介護4				
要介護5					
全体	0403 脂質異常症	1402 腎不全	0606 その他の神経系の疾患	0704 その他の眼及び付属器の疾患	1302 関節症
	7,957,655	7,599,992	7,472,137	6,979,540	5,513,973

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

診療年月時点の要介護度で集計している。全体は要介護度「不明」を集計に含む。

以下は、要介護度別の患者数上位10疾病を示したものである。

要介護度別 患者数上位10疾病

単位：人

要介護度	1位	2位	3位	4位	5位	
非該当	0402 糖尿病	0403 脂質異常症	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	0901 高血圧性疾患	1113 その他の消化器系の疾患	
	314	306	291	276	244	
要支援	要支援1	0402 糖尿病	0606 その他の神経系の疾患	1309 骨の密度及び構造の障害	0403 脂質異常症	0901 高血圧性疾患
	2	2	2	1	1	
要支援	要支援2	0901 高血圧性疾患	1113 その他の消化器系の疾患	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	0402 糖尿病	1104 胃潰瘍及び十二指腸潰瘍
	4	4	4	3	3	
要介護	要介護1	0901 高血圧性疾患	1113 その他の消化器系の疾患	0402 糖尿病	0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	0606 その他の神経系の疾患
	3	3	2	2	2	
	要介護2	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	1113 その他の消化器系の疾患	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの		
	1	1	1			
	要介護3					
要介護4						
要介護5						
全体	0402 糖尿病	0403 脂質異常症	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	0901 高血圧性疾患	1113 その他の消化器系の疾患	
	319	309	295	281	249	

要介護度	6位	7位	8位	9位	10位	
非該当	0703 屈折及び調節の障害	0704 その他の眼及び付属器の疾患	0606 その他の神経系の疾患	2220 その他の特殊目的用コード	1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	
	185	179	171	158	153	
要支援	要支援1	0902 虚血性心疾患	0903 その他の心疾患	0904 くも膜下出血	0906 脳梗塞	0908 その他の脳血管疾患
	1	1	1	1	1	
要支援	要支援2	1306 腰痛症及び坐骨神経痛	0606 その他の神経系の疾患	0903 その他の心疾患	0909 動脈硬化(症)	1006 アレルギー性鼻炎
	3	2	2	2	2	
要介護	要介護1	1306 腰痛症及び坐骨神経痛	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	0106 その他のウイルス性疾患	0107 真菌症	0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>
	2	2	1	1	1	
	要介護2					
	要介護3					
	要介護4					
要介護5						
全体	0703 屈折及び調節の障害	0704 その他の眼及び付属器の疾患	0606 その他の神経系の疾患	2220 その他の特殊目的用コード	1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	
	186	180	175	159	156	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

診療年月時点の要介護度で集計している。全体は要介護度「不明」を集計に含む。

以下は、要介護度別の患者一人当たりの医療費上位10疾病を示したものである。

要介護度別 患者一人当たりの医療費上位10疾病

単位:円

要介護度	1位	2位	3位	4位	5位
非該当	1504 その他の妊娠、分娩及び産じよく	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	1402 腎不全	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	1501 流産
	889,812	538,853	271,996	218,823	105,439
要支援	要支援1 0606 その他の神経系の疾患	0903 その他の心疾患	0403 脂質異常症	1010 喘息	1309 骨の密度及び構造の障害
	42,910	34,161	29,901	21,813	20,184
要支援	要支援2 0601 パーキンソン病	1402 腎不全	1010 喘息	1009 慢性閉塞性肺疾患	0903 その他の心疾患
	938,046	256,087	247,412	232,836	185,555
要介護	要介護1 0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	0702 白内障	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	0603 てんかん	0403 脂質異常症
	2,342,681	324,962	199,997	142,445	57,352
	要介護2 0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1113 その他の消化器系の疾患		
	503,369	99,657	4,194		
	要介護3				
要介護4					
要介護5					
全体	1504 その他の妊娠、分娩及び産じよく	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	1402 腎不全	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	0601 パーキンソン病
	889,812	538,853	271,428	247,284	148,945

要介護度	6位	7位	8位	9位	10位
非該当	1301 炎症性多発性関節障害	0601 パーキンソン病	1010 喘息	1111 胆石症及び胆のう炎	0402 糖尿病
	92,758	83,187	62,571	51,043	50,216
要支援	要支援1 1009 慢性閉塞性肺疾患	1011 その他の呼吸器系の疾患	0901 高血圧性疾患	0902 虚血性心疾患	0904 くも膜下出血
	18,328	17,057	15,871	8,967	7,295
要支援	要支援2 1011 その他の呼吸器系の疾患	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	1301 炎症性多発性関節障害	1404 その他の腎尿路系の疾患	1306 腰痛症及び坐骨神経痛
	88,112	56,717	53,679	51,800	51,317
要介護	要介護1 0903 その他の心疾患	1011 その他の呼吸器系の疾患	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	0901 高血圧性疾患	0606 その他の神経系の疾患
	44,708	43,395	31,339	29,468	26,164
	要介護2				
	要介護3				
	要介護4				
要介護5					
全体	1501 流産	1301 炎症性多発性関節障害	1010 喘息	1111 胆石症及び胆のう炎	0402 糖尿病
	105,439	92,061	66,074	51,043	49,960

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

診療年月時点の要介護度で集計している。全体は要介護度「不明」を集計に含む。

②骨折有無別要介護認定状況

要介護状態と疾病の有病状況との関連について、高齢者が寝たきりや要介護状態になるきっかけの一つであるとされる骨折に着目して分析を行う。

骨折に係る医療費が発生している場合に「骨折あり」、そうでない場合に「骨折なし」として、各集団における要介護認定状況を比較した。「骨折あり」の集団における要介護認定者の割合は2.17%、「骨折なし」の集団における要介護認定者の割合は0.77%である。

骨折有無別 要介護認定状況

単位：人

骨折の有無	非該当	要介護認定								不明	合計
		要支援		要介護							
		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5			
骨折あり	45	1	0	1	0	0	0	0	0	0	46
	97.83%	2.17%	0.00%	2.17%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	
骨折なし	769	6	2	1	2	1	0	0	0	0	775
	99.23%	0.77%	0.26%	0.13%	0.26%	0.13%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	
合計	814	7	2	2	2	1	0	0	0	0	821
	99.15%	0.85%	0.24%	0.24%	0.24%	0.12%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

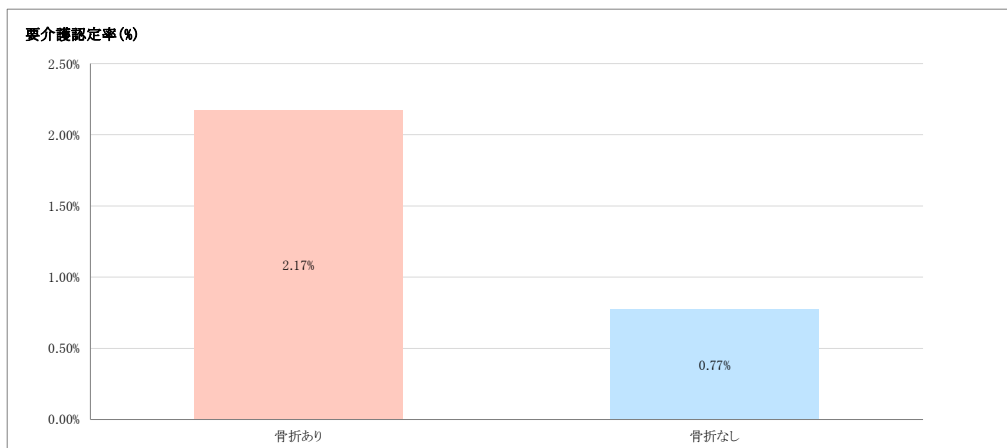
データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

介護データの期間内で資格が確認できた最終年月の要介護度で集計している(介護データの期間内で資格が確認できた最終年月において、要介護認定者ではない被保険者は「非該当」とする。)。介護データの期間内に資格が確認できない被保険者が存在した場合、その要介護度は「不明」とする。

骨折…中分類により、次の疾病を対象に集計。1901「骨折」

骨折有無別 要介護認定者の割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…介護データ。令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

介護データの期間内で資格が確認できた最終年月の要介護認定状況で集計している。

骨折…中分類により、次の疾病を対象に集計。1901「骨折」

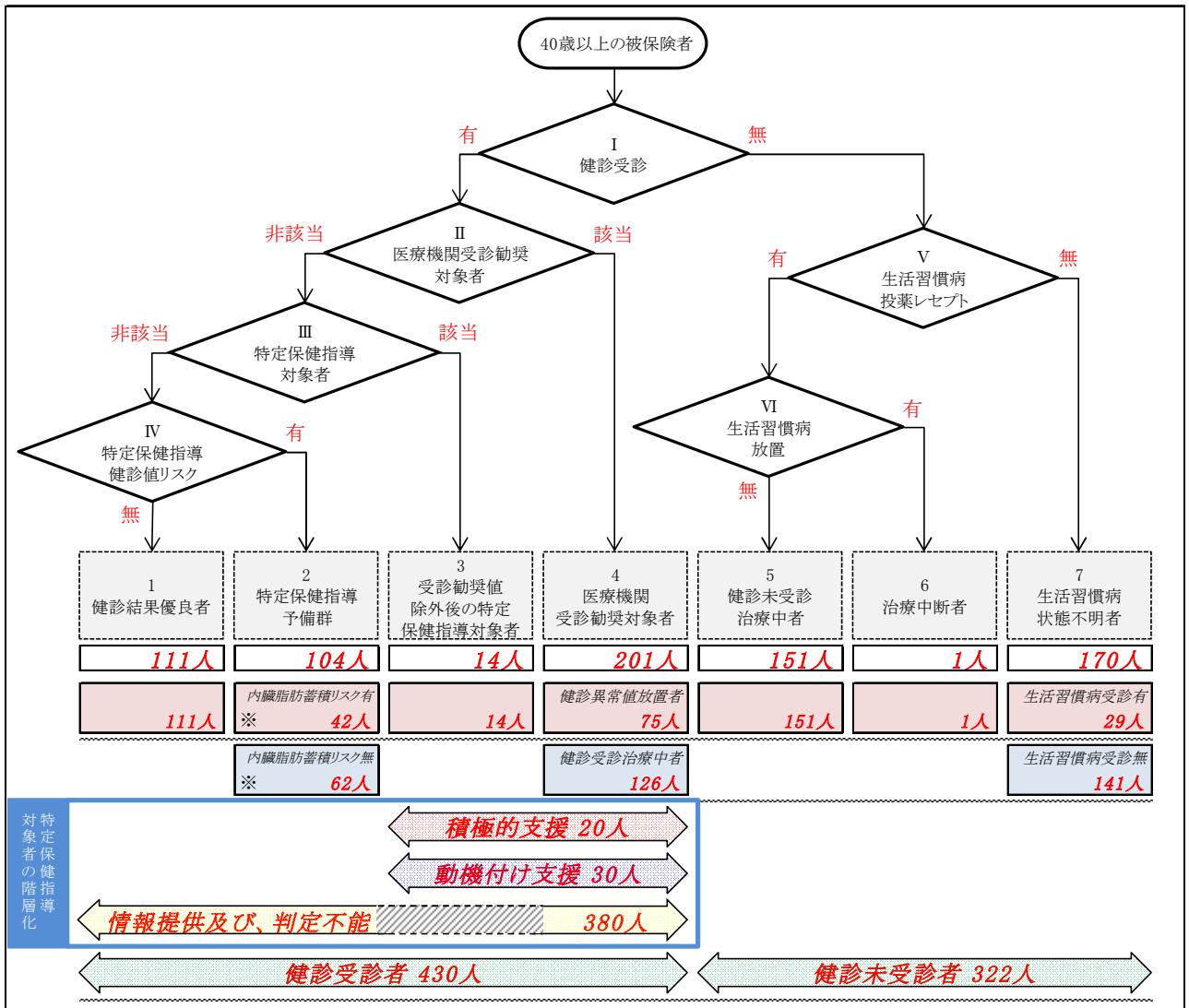
参考資料 保健事業に係る分析

1. 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析

特定健康診査データとレセプトデータを組み合わせた分析を行う。40歳以上の被保険者について、特定健康診査データの有無や異常値の有無、生活習慣病にかかわるレセプトの有無等を判定し、7つのグループに分類し、分析結果を以下に示す。

左端の「1. 健診結果優良者」から「6. 治療中断者」まで順に健康状態が悪くなっており、「7. 生活習慣病状態不明者」は特定健康診査データ・レセプトデータから生活習慣病状態が確認できないグループである。

特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…令和5年3月31日時点。
各フローの詳細については巻末資料「1.「指導対象者群分析」のグループ分けの見方」を参照。
※内臓脂肪蓄積リスク…腹囲・BMIにより内臓脂肪蓄積リスクを判定し階層化。

(1) 健診異常値放置者に係る分析

特定健康診査では異常値があった場合、医療機関での精密検査を勧めている。しかし、異常値があるにもかかわらず、医療機関への受診をしていない者が存在する。これらの対象者をレセプトにより見極める。

「特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」のフローにおける「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、医療機関への受診をしていない「健診異常値放置者」に該当する75人が健診異常値放置受診勧奨対象者となる。

条件設定による指導対象者の特定(健診異常値放置)

I. 条件設定による指導対象者の特定	
・健診異常値放置者 … 健診受診後、医療機関へ受診していない人 厚生労働省受診勧奨判定値以上の検査数値のある人を対象とする	
条件設定により対象となった候補者数	75 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…令和5年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。「がん患者」「精神疾患患者」「難病患者」「認知症患者」「人工透析患者」に関しては、治療を優先すべき疾病を有しており、医学的管理の下にあることが推察される。また、指導が困難な可能性も考えられる。以上の理由から、該当する患者について指導対象者から除外する。

除外設定(健診異常値放置)

II. 除外設定	
	除外理由別人数
除外	がん、精神疾患、難病、認知症 ※ 人工透析
	14 人
↓	
除外患者を除いた候補者数	61 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…令和5年3月31日時点。
※がん、精神疾患、難病、認知症…疑い病名を含む。

次に、残る対象者61人のうち、保健事業の実施効果が高い対象者を特定する。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。厚生労働省の定める受診勧奨判定値（血糖、血圧、脂質）を用いた結果、異常が認められ、かつ生活習慣病（糖尿病、高血圧症、脂質異常症）に対するレセプトが発生していない対象者を健診異常値放置受診勧奨対象者とする。ここでは受診勧奨判定異常値因子数（血糖、血圧、脂質）が多い患者を優先とし、喫煙は生活習慣病のリスクを高めることから、喫煙の有無によりリスクを判定した。

これら対象者は全てが受診勧奨対象者ではあるが、通知件数の制約により優先順位を設定する必要がある場合、候補者Aより順に対象者を選択する。

優先順位（健診異常値放置）

Ⅲ. 優先順位			
↑高 効果 ↓低	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 3つ	候補者A 0人	候補者C 1人
	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 2つ	候補者B 0人	候補者D 4人
	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 1つ	候補者E 14人	候補者F 42人
		喫煙	非喫煙
			←高 リスク 低→
効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの人数			61人

データ化範囲（分析対象）…入院（DPCを含む）、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分（12カ月分）。
データ化範囲（分析対象）…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分（12カ月分）。
資格確認日…令和5年3月31日時点。

健診異常値放置者の判定について

- 健康診査にて異常値があるとされた被保険者を対象とし、健康診査受診後に医療機関への受診がない被保険者を健診異常値放置者と判定する。

(2) 生活習慣病治療中断者に係る分析

生活習慣病となった患者の中には服薬を適切に行わないケース、定期的な診療を自己の判断により止めてしまうケースがある。その結果、生活習慣病が進行し、脳卒中、心筋梗塞等の重篤な疾病を引き起こしてしまう可能性がある。

「特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」のフローにおいては、「6. 治療中断者」と健診受診者のうち治療中断が発生している患者を合わせた4人が対象となる。

条件設定による指導対象者の特定(生活習慣病治療中断者)

I. 条件設定による指導対象者の特定		
・生活習慣病治療中断者 …かつて、生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で定期受診をしていたが、その後、定期受診を中断した患者		
		候補者人数
指導対象者群 分析結果	6 治療中断者	1 人
	上記以外のグループ	3 人
条件設定により対象となった候補者数 (合計)		4 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和5年3月31日時点。

上記以外のグループ…治療中断者は、健康診査受診の有無、生活習慣病投薬レセプト有無にかかわらず、生活習慣病での受診がある患者の中から抽出する。「特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」のフローにおいて、「I 健診受診」で健康診査の受診の有無、「V 生活習慣病投薬レセプト」で生活習慣病投薬レセプトの有無をみているため、「6 治療中断者」には健康診査未受診かつ生活習慣病投薬レセプト有の治療中断者のみ格納される。「上記以外のグループ」には、「6 治療中断者」の抽出条件に該当しないが、次の①、②のいずれかに該当する治療中断者が格納される。

- ①「I 健診結果優良者」～「4 医療機関受診勧奨対象者」(健診受診者)のうちの治療中断者
- ②「7 生活習慣病状態不明者」生活習慣病受診有(健診未受診かつ生活習慣病投薬無かつ生活習慣病受診有)のうちの治療中断者

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。「がん患者」「精神疾患患者」「難病患者」「認知症患者」「人工透析患者」に関しては、治療を優先すべき疾病を有しており、医学的管理の下にあることが推察される。また、指導が困難な可能性も考えられる。以上の理由から、該当する患者について指導対象者から除外する。

除外設定(生活習慣病治療中断者)

II. 除外設定		
		除外理由別人数
除外	がん、精神疾患、難病、認知症 ※ 人工透析	0 人
除外患者を除き、候補者となった患者数		4 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和5年3月31日時点。

※がん、精神疾患、難病、認知症…疑い病名を含む。

次に、残る対象者4人のうち、保健事業の実施効果が高い対象者を特定する。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。過去のレセプトデータから医療機関への受診頻度を確認し、その受診頻度に応じた期間を超えて、医療機関への受診が確認されない患者を生活習慣病治療中断者とする。ここでは生活習慣病の有病数が多い患者を優先とした。

優先順位(生活習慣病治療中断者)

Ⅲ.優先順位				
↑高 効果 ↓低	生活習慣病有病数 3つ	候補者A1 0人	候補者A2 0人	候補者A3 0人
	生活習慣病有病数 2つ	候補者B1 0人	候補者B2 0人	候補者B3 0人
	生活習慣病有病数 1つ	候補者C1 0人	候補者C2 2人	候補者C3 2人
		毎月受診	2～3カ月に1度受診	4カ月以上の定期受診
効果が高く効率の良い候補者A1～候補者C3の患者数				4人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和5年3月31日時点。

生活習慣病治療中断者の判定について

- ・分析期間内において生活習慣病の治療を行っている人の生活習慣病での医療機関受診頻度を特定する。その後、毎月受診していた方が毎月受診せず中断している等、現在の受診状況と比較し、生活習慣病での医療機関受診中断の有無の判定を行う。

2. 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析

国は、健康日本21(第二次)において、糖尿病性腎症による年間新規透析導入患者数の減少等を数値目標として掲げ、全国的な取り組みの強化を進めている。生活習慣を起因とした糖尿病性腎症患者に対し、生活習慣の改善を促し重症化を予防することで人工透析への移行を防止し、患者のQOLの維持及び医療費の適正化を図ることが本事業の目的である。

(1) 人工透析患者の実態

人工透析患者の分析を行った。「透析」は傷病名ではないため、「透析」に当たる診療行為が行われている患者を特定し、集計した。

分析の結果、起因が明らかとなった患者のうち、100%が生活習慣を起因とするものであり、50.0%がⅡ型糖尿病を起因として透析となる、糖尿病性腎症であることが分かった。

対象レセプト期間内で「透析」に関する診療行為が行われている患者数

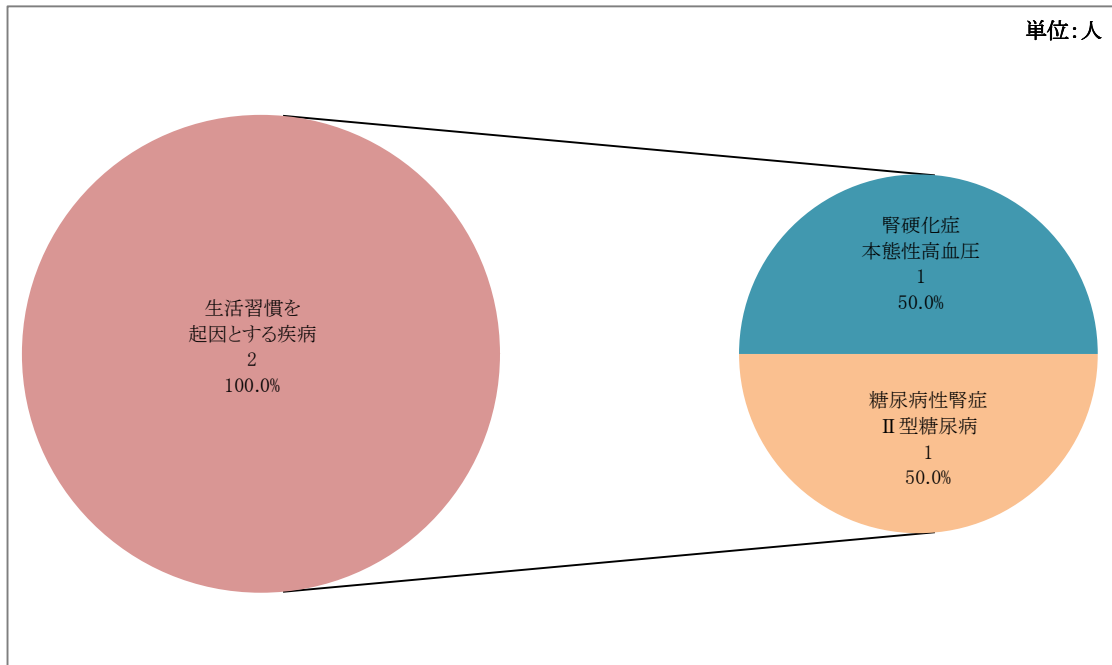
透析療法の種類	透析患者数 (人)
血液透析のみ	2
腹膜透析のみ	0
血液透析及び腹膜透析	0
透析患者合計	2

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「血液透析」もしくは「腹膜透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

透析患者の起因



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「血液透析」もしくは「腹膜透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

※割合…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

次に、令和3年4月～令和4年3月診療分のレセプトにおける人工透析患者と、令和4年4月～令和5年3月診療分のレセプトにおける人工透析患者を比較し、後者の期間の新規透析患者数を集計した。

令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)における新規透析患者数は1人である。

新規透析患者数

単位:人

透析に至った起因	A		B		Aにおいて透析患者ではなく Bにおいて透析患者となった人数 新規透析患者 ※1 ※2
	令和3年4月～令和4年3月 診療分(12カ月分)	割合 (%)	令和4年4月～令和5年3月 診療分(12カ月分)	割合 (%)	
① 糖尿病性腎症 I型糖尿病	0	0.0%	0	0.0%	0
② 糖尿病性腎症 II型糖尿病	0	0.0%	1	50.0%	1
③ 糸球体腎炎 IgA腎症	0	0.0%	0	0.0%	0
④ 糸球体腎炎 その他	0	0.0%	0	0.0%	0
⑤ 腎硬化症 本態性高血圧	1	100.0%	1	50.0%	0
⑥ 腎硬化症 その他	0	0.0%	0	0.0%	0
⑦ 痛風腎	0	0.0%	0	0.0%	0
⑧ 起因が特定できない患者 ※	0	0.0%	0	0.0%	0
透析患者合計	1		2		1

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和3年4月～令和5年3月診療分(24カ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「血液透析」もしくは「腹膜透析」の診療行為がある患者を対象に集計。

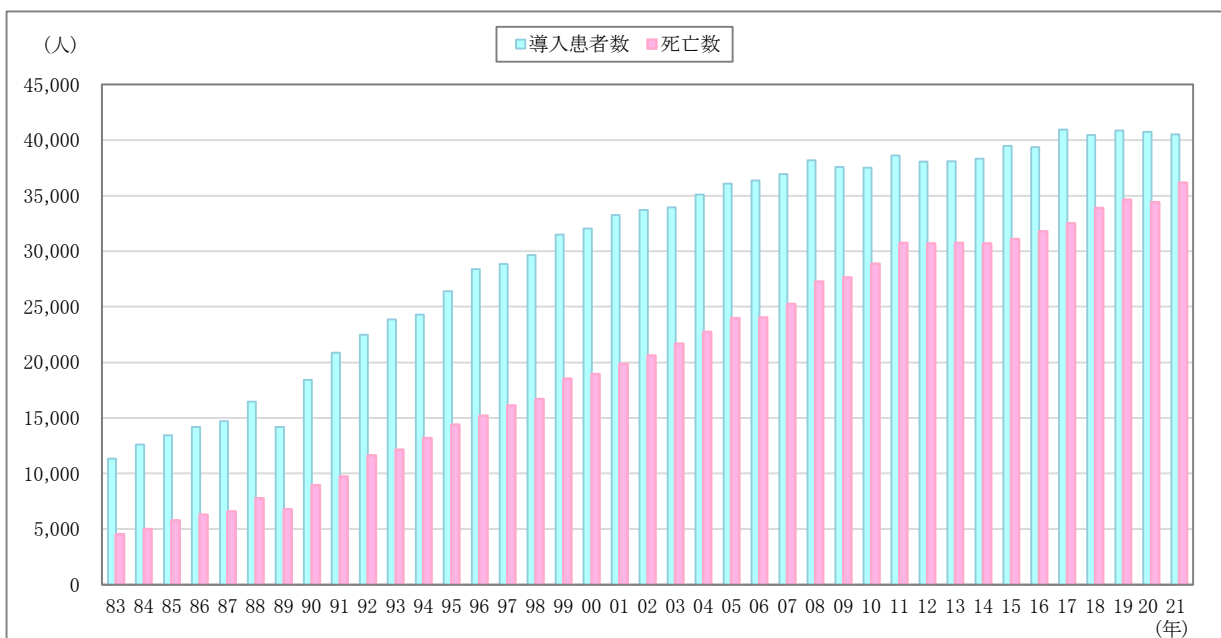
現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

※1 新規透析患者の定義…Aの期間に透析患者ではなく、Bの期間に透析患者となった患者。

※2 Aの期間とBの期間で起因となる傷病名が違う場合、該当の欄に集計される。そのため、B-Aは一致しない場合がある。

※⑧起因が特定できない患者…①～⑦の傷病名組み合わせに該当しない患者。

[参考資料] 日本の透析導入患者数と死亡数の推移



出典:一般社団法人 日本透析医学会「わが国の慢性透析療法の現況(2021年12月31日現在)」施設調査による集計
 ※1989年末の患者数の減少は、当該年度にアンケート回収率が86%と例外的に低かったことによる見掛け上の影響。

(2) 指導対象者集団の特定

「腎症の起因分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て分析し、適切な対象者集団を特定する。

腎症患者の全体像を以下に示す。

腎症患者の全体像

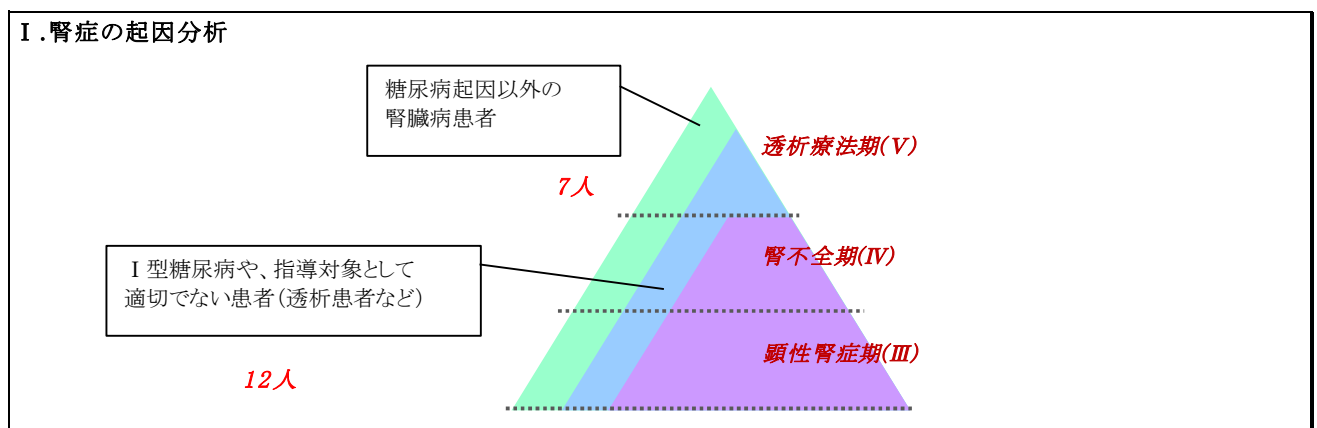
病期		臨床的特徴	治療内容
V	透析療法期	透析療法中。	透析療法、腎移植。
IV	腎不全期	蛋白尿。血清Crが上昇し、腎機能は著明低下する。尿毒症等の自覚症状あり。	食事療法(低蛋白食)、透析療法導入、厳格な降圧治療。
III	顕性腎症期	蛋白尿。腎機能は高度に低下。尿毒症等の自覚症状あり。	厳格な血糖コントロール、食事療法(低蛋白食)、厳格な降圧治療。
II	早期腎症期	微量アルブミン尿、血清Crが正常、時に高値。 ※尿蛋白、血清Cr共に正常だが糖尿病と診断されて10年以上の場合を含む。	血糖コントロール、降圧治療。
I	腎症前期	尿蛋白は正常。血清Crが正常、時に高値。	血糖コントロール。

Ⅲ期以降腎症患者	合計 31人
----------	--------

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和5年3月31日時点。

はじめに、「腎症の起因分析」を行う。緑色部分は糖尿病起因以外の腎臓病患者と考えられ、7人の患者が存在する。また、青色部分は糖尿病患者であるが、生活習慣を起因としていない糖尿病患者や、指導対象として適切でない患者(透析患者、腎臓移植した可能性がある患者、指導期間中に後期高齢者医療広域連合へ異動する可能性がある74歳以上の患者等)と考えられ、12人の患者が存在する。紫色部分は生活習慣起因の糖尿病または腎症と考えられる患者で、この患者層が保健指導対象者として適切となる。

腎症の起因分析

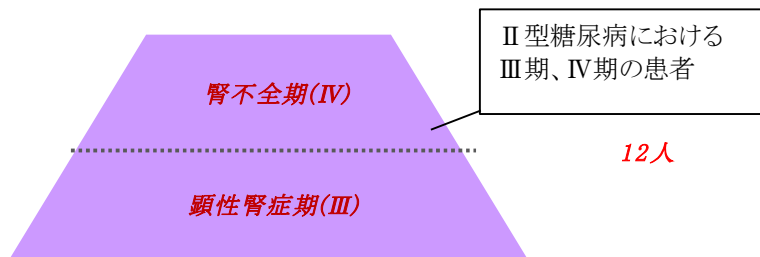


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和5年3月31日時点。

次に示すのは、「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」である。重症化予防を実施するに当たり適切な病期は、透析への移行に近い腎不全期、腎機能が急激に低下する顕性腎症期である。該当する病期の患者は合わせて12人となった。

Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者

Ⅱ.Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和5年3月31日時点。

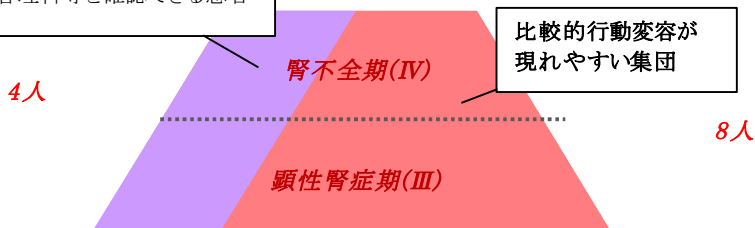
次に、個人毎の状態を見極め、「保健指導対象者の優先順位」について分析した。12人のうち「複雑なケースが含まれる集団」、つまり、がん、難病、精神疾患、認知症等が含まれる患者は、4人存在する。

一方、それらの疾病が確認できない「比較的行動変容が現れやすい集団」は、8人存在する。保健事業を行う上で、これら2つのグループには費用対効果に大きな違いがある。「比較的行動変容が現れやすい集団」が本事業の対象者である。

保健指導対象者の優先順位

Ⅲ.保健指導対象者の優先順位

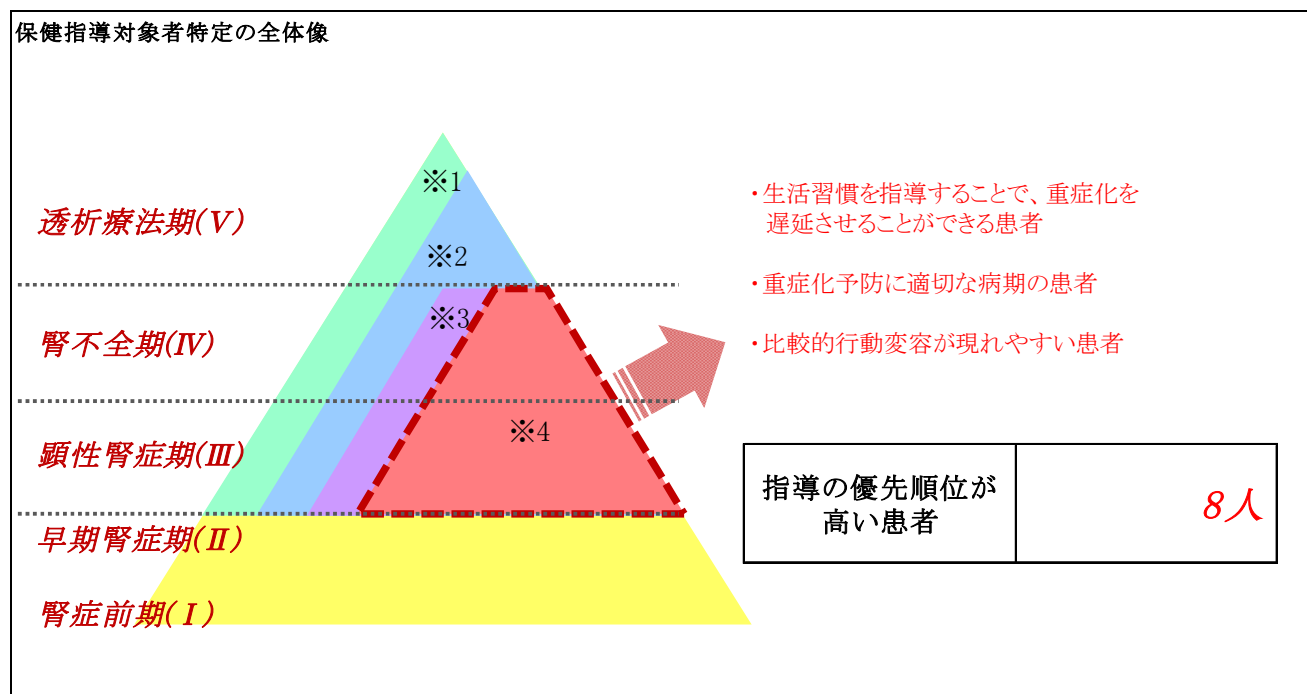
複雑なケースが含まれる集団
がん、難病、精神疾患、認知症、シヤント、
透析予防指導管理料等を確認できる患者



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和5年3月31日時点。

以上の分析のように「腎症の起因分析」「II型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て、適切な指導対象者は、8人となった。この分析の全体像を以下に示す。

保健指導対象者特定の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※1…糖尿病起因以外の腎臓病患者

※2…I型糖尿病や、指導対象として適切でない患者(透析患者等)

※3…複雑なケースが含まれる集団(がん、難病、精神疾患、認知症等を確認できる患者)

※4…比較的行動変容が現れやすい患者

3. 受診行動適正化指導対象者に係る分析

多受診(重複受診、頻回受診、重複服薬)は、不適切な受診行動も含まれているため、これらの患者を正しい受診行動に導く指導が必要である。指導対象者数の分析結果は以下のとおりである。

ひと月に同系の疾病を理由に複数の医療機関に受診している「重複受診者」や、ひと月に同一の医療機関に一定回数以上受診している「頻回受診者」、ひと月に同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、処方日数が一定以上の「重複服薬者」について令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)のレセプトデータを用いて分析した。

重複受診者数

	令和4年4月	令和4年5月	令和4年6月	令和4年7月	令和4年8月	令和4年9月	令和4年10月	令和4年11月	令和4年12月	令和5年1月	令和5年2月	令和5年3月
重複受診者数(人) ※	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0
											12カ月間の延べ人数	3人
											12カ月間の実人数	3人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※重複受診者数…1カ月間で同系の疾病を理由に3医療機関以上受診している患者を対象とする。透析中、治療行為を行っていないレセプトは対象外とする。

頻回受診者数

	令和4年4月	令和4年5月	令和4年6月	令和4年7月	令和4年8月	令和4年9月	令和4年10月	令和4年11月	令和4年12月	令和5年1月	令和5年2月	令和5年3月
頻回受診者数(人) ※	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
											12カ月間の延べ人数	3人
											12カ月間の実人数	1人

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※頻回受診者数…1カ月間で同一医療機関に12回以上受診している患者を対象とする。透析患者は対象外とする。

重複服薬者数

	令和4年4月	令和4年5月	令和4年6月	令和4年7月	令和4年8月	令和4年9月	令和4年10月	令和4年11月	令和4年12月	令和5年1月	令和5年2月	令和5年3月
重複服薬者数(人) ※	2	3	6	1	6	2	1	3	2	2	0	0
											12カ月間の延べ人数	28人
											12カ月間の実人数	15人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※重複服薬者数…1カ月間で同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者を対象とする。

分析結果より、12カ月間で重複受診者は3人、頻回受診者は1人、重複服薬者は15人存在する。機械的に多受診患者を特定した場合、問題になるのは、その患者の多くに「必要な医療」の可能性がある患者も含まれることである。機械的に多受診患者を特定するのではなく、十分な分析の上、指導対象者を特定する必要がある。ここでは、令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)のレセプトを対象に、「条件設定による指導対象者の特定」「除外設定」「優先順位」の3段階を経て分析した。

はじめに、「条件設定による指導対象者の特定」を行う。重複受診・頻回受診・重複服薬を併せ持つ患者がいるため前述の分析結果より患者数は減少する。


条件設定による指導対象者の特定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

I. 条件設定による指導対象者の特定	
<ul style="list-style-type: none"> ・重複受診患者 …1カ月間で同系の疾病を理由に3医療機関以上受診している患者 ・頻回受診患者 …1カ月間で同一医療機関に12回以上受診している患者 ・重複服薬者 …1カ月間で同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者 	
条件設定により候補者となった患者数	19人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和5年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。「がん患者」「精神疾患患者」「難病患者」「認知症患者」「人工透析患者」に関しては、必要な医療による受診の可能性がある。また、指導が困難な可能性も考えられる。以上の理由から、該当する患者について指導対象者から除外する。

除外設定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

II. 除外設定		
		除外理由別人数
除外	がん、精神疾患、難病、認知症 ※ 人工透析	13人
		
除外患者を除き、候補者となった患者数		6人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和5年3月31日時点。
※がん、精神疾患、難病、認知症…疑い病名を含む。

次に、残る対象者6人のうち、指導することでより効果が高く、より効率の良い対象者を特定する。これらは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。効果については、レセプト期間最終月から6カ月間遡ったレセプトのうち、5～6カ月重複受診・頻回受診・重複服薬に該当する患者を最優先する。効率については、指導のアポイントメントが取りやすい等の理由から60歳以上を最優先とし、次に、50歳～59歳を対象とした。以下のとおり、効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fは0人となった。

優先順位(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

Ⅲ. 優先順位				
↑高 効果 ↓低	最新6カ月レセプトのうち 5～6カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者	候補者A 0人	候補者C 0人	候補者 と し な い
	最新6カ月レセプトのうち 3～4カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者	候補者B 0人	候補者D 0人	
	最新6カ月レセプトのうち 2カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者 (ただし直近2カ月レセに該当)	候補者E 0人	候補者F 0人	
	その他の 重複・頻回・重複服薬患者			6人
		60歳以上	50～59歳	50歳未満
		←良 効率 悪→		
効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの患者数				0人

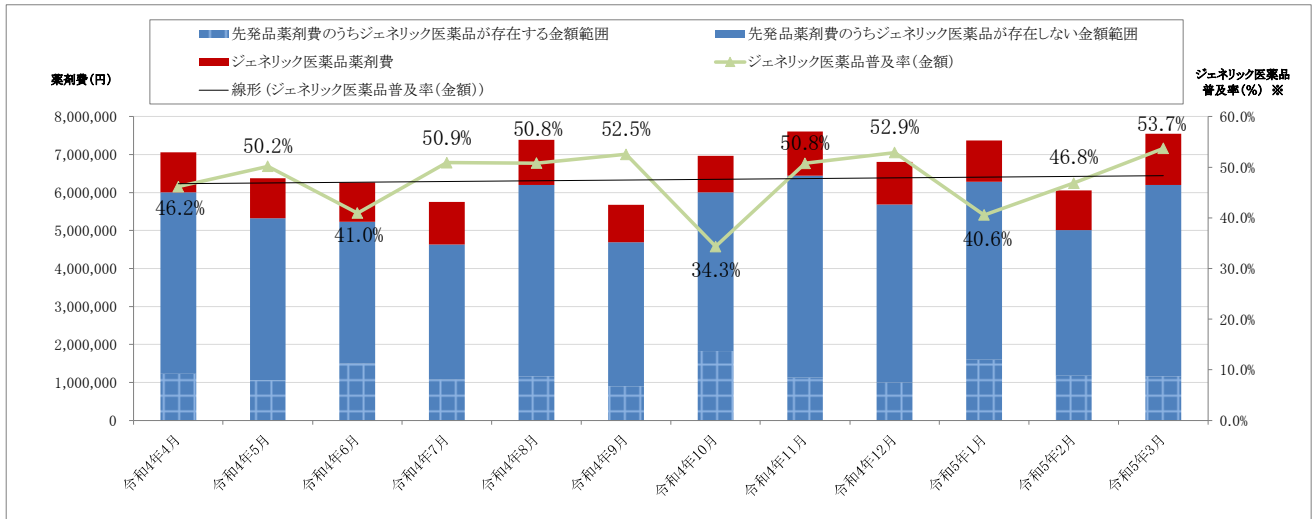
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和5年3月31日時点。

4. ジェネリック医薬品普及率に係る分析

先発医薬品からジェネリック医薬品への切り替えを患者に促し薬剤費の削減を図る。ジェネリック医薬品への切り替えは複数の疾病に対して行うことができるため、多くの患者に対してアプローチできる利点がある。

以下は、診療年月毎の状況について示したものである。令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)での平均ジェネリック医薬品普及率は、金額ベースでは47.1%、数量ベースでは82.5%である。

ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)

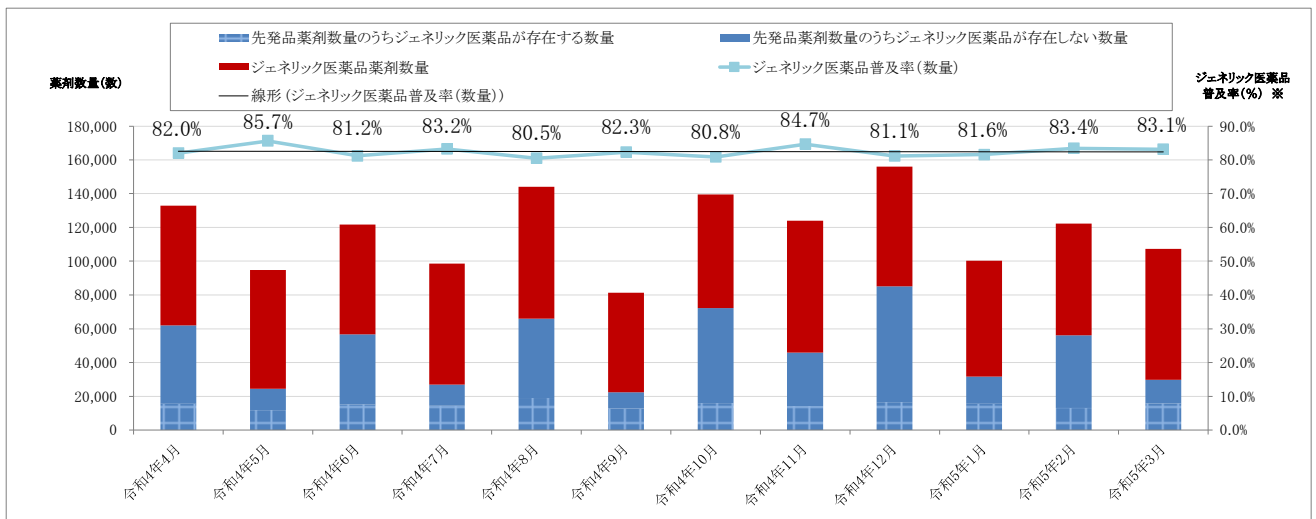


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



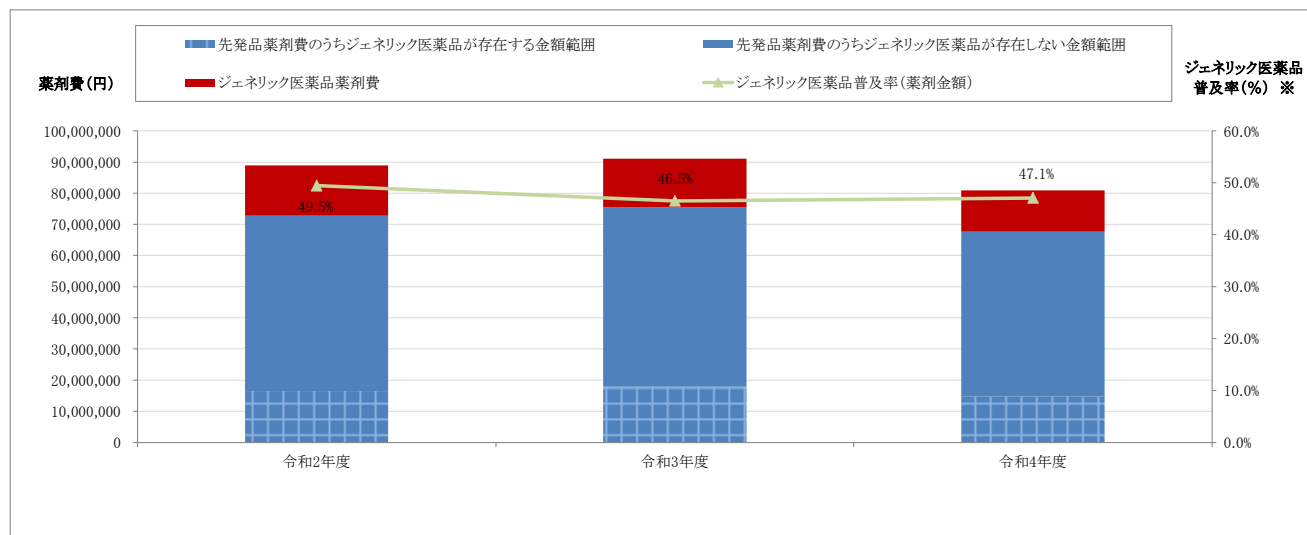
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

以下は、令和2年度から令和4年度における、ジェネリック医薬品普及率(金額ベース・数量ベース)を年度別に示したものである。令和4年度を令和2年度と比較すると、ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)47.1%は、令和2年度49.5%より2.4ポイント減少しており、ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)82.5%は、令和2年度83.0%より0.5ポイント減少している。

年度別 ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)

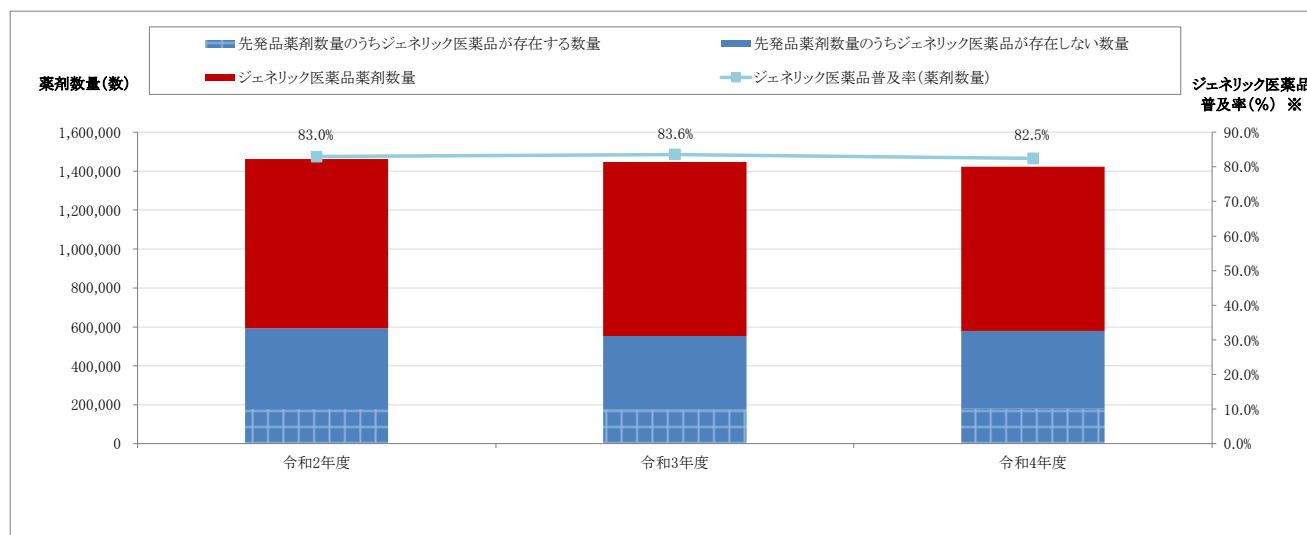


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和2年4月～令和5年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

年度別 ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



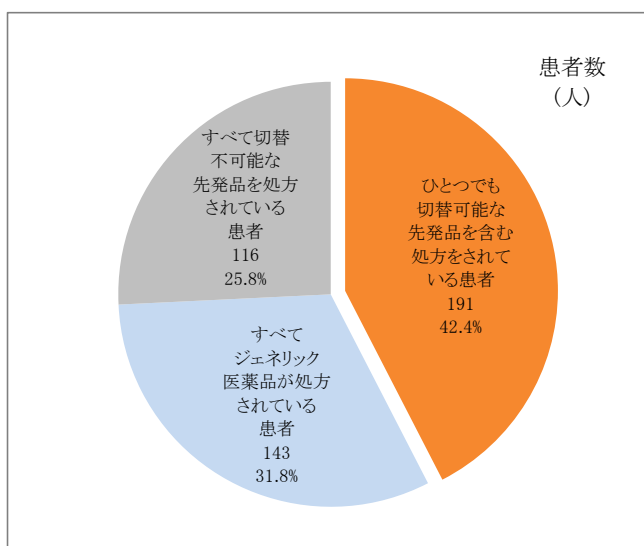
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和2年4月～令和5年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

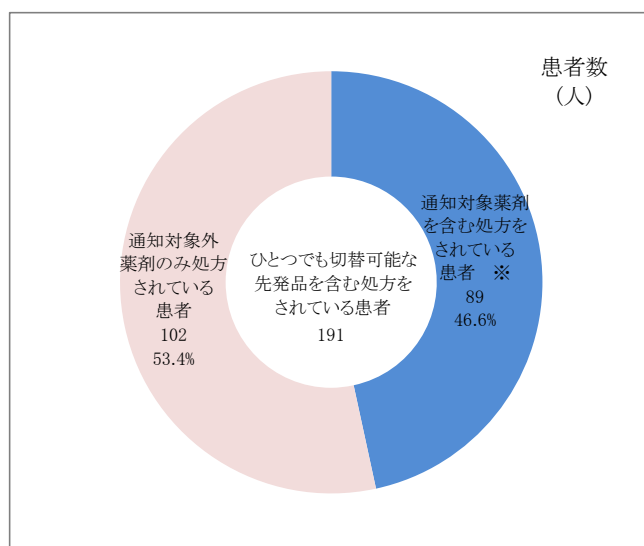
※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

以下は、令和5年3月診療分のレセプトデータから、薬剤処方状況別の患者数を示したものである。患者数は450人(入院レセプトのみの患者は除く)で、このうちひとつでもジェネリック医薬品に切り替え可能な先発品を含む処方をされている患者は191人で患者数全体の42.4%を占める。さらにこのうち株式会社データホライゾン基準の通知対象薬剤のみに絞り込むと、89人がジェネリック医薬品切り替え可能な薬剤を含む処方をされている患者となり、ひとつでもジェネリック医薬品に切り替え可能な先発品を含む処方をされている患者の46.6%を占める。

ジェネリック医薬品への切り替え
ポテンシャル(患者数ベース)



「ひとつでも切替可能な先発品を含む
処方をされている患者」の内訳



データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和5年3月診療分(1カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※通知対象薬剤を含む処方をされている患者…株式会社データホライゾン通知対象薬剤基準による(ジェネリック医薬品が存在しても、入院、処置に使用した医薬品及び、がん・精神疾患・短期処方のみは含まない)。

※構成比…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

5. 薬剤併用禁忌に係る分析

薬剤の相互作用は、効果の増強または減弱、副作用などを生じさせ、時に患者に重大な影響を与える可能性がある。通常、薬剤師がお薬手帳等で薬剤の相互作用等を確認するが、患者がお薬手帳を持たず、さらに処方箋発行医療機関と処方する調剤薬局も異なる場合、既に処方された薬と新たに処方される薬とで併用禁忌の状態になる可能性がある。

令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)において、薬剤併用禁忌が発生した延べ人数は27人、実人数は11人である。

薬剤併用禁忌対象者数

	令和4年4月	令和4年5月	令和4年6月	令和4年7月	令和4年8月	令和4年9月	令和4年10月	令和4年11月	令和4年12月	令和5年1月	令和5年2月	令和5年3月
薬剤併用禁忌対象者数(人)※	2	2	3	2	3	1	2	1	1	4	4	2
12カ月間の延べ人数											27人	
12カ月間の実人数											11人	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※薬剤併用禁忌対象者…1カ月間に併用禁忌とされる薬剤を処方された人を対象とする。

以下は、主な併用禁忌の組み合わせを示したものである。

実人数(人)	11
件数合計(件)	49

薬剤併用禁忌 医薬品リスト

No.	(X) 剤型名	(X) 医薬品 コード	(X) 医薬品名	(Y) 剤型名	(Y) 医薬品 コード	(Y) 医薬品名	件数
1	内服	622624501	アジレクト錠0.5mg	内服	620003481	ジェイゾフト錠25mg	20
2	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	内服	622661701	トアラセット配合錠「杏林」	13
3	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	内服	622650101	トアラセット配合錠「DSEP」	4
4	内服	620067312	アセトアミノフェン「JG」原末	内服	621634201	アセトアミノフェンDS40%「三和」	2
5	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	620067312	アセトアミノフェン「JG」原末	2
6	内服	622633001	フレカイニド酢酸塩錠50mg「ファイザー」	内服	622093301	ベタニス錠50mg	2
7	内服	620067312	アセトアミノフェン「JG」原末	内服	620002022	カロナール細粒20%	1
8	内服	622556901	アセトアミノフェン錠300mg「マルイシ」	内服	620161401	ビーエイ配合錠	1
9	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	622661701	トアラセット配合錠「杏林」	1
10	内服	622658501	トアラセット配合錠「日新」	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	1
11	内服	622658501	トアラセット配合錠「日新」	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	1
12	内服	622794701	ラズーダ錠20mg	内服	620007077	フロリードゲル経口用2%	1

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

6. 長期多剤服薬者に係る分析

医薬品の多剤服薬は、薬の飲み忘れ、飲み間違い等の服薬過誤や、副作用等の薬物有害事象発生につながりやすい。薬物有害事象の発生リスクは6種類以上の服薬で特に高まるとされており、高齢者に起こりやすい副作用にはふらつき・転倒、物忘れ、うつ、せん妄、食欲低下、便秘、排尿障害等がある。複数疾病を有する高齢者においては特に注意が必要である。

本分析では、服薬状況を把握し適切な服薬を促すことを目的に、対象となる患者の特定を行う。複数医療機関から内服薬が長期(14日以上)処方されている対象者のうち、基準月(令和5年3月)に6種類以上の内服薬を服用している長期多剤服薬者は63人である。

薬剤種類数別長期服薬者数

年齢階層	対象者数(人)									
	～ 39歳	40歳～ 44歳	45歳～ 49歳	50歳～ 54歳	55歳～ 59歳	60歳～ 64歳	65歳～ 69歳	70歳～	合計	
被保険者数(人)	446	79	57	71	88	125	162	170	1,198	
薬剤種類数	2種類	2	0	2	0	2	1	1	0	8
	3種類	4	0	1	1	1	3	1	4	15
	4種類	1	0	0	0	2	1	3	3	10
	5種類	2	1	0	3	1	2	4	5	18
	6種類	0	0	0	0	3	3	6	3	15
	7種類	0	1	0	0	2	4	2	2	11
	8種類	0	0	0	0	0	1	3	2	6
	9種類	0	0	0	0	0	0	3	3	6
	10種類	1	0	0	1	0	1	1	3	7
	11種類	0	0	0	0	0	2	0	5	7
	12種類	0	0	0	0	1	0	2	0	3
	13種類	1	0	0	0	1	0	2	1	5
	14種類	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	15種類	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	16種類	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	17種類	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	18種類	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	19種類	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20種類	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	21種類以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	11	2	3	6	13	18	29	32	114



長期多剤服薬者数(人)※	63
--------------	----

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年12月～令和5年3月診療分(4カ月分)。

一時的に服用した医薬品を除くため、処方日数が14日以上(長期処方)の医薬品を対象としている。複数医療機関から処方された内服薬のうち、基準月(分析期間最終月)に服用している長期処方薬の種類数を集計する。基準月の服用状況については、基準月に処方された薬剤と基準月以前に処方された長期処方薬を調剤日と処方日数から判定している。

※長期多剤服薬者数…複数医療機関から内服薬が長期(14日以上)処方されており、その長期処方の内服薬が6種類以上の人数。

参考資料: 日本老年医学会「高齢者の安全な薬物療法ガイドライン2015」

また、長期多剤服薬者63人が被保険者全体に占める割合は5.3%、長期服薬者全体に占める割合は55.3%である。

長期多剤服薬者の状況

		～ 39歳	40歳～ 44歳	45歳～ 49歳	50歳～ 54歳	55歳～ 59歳	60歳～ 64歳	65歳～ 69歳	70歳～	合計
A	被保険者数(人)	446	79	57	71	88	125	162	170	1,198
B	長期服薬者数(人)※	11	2	3	6	13	18	29	32	114
C	長期多剤服薬者数(人)※	2	1	0	2	7	11	20	20	63
C/A	被保険者数に占める 長期多剤服薬者割合(%)	0.4%	1.3%	0.0%	2.8%	8.0%	8.8%	12.3%	11.8%	5.3%
C/B	長期服薬者数に占める 長期多剤服薬者割合(%)	18.2%	50.0%	0.0%	33.3%	53.8%	61.1%	69.0%	62.5%	55.3%

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和4年12月～令和5年3月診療分(4カ月分)。

一時的に服用した医薬品を除くため、処方日数が14日以上(14日未満)の医薬品を対象としている。複数医療機関から処方された内服薬のうち、基準月(分析期間最終月)に服用している長期処方薬の種類数を集計する。基準月の服用状況については、基準月に処方された薬剤と基準月以前に処方された長期処方薬を調剤日と処方日数から判定している。

※長期服薬者数…複数医療機関から内服薬が長期(14日以上)処方されている人数。

※長期多剤服薬者数…複数医療機関から内服薬が長期(14日以上)処方されており、その長期処方内服薬が6種類以上の人数。

参考資料 「医療費等統計」と「保健事業に係る分析」の分析結果まとめ

■単年分析

【基礎統計】

医療費	247,043,910円
-----	--------------

【高額(5万点以上)レセプト分析】

高額レセプト件数	60件
高額レセプト件数割合	0.4%
高額レセプト医療費割合	22.4%

【大分類による疾病別医療費統計】

医療費が高額な疾病		医療費	構成比
1位	新生物<腫瘍>	46,349,848円	18.8%
2位	内分泌, 栄養及び代謝疾患	28,802,783円	11.7%
3位	筋骨格系及び結合組織の疾患	22,477,414円	9.1%

患者数が多い疾病		患者数
1位	内分泌, 栄養及び代謝疾患	504人
2位	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	499人
3位	呼吸器系の疾患	481人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	新生物<腫瘍>	173,595円
2位	周産期に発生した病態	119,312円
3位	妊娠, 分娩及び産じょく	107,417円

【中分類による疾病別医療費統計】

医療費が高額な疾病		医療費	構成比
1位	その他の悪性新生物<腫瘍>	32,687,066円	13.3%
2位	糖尿病	16,292,632円	6.6%
3位	その他の消化器系の疾患	9,979,050円	4.1%

患者数が多い疾病		患者数
1位	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	499人
2位	その他の特殊目的用コード	361人
3位	糖尿病	349人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	乳房の悪性新生物<腫瘍>	538,853円
2位	その他の悪性新生物<腫瘍>	317,350円
3位	腎不全	262,180円

【生活習慣病医療費の状況】

生活習慣病医療費	45,161,904円
----------	-------------

【特定健康診査結果分析】

メタボリックシンドローム該当状況		該当割合
基準該当		18.4%
予備群該当		8.6%

有所見者割合が高い検査項目		有所見者割合
1位	HbA1c	76.5%
2位	LDLコレステロール	52.8%
3位	空腹時血糖	38.2%

【健診異常値放置者の状況】

健診異常値放置者	75人
----------	-----

【生活習慣病治療中断者の状況】

生活習慣病治療中断者	4人
------------	----

【人工透析患者の状況】

人工透析患者	2人
(Ⅱ型糖尿病起因患者)	1人

【医療機関受診状況】

重複受診者	3人
頻回受診者	1人
重複服薬者	15人

※令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)期間中の実人数

【ジェネリック医薬品普及率 数量ベース】

ジェネリック医薬品普及率	85.2%
--------------	-------

【薬剤併用禁忌の発生状況】

薬剤併用禁忌対象者	11人
-----------	-----

【服薬状況】

長期多剤服薬者	63人
---------	-----

【骨折医療費及び骨粗鬆症患者の状況】

	男女合計	男性	女性
骨折医療費	993,688円	152,277円	841,411円
骨折患者数	46人	22人	24人
患者一人当たりの骨折医療費	21,602円	6,922円	35,059円

	男女合計	男性	女性
骨粗鬆症患者数	81人	12人	69人
骨粗鬆症治療薬服用中患者数	68人	10人	58人
骨粗鬆症治療中断患者数	1人	0人	1人
治療薬服用中患者に占める 治療中断患者割合	1.5%	0.0%	1.7%

【要介護認定状況】

	男女合計	男性	女性
要介護認定者の割合	0.9%	0.7%	1.0%

■ 年度分析

【基礎統計】

年度	医療費
令和2年度	306,582,670円
令和3年度	299,970,080円
令和4年度	247,043,910円

【高額(5万点以上)レセプト分析】

年度	高額レセプト件数	高額レセプト件数割合	高額レセプト医療費割合
令和2年度	113件	0.8%	36.8%
令和3年度	90件	0.6%	35.9%
令和4年度	60件	0.4%	22.4%

【大分類による疾病別医療費統計】

医療費が高額な疾病			医療費	構成比
令和2年度	1位	新生物<腫瘍>	57,187,711円	18.7%
	2位	筋骨格系及び結合組織の疾患	40,363,250円	13.2%
	3位	循環器系の疾患	30,712,470円	10.0%
令和3年度	1位	新生物<腫瘍>	62,013,272円	20.7%
	2位	循環器系の疾患	32,068,188円	10.7%
	3位	内分泌、栄養及び代謝疾患	30,411,036円	10.1%
令和4年度	1位	新生物<腫瘍>	46,349,848円	18.8%
	2位	内分泌、栄養及び代謝疾患	28,802,783円	11.7%
	3位	筋骨格系及び結合組織の疾患	22,477,414円	9.1%

【中分類による疾病別医療費統計】

医療費が高額な疾病			医療費	構成比
令和2年度	1位	その他の悪性新生物<腫瘍>	25,561,356円	8.3%
	2位	糖尿病	17,183,889円	5.6%
	3位	その他の神経系の疾患	14,675,308円	4.8%
令和3年度	1位	その他の悪性新生物<腫瘍>	28,824,127円	9.6%
	2位	糖尿病	17,563,389円	5.9%
	3位	その他の損傷及びその他の外因の影響	12,428,058円	4.1%
令和4年度	1位	その他の悪性新生物<腫瘍>	32,687,066円	13.3%
	2位	糖尿病	16,292,632円	6.6%
	3位	その他の消化器系の疾患	9,979,050円	4.1%

【生活習慣病医療費の状況】

年度	生活習慣病医療費
令和2年度	51,524,896円
令和3年度	51,663,920円
令和4年度	45,161,904円

【ジェネリック医薬品普及率 数量ベース】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
ジェネリック医薬品普及率	83.0%	83.6%	82.5%

【要介護認定状況】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
要介護認定者数	9人	8人	7人

【特定健康診査結果分析】

有所見者割合が高い検査項目			有所見者割合
令和2年度	1位	HbA1c	68.5%
	2位	LDLコレステロール	60.6%
	3位	BMI	37.3%
令和3年度	1位	HbA1c	69.2%
	2位	LDLコレステロール	57.8%
	3位	BMI	36.5%
令和4年度	1位	HbA1c	76.5%
	2位	LDLコレステロール	52.8%
	3位	空腹時血糖	38.2%

メタボリックシンドローム該当状況		
年度	基準該当割合	予備群該当割合
令和2年度	18.8%	10.8%
令和3年度	20.7%	8.4%
令和4年度	18.4%	8.6%

参考資料 年度別 特定健康診査結果等分析

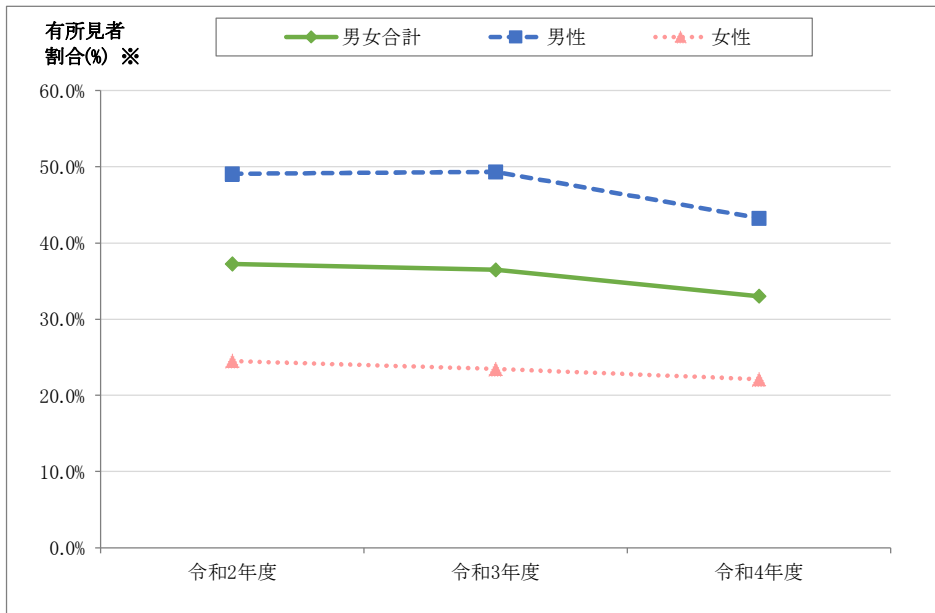
1. 有所見者割合

令和2年度から令和4年度の特定健康診査受診者における有所見者割合を年度別に示す。

年度別 有所見者割合 (BMI)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
男女合計	対象者数(人) ※	416	455	430
	有所見者数(人) ※	155	166	142
	有所見者割合(%) ※	37.3%	36.5%	33.0%
男性	対象者数(人) ※	216	229	222
	有所見者数(人) ※	106	113	96
	有所見者割合(%) ※	49.1%	49.3%	43.2%
女性	対象者数(人) ※	200	226	208
	有所見者数(人) ※	49	53	46
	有所見者割合(%) ※	24.5%	23.5%	22.1%

年度別 有所見者割合 (BMI)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

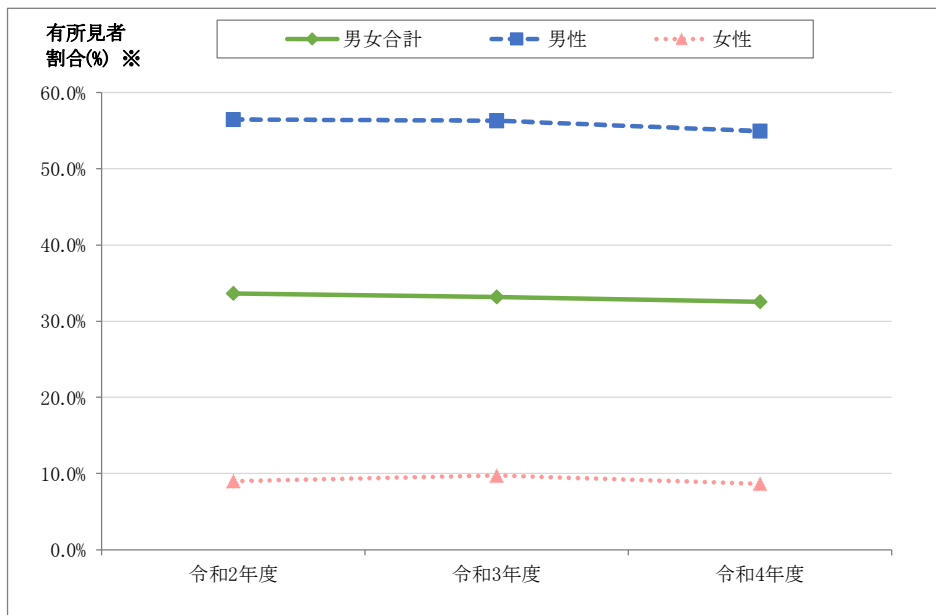
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。保健指導判定値により有所見を判定する。

BMI:25以上

年度別 有所見者割合(腹囲)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
男女合計	対象者数(人) ※	416	455	430
	有所見者数(人) ※	140	151	140
	有所見者割合(%) ※	33.7%	33.2%	32.6%
男性	対象者数(人) ※	216	229	222
	有所見者数(人) ※	122	129	122
	有所見者割合(%) ※	56.5%	56.3%	55.0%
女性	対象者数(人) ※	200	226	208
	有所見者数(人) ※	18	22	18
	有所見者割合(%) ※	9.0%	9.7%	8.7%

年度別 有所見者割合(腹囲)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

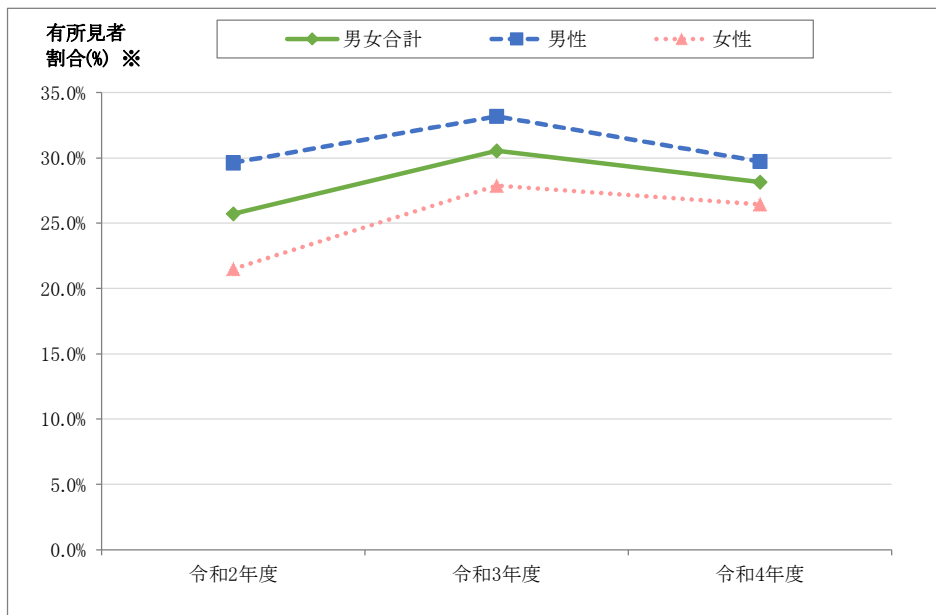
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上

年度別 有所見者割合(収縮期血圧)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
男女合計	対象者数(人) ※	416	455	430
	有所見者数(人) ※	107	139	121
	有所見者割合(%) ※	25.7%	30.5%	28.1%
男性	対象者数(人) ※	216	229	222
	有所見者数(人) ※	64	76	66
	有所見者割合(%) ※	29.6%	33.2%	29.7%
女性	対象者数(人) ※	200	226	208
	有所見者数(人) ※	43	63	55
	有所見者割合(%) ※	21.5%	27.9%	26.4%

年度別 有所見者割合(収縮期血圧)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

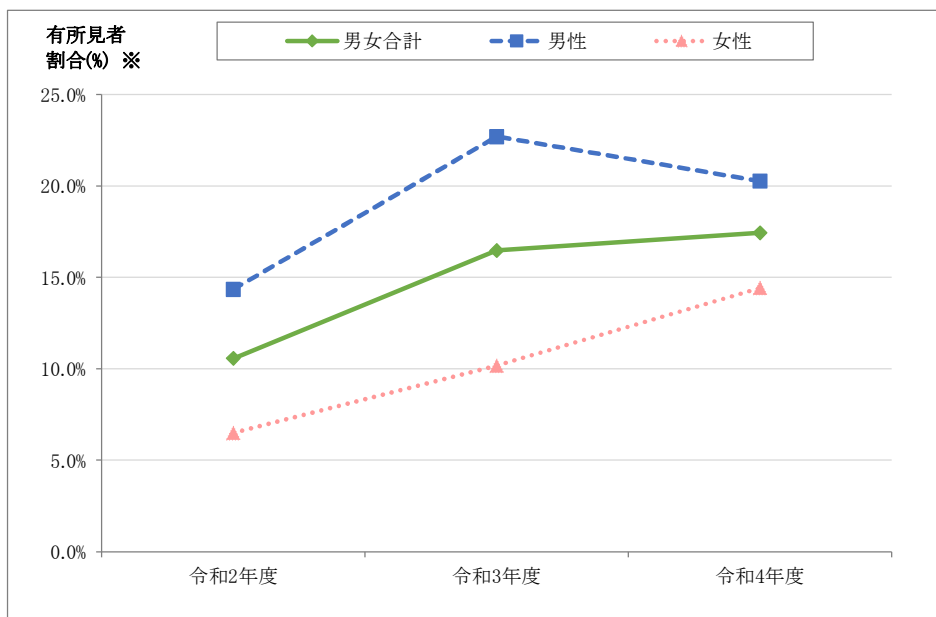
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

収縮期血圧:130mmHg以上

年度別 有所見者割合(拡張期血圧)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
男女合計	対象者数(人) ※	416	455	430
	有所見者数(人) ※	44	75	75
	有所見者割合(%) ※	10.6%	16.5%	17.4%
男性	対象者数(人) ※	216	229	222
	有所見者数(人) ※	31	52	45
	有所見者割合(%) ※	14.4%	22.7%	20.3%
女性	対象者数(人) ※	200	226	208
	有所見者数(人) ※	13	23	30
	有所見者割合(%) ※	6.5%	10.2%	14.4%

年度別 有所見者割合(拡張期血圧)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

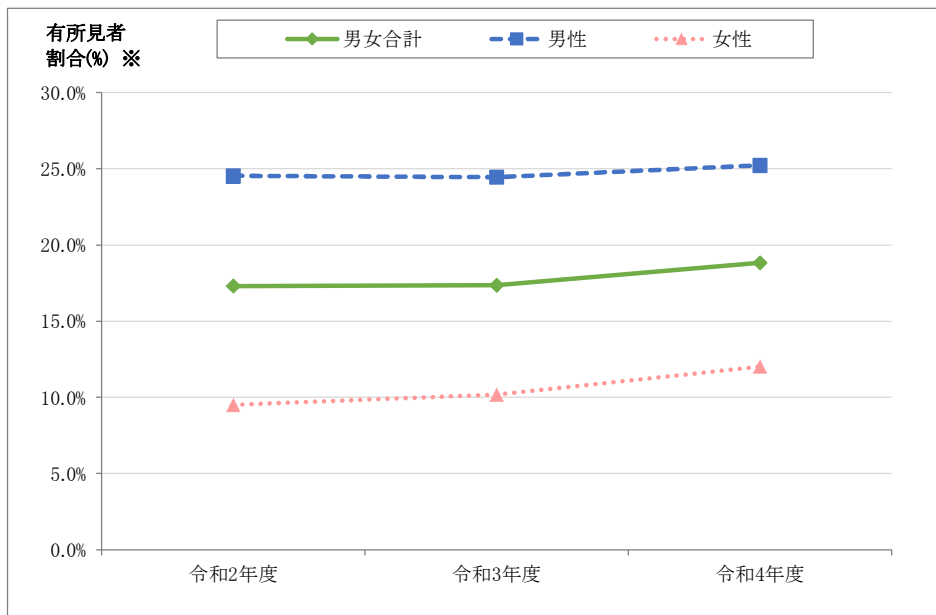
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

拡張期血圧:85mmHg以上

年度別 有所見者割合(中性脂肪)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
男女合計	対象者数(人) ※	416	455	430
	有所見者数(人) ※	72	79	81
	有所見者割合(%) ※	17.3%	17.4%	18.8%
男性	対象者数(人) ※	216	229	222
	有所見者数(人) ※	53	56	56
	有所見者割合(%) ※	24.5%	24.5%	25.2%
女性	対象者数(人) ※	200	226	208
	有所見者数(人) ※	19	23	25
	有所見者割合(%) ※	9.5%	10.2%	12.0%

年度別 有所見者割合(中性脂肪)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

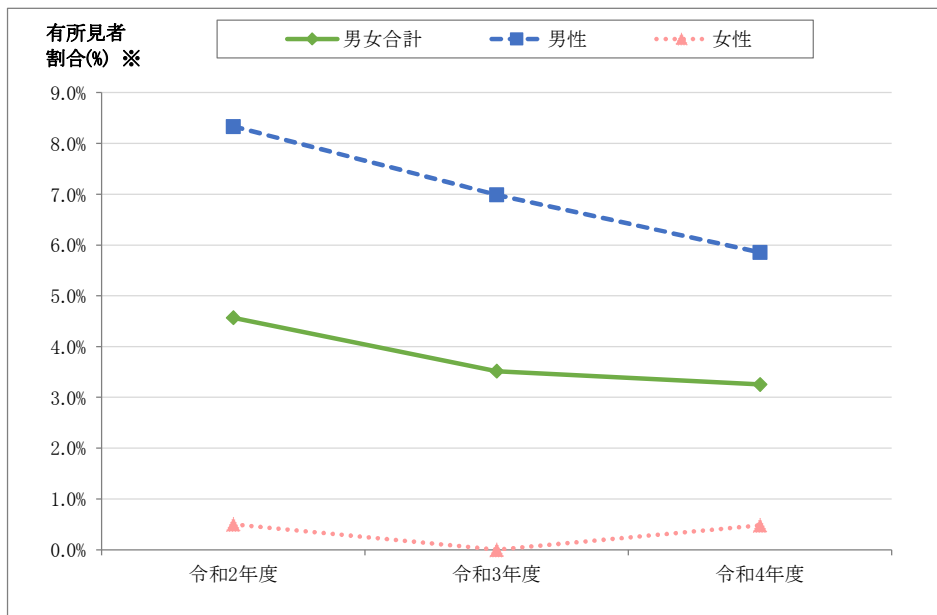
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

中性脂肪:150mg/dl以上

年度別 有所見者割合(HDLコレステロール)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
男女合計	対象者数(人) ※	416	455	430
	有所見者数(人) ※	19	16	14
	有所見者割合(%) ※	4.6%	3.5%	3.3%
男性	対象者数(人) ※	216	229	222
	有所見者数(人) ※	18	16	13
	有所見者割合(%) ※	8.3%	7.0%	5.9%
女性	対象者数(人) ※	200	226	208
	有所見者数(人) ※	1	0	1
	有所見者割合(%) ※	0.5%	0.0%	0.5%

年度別 有所見者割合(HDLコレステロール)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

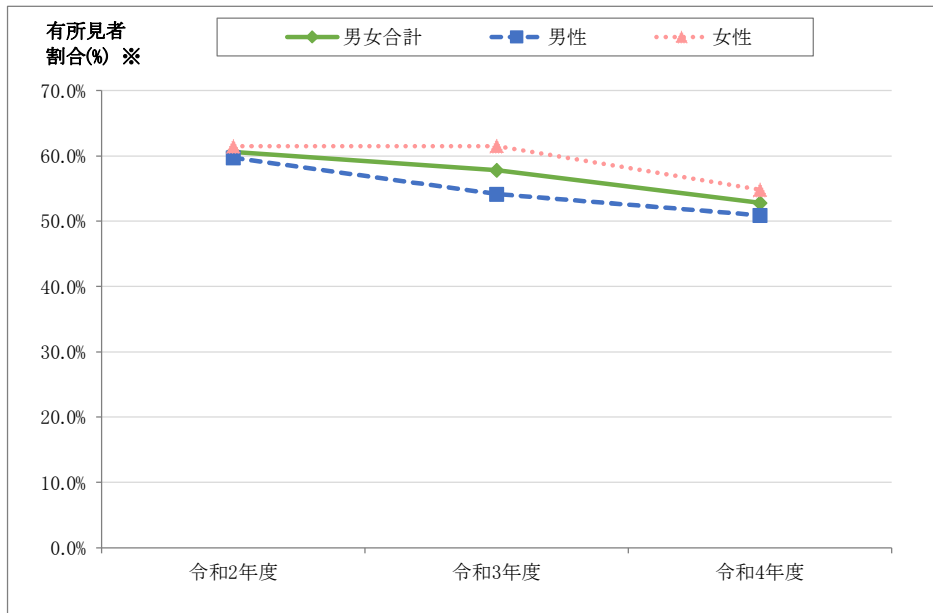
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

HDLコレステロール:39mg/dl以下

年度別 有所見者割合 (LDLコレステロール)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
男女合計	対象者数(人) ※	416	455	430
	有所見者数(人) ※	252	263	227
	有所見者割合(%) ※	60.6%	57.8%	52.8%
男性	対象者数(人) ※	216	229	222
	有所見者数(人) ※	129	124	113
	有所見者割合(%) ※	59.7%	54.1%	50.9%
女性	対象者数(人) ※	200	226	208
	有所見者数(人) ※	123	139	114
	有所見者割合(%) ※	61.5%	61.5%	54.8%

年度別 有所見者割合 (LDLコレステロール)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

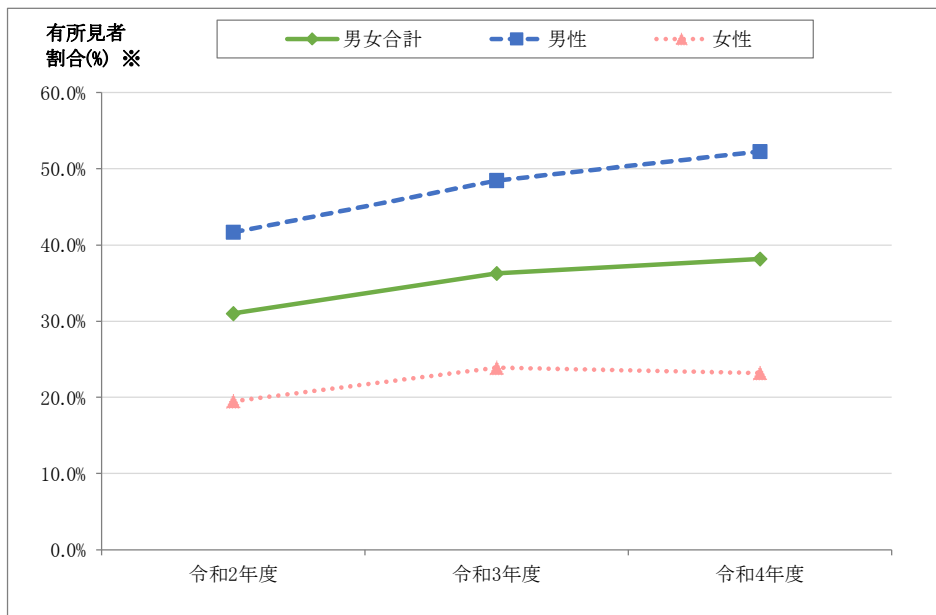
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

LDLコレステロール:120mg/dl以上

年度別 有所見者割合(空腹時血糖)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
男女合計	対象者数(人) ※	416	455	427
	有所見者数(人) ※	129	165	163
	有所見者割合(%) ※	31.0%	36.3%	38.2%
男性	対象者数(人) ※	216	229	220
	有所見者数(人) ※	90	111	115
	有所見者割合(%) ※	41.7%	48.5%	52.3%
女性	対象者数(人) ※	200	226	207
	有所見者数(人) ※	39	54	48
	有所見者割合(%) ※	19.5%	23.9%	23.2%

年度別 有所見者割合(空腹時血糖)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

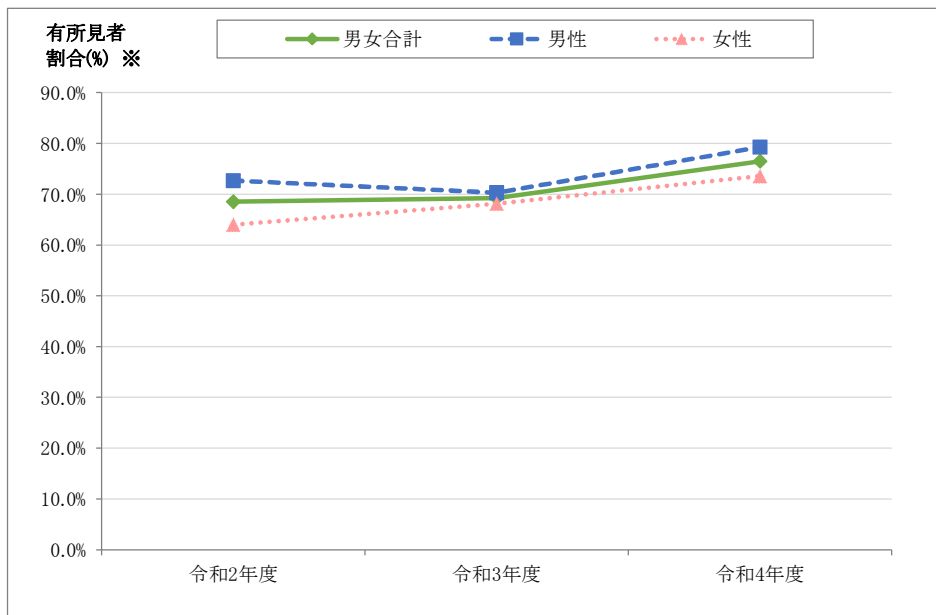
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

空腹時血糖値:100mg/dl以上

年度別 有所見者割合 (HbA1c (NGSP))

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
男女合計	対象者数(人) ※	416	455	430
	有所見者数(人) ※	285	315	329
	有所見者割合(%) ※	68.5%	69.2%	76.5%
男性	対象者数(人) ※	216	229	222
	有所見者数(人) ※	157	161	176
	有所見者割合(%) ※	72.7%	70.3%	79.3%
女性	対象者数(人) ※	200	226	208
	有所見者数(人) ※	128	154	153
	有所見者割合(%) ※	64.0%	68.1%	73.6%

年度別 有所見者割合 (HbA1c (NGSP))



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

HbA1c (NGSP) : 5.6%以上

2. 質問別回答状況

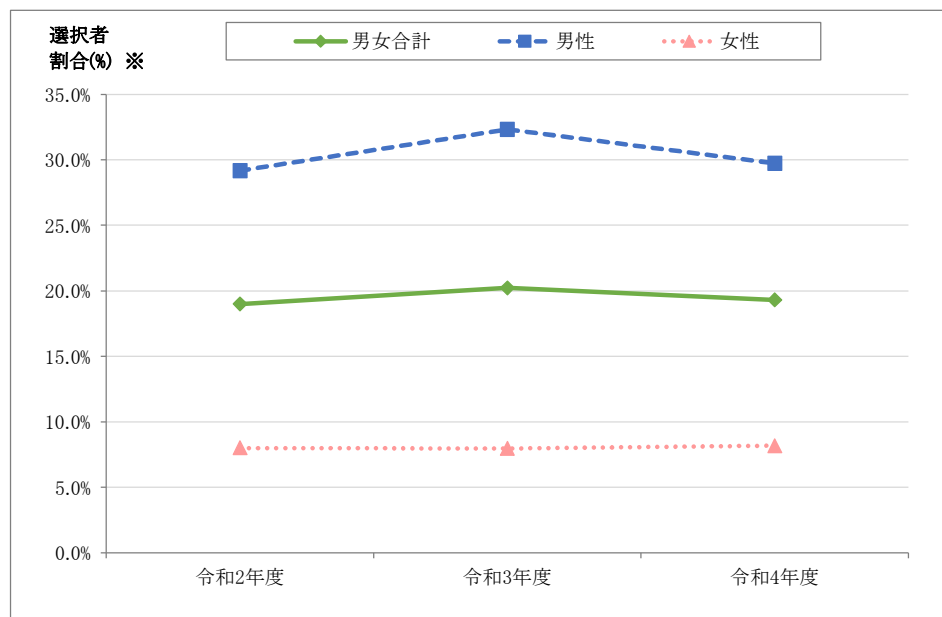
令和2年度から令和4年度の特定健康診査の質問票における喫煙・運動・口腔機能・食習慣・飲酒・生活習慣の改善に関する集計結果を年度別に示す。

(1) 喫煙

年度別「喫煙あり」の回答状況

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	416	455	430
	選択者数(人) ※	79	92	83
	選択者割合(%) ※	19.0%	20.2%	19.3%
男性	質問回答者数(人) ※	216	229	222
	選択者数(人) ※	63	74	66
	選択者割合(%) ※	29.2%	32.3%	29.7%
女性	質問回答者数(人) ※	200	226	208
	選択者数(人) ※	16	18	17
	選択者割合(%) ※	8.0%	8.0%	8.2%

年度別「喫煙あり」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

「現在、たばこを習慣的に吸っていますか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数 …質問に対し「はい」を選択した人数。

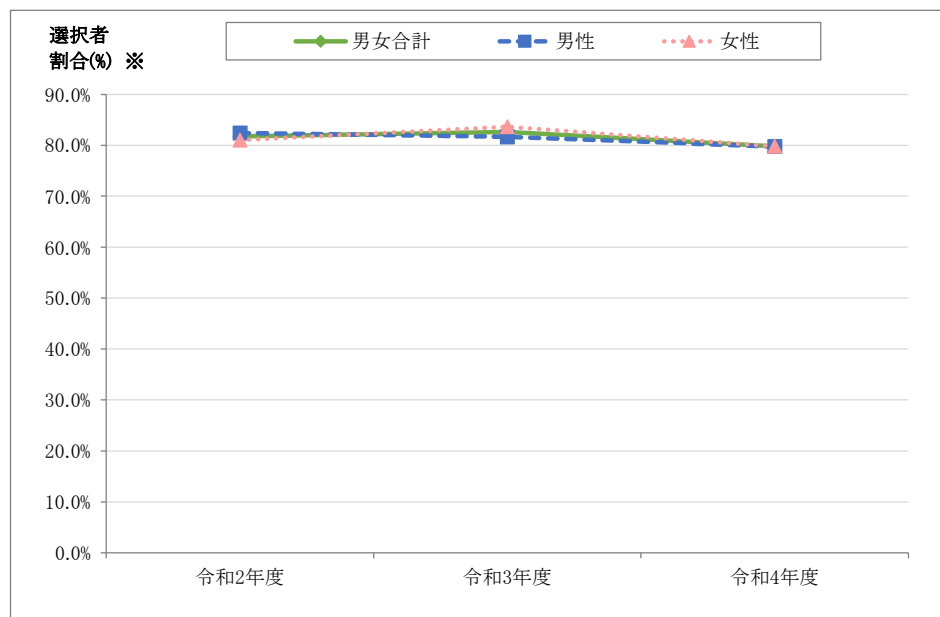
※選択者割合 …質問回答者のうち、「はい」を選択した人の割合。

(2) 運動

年度別「1回30分以上の運動習慣なし」の回答状況

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	416	455	430
	選択者数(人) ※	340	376	343
	選択者割合(%) ※	81.7%	82.6%	79.8%
男性	質問回答者数(人) ※	216	229	222
	選択者数(人) ※	178	187	177
	選択者割合(%) ※	82.4%	81.7%	79.7%
女性	質問回答者数(人) ※	200	226	208
	選択者数(人) ※	162	189	166
	選択者割合(%) ※	81.0%	83.6%	79.8%

年度別「1回30分以上の運動習慣なし」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施していますか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

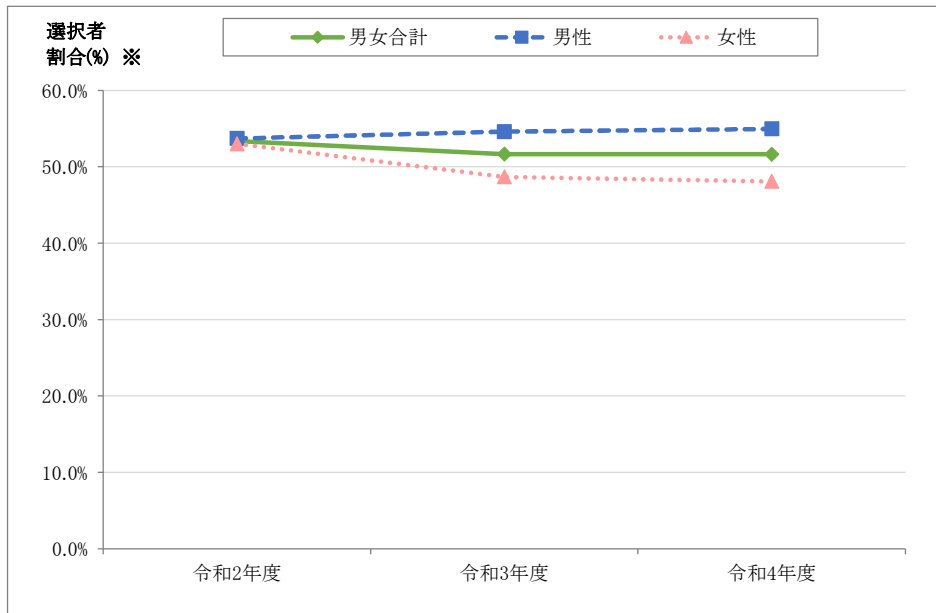
※選択者数 …質問に対し「いいえ」を選択した人数。

※選択者割合 …質問回答者のうち、「いいえ」を選択した人の割合。

年度別「1日1時間以上の身体活動なし」の回答状況

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	416	455	430
	選択者数(人) ※	222	235	222
	選択者割合(%) ※	53.4%	51.6%	51.6%
男性	質問回答者数(人) ※	216	229	222
	選択者数(人) ※	116	125	122
	選択者割合(%) ※	53.7%	54.6%	55.0%
女性	質問回答者数(人) ※	200	226	208
	選択者数(人) ※	106	110	100
	選択者割合(%) ※	53.0%	48.7%	48.1%

年度別「1日1時間以上の身体活動なし」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施していますか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数 …質問に対し「いいえ」を選択した人数。

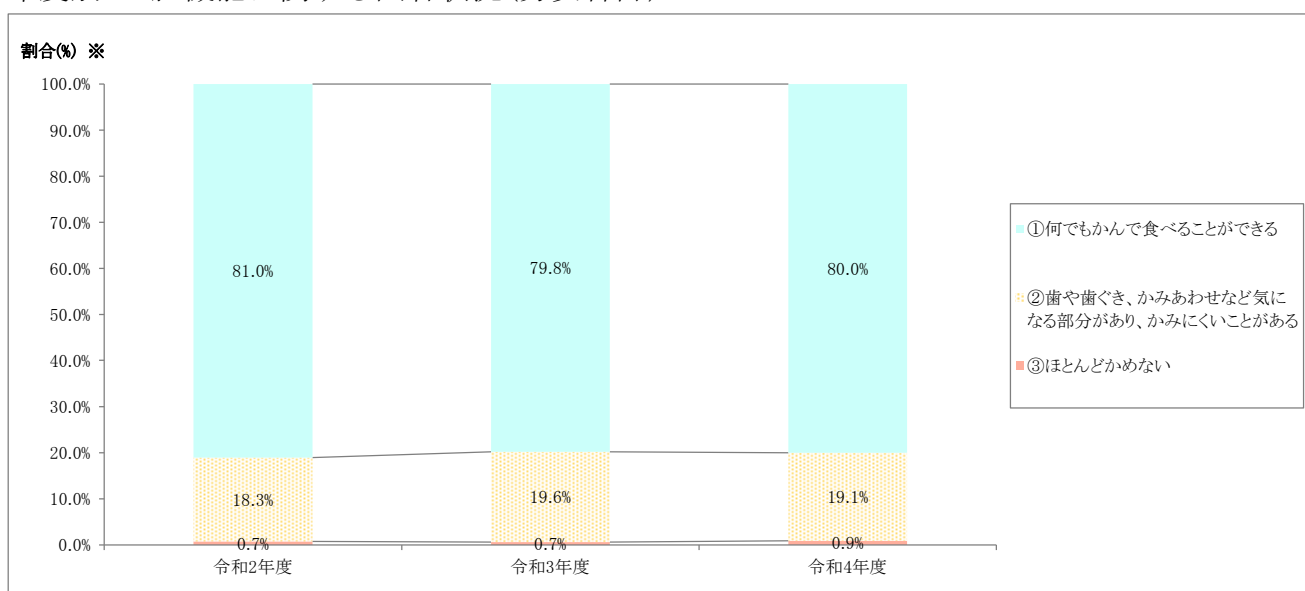
※選択者割合 …質問回答者のうち、「いいえ」を選択した人の割合。

(3) 口腔機能

年度別 口腔機能に関する回答状況(男女合計)

年度	質問回答者数(人) ※	①何でもかんで食べることができる		②歯や歯ぐき、かみあわせなど気になる部分があり、かみにくいことがある		③ほとんどかめない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
令和2年度	416	337	81.0%	76	18.3%	3	0.7%
令和3年度	455	363	79.8%	89	19.6%	3	0.7%
令和4年度	430	344	80.0%	82	19.1%	4	0.9%

年度別 口腔機能に関する回答状況(男女合計)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

「食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

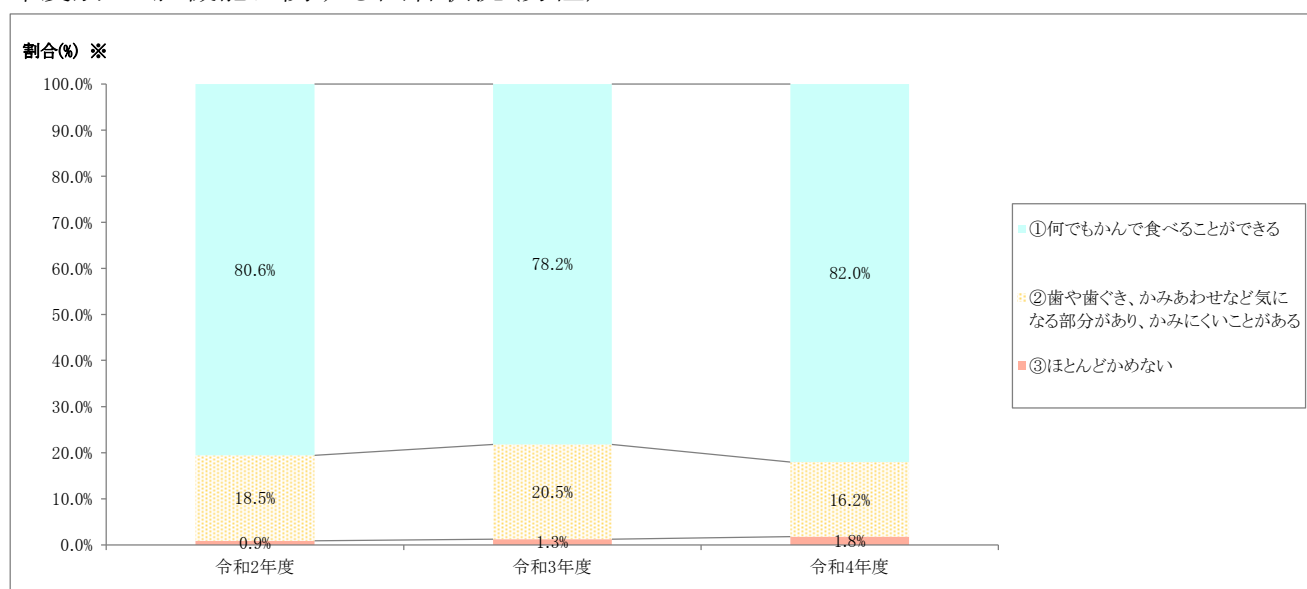
※選択者数 …質問に対し各選択肢を選択した人数。

※割合 …質問回答者のうち、各選択肢を選択した人の割合。

年度別 口腔機能に関する回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	①何でもかんで食べることができる		②歯や歯ぐき、かみあわせなど気になる部分があり、かみにくいことがある		③ほとんどかめない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
令和2年度	216	174	80.6%	40	18.5%	2	0.9%
令和3年度	229	179	78.2%	47	20.5%	3	1.3%
令和4年度	222	182	82.0%	36	16.2%	4	1.8%

年度別 口腔機能に関する回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

「食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

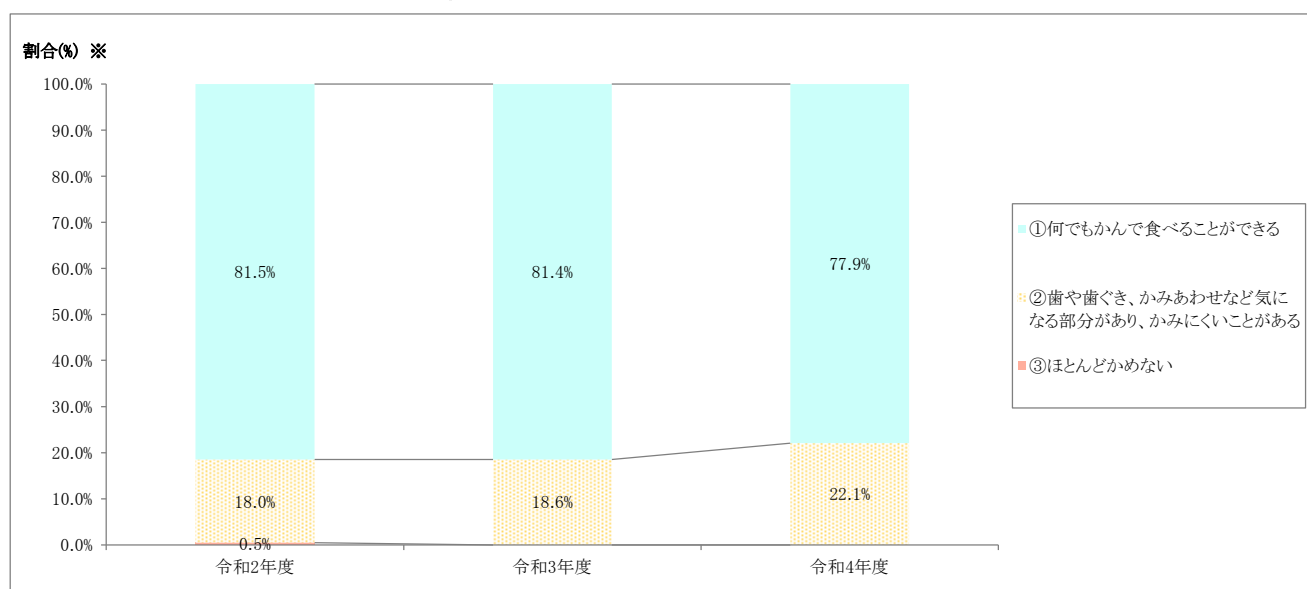
※選択者数 …質問に対し各選択肢を選択した人数。

※割合 …質問回答者のうち、各選択肢を選択した人の割合。

年度別 口腔機能に関する回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	①何でもかんで食べることができる		②歯や歯ぐき、かみあわせなど気になる部分があり、かみにくいことがある		③ほとんどかめない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
令和2年度	200	163	81.5%	36	18.0%	1	0.5%
令和3年度	226	184	81.4%	42	18.6%	0	0.0%
令和4年度	208	162	77.9%	46	22.1%	0	0.0%

年度別 口腔機能に関する回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

「食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数 …質問に対し各選択肢を選択した人数。

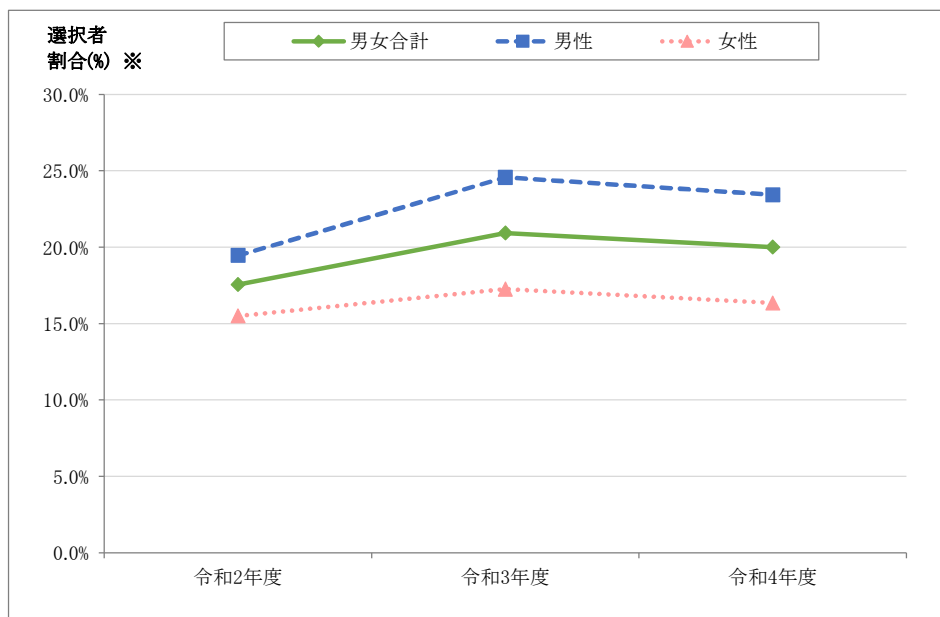
※割合 …質問回答者のうち、各選択肢を選択した人の割合。

(4) 食習慣

年度別「週3回以上就寝前に夕食」の回答状況

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	416	454	430
	選択者数(人) ※	73	95	86
	選択者割合(%) ※	17.5%	20.9%	20.0%
男性	質問回答者数(人) ※	216	228	222
	選択者数(人) ※	42	56	52
	選択者割合(%) ※	19.4%	24.6%	23.4%
女性	質問回答者数(人) ※	200	226	208
	選択者数(人) ※	31	39	34
	選択者割合(%) ※	15.5%	17.3%	16.3%

年度別「週3回以上就寝前に夕食」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ありますか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

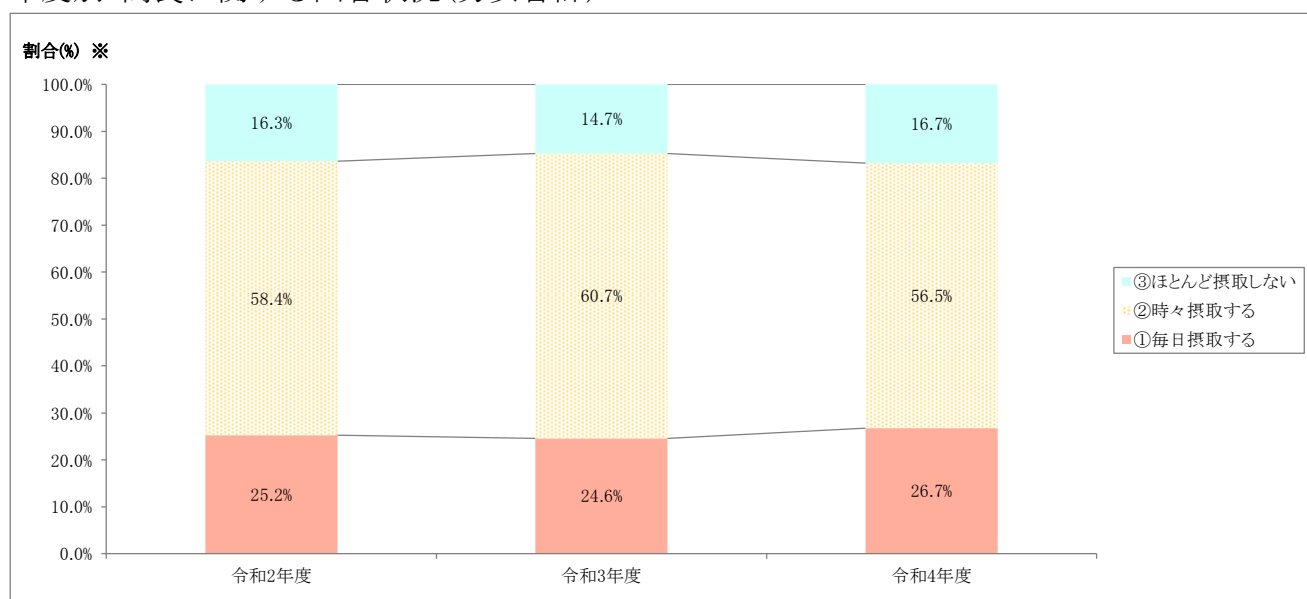
※選択者数 …質問に対し「はい」を選択した人数。

※選択者割合 …質問回答者のうち、「はい」を選択した人の割合。

年度別 間食に関する回答状況(男女合計)

年度	質問回答者数(人) ※	①毎日摂取する		②時々摂取する		③ほとんど摂取しない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
令和2年度	416	105	25.2%	243	58.4%	68	16.3%
令和3年度	455	112	24.6%	276	60.7%	67	14.7%
令和4年度	430	115	26.7%	243	56.5%	72	16.7%

年度別 間食に関する回答状況(男女合計)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

「朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

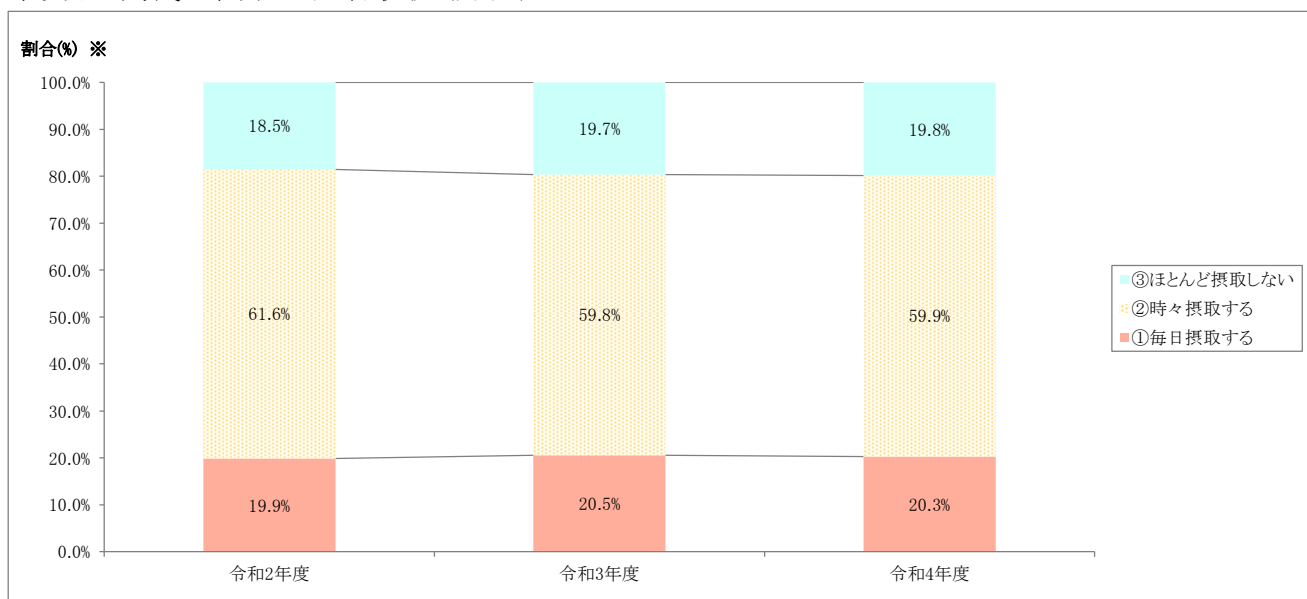
※選択者数…質問に対し各選択肢を選択した人数。

※割合…質問回答者のうち、各選択肢を選択した人の割合。

年度別 間食に関する回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	①毎日摂取する		②時々摂取する		③ほとんど摂取しない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
令和2年度	216	43	19.9%	133	61.6%	40	18.5%
令和3年度	229	47	20.5%	137	59.8%	45	19.7%
令和4年度	222	45	20.3%	133	59.9%	44	19.8%

年度別 間食に関する回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

「朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

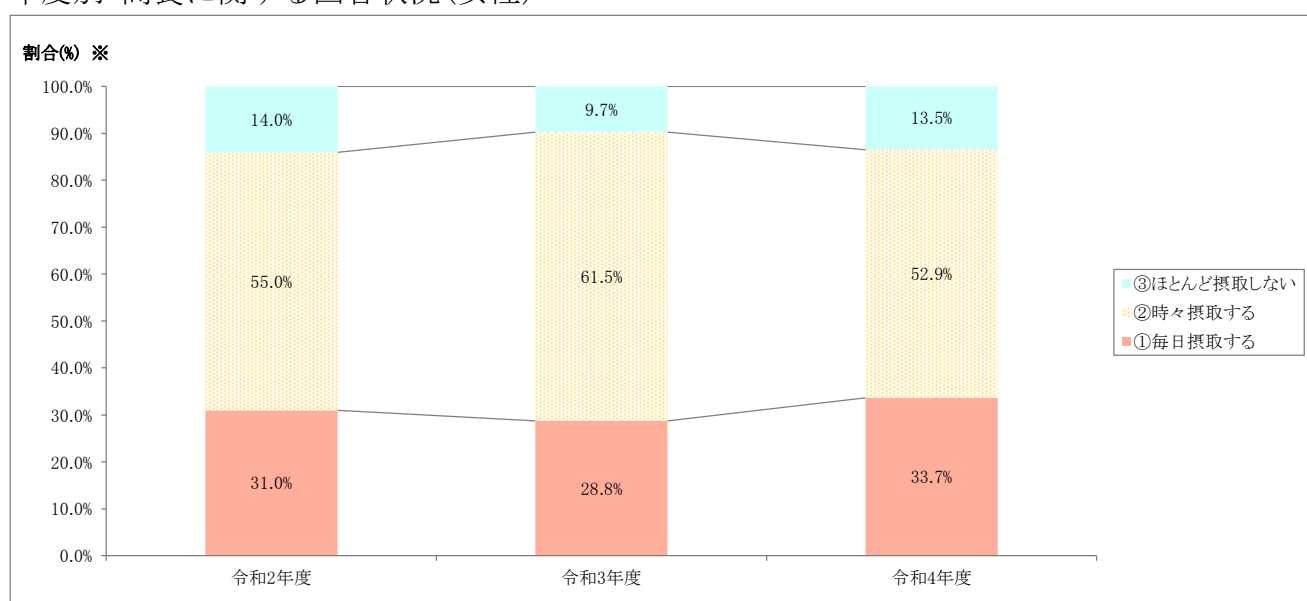
※選択者数…質問に対し各選択肢を選択した人数。

※割合…質問回答者のうち、各選択肢を選択した人の割合。

年度別 間食に関する回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	①毎日摂取する		②時々摂取する		③ほとんど摂取しない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
令和2年度	200	62	31.0%	110	55.0%	28	14.0%
令和3年度	226	65	28.8%	139	61.5%	22	9.7%
令和4年度	208	70	33.7%	110	52.9%	28	13.5%

年度別 間食に関する回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

「朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数…質問に対し各選択肢を選択した人数。

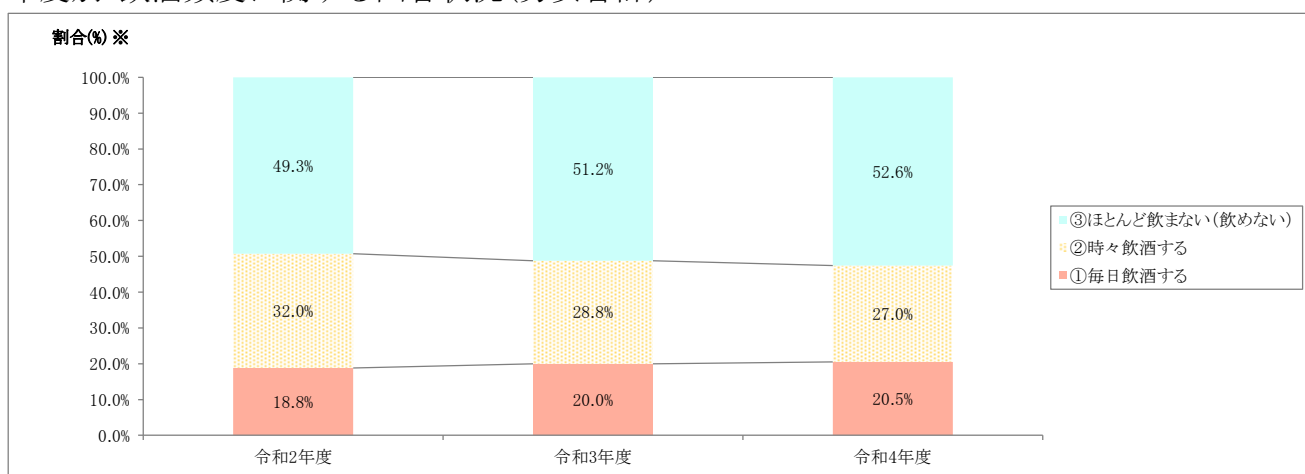
※割合…質問回答者のうち、各選択肢を選択した人の割合。

(5) 飲酒

年度別 飲酒頻度に関する回答状況(男女合計)

年度	質問回答者数(人) ※	①毎日飲酒する		②時々飲酒する		③ほとんど飲まない(飲めない)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
令和2年度	416	78	18.8%	133	32.0%	205	49.3%
令和3年度	455	91	20.0%	131	28.8%	233	51.2%
令和4年度	430	88	20.5%	116	27.0%	226	52.6%

年度別 飲酒頻度に関する回答状況(男女合計)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

「お酒(日本酒、焼酎、ビール、洋酒など)を飲む頻度はどのくらいですか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

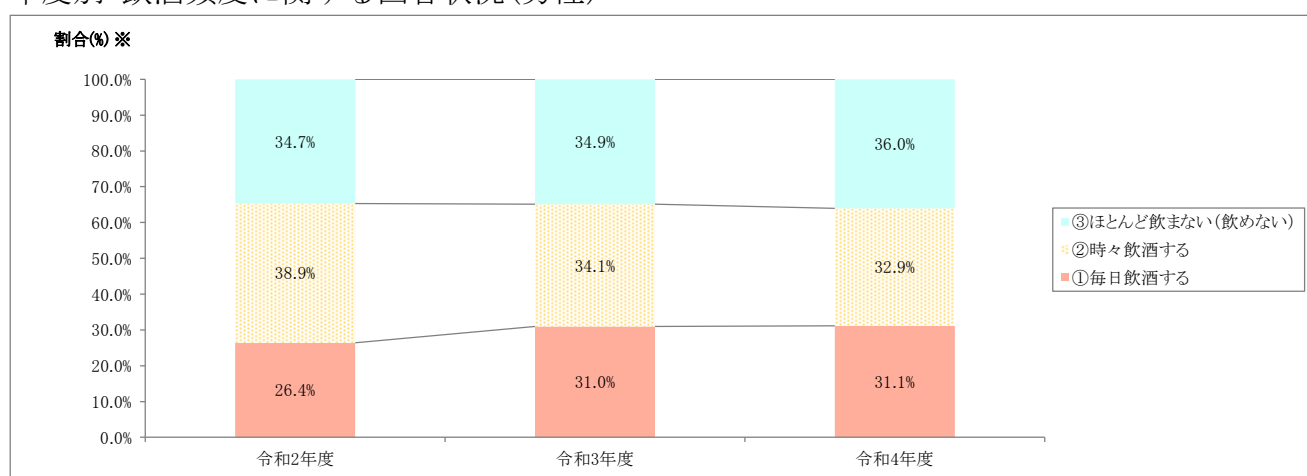
※選択者数…質問に対し各選択肢を選択した人数。

※割合…質問回答者のうち、各選択肢を選択した人の割合。

年度別 飲酒頻度に関する回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	①毎日飲酒する		②時々飲酒する		③ほとんど飲まない(飲めない)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
令和2年度	216	57	26.4%	84	38.9%	75	34.7%
令和3年度	229	71	31.0%	78	34.1%	80	34.9%
令和4年度	222	69	31.1%	73	32.9%	80	36.0%

年度別 飲酒頻度に関する回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

「お酒(日本酒、焼酎、ビール、洋酒など)を飲む頻度はどのくらいですか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

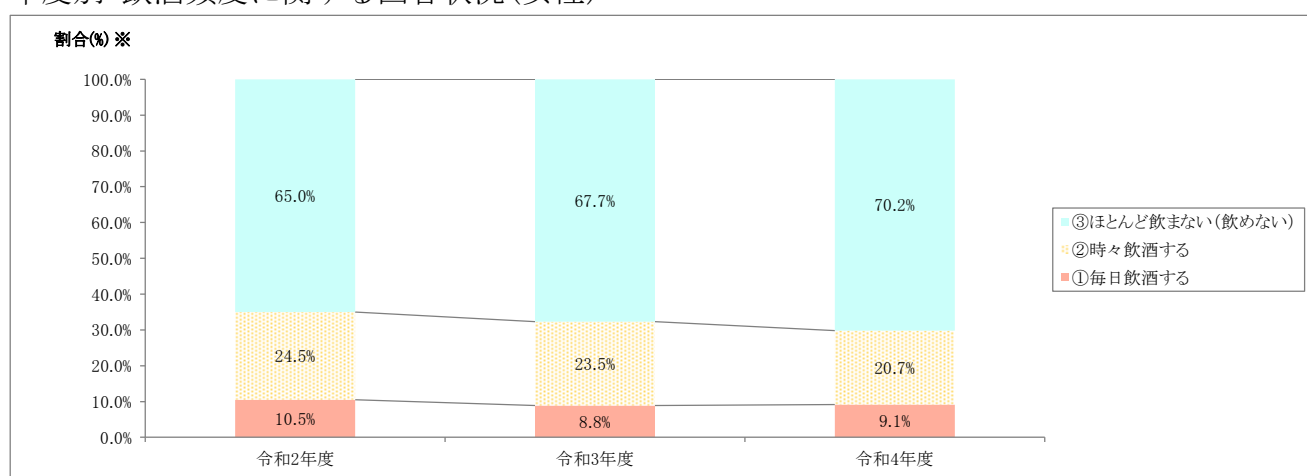
※選択者数…質問に対し各選択肢を選択した人数。

※割合…質問回答者のうち、各選択肢を選択した人の割合。

年度別 飲酒頻度に関する回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	①毎日飲酒する		②時々飲酒する		③ほとんど飲まない(飲めない)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
令和2年度	200	21	10.5%	49	24.5%	130	65.0%
令和3年度	226	20	8.8%	53	23.5%	153	67.7%
令和4年度	208	19	9.1%	43	20.7%	146	70.2%

年度別 飲酒頻度に関する回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

「お酒(日本酒、焼酎、ビール、洋酒など)を飲む頻度はどのくらいですか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数…質問に対し各選択肢を選択した人数。

※割合…質問回答者のうち、各選択肢を選択した人の割合。

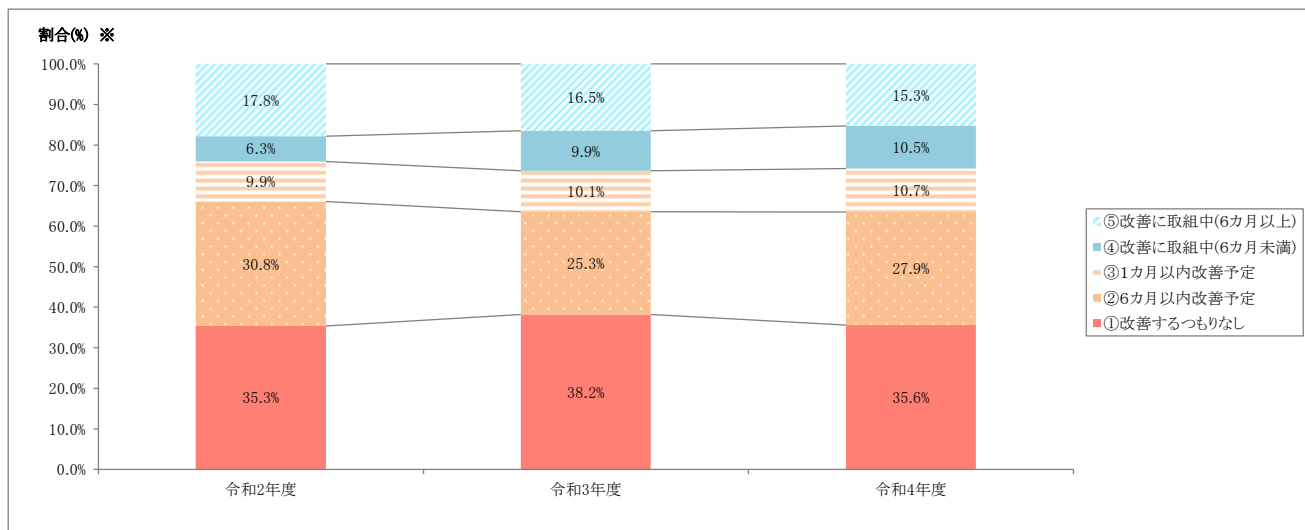
(6) 生活習慣の改善

年度別 生活習慣の改善の意思に関する回答状況(男女合計)

年度	質問回答者数(人) ※	①改善するつもりなし		②6カ月以内改善予定		③1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
令和2年度	416	147	35.3%	128	30.8%	41	9.9%
令和3年度	455	174	38.2%	115	25.3%	46	10.1%
令和4年度	430	153	35.6%	120	27.9%	46	10.7%

年度	質問回答者数(人) ※	④改善に取り組中(6カ月未満)		⑤改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
令和2年度	416	26	6.3%	74	17.8%
令和3年度	455	45	9.9%	75	16.5%
令和4年度	430	45	10.5%	66	15.3%

年度別 生活習慣の改善の意思に関する回答状況(男女合計)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数…質問に対し各選択肢を選択した人数。

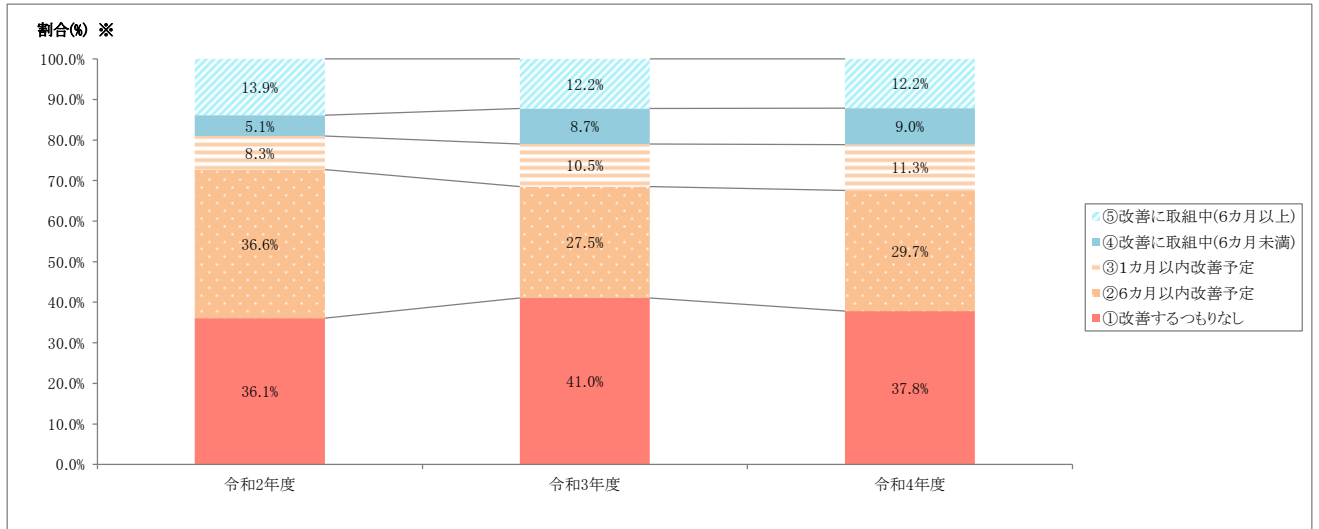
※割合…質問回答者のうち、各選択肢を選択した人の割合。

年度別 生活習慣の改善の意思に関する回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	①改善するつもりなし		②6カ月以内改善予定		③1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
令和2年度	216	78	36.1%	79	36.6%	18	8.3%
令和3年度	229	94	41.0%	63	27.5%	24	10.5%
令和4年度	222	84	37.8%	66	29.7%	25	11.3%

年度	質問回答者数(人) ※	④改善に取り組中(6カ月未満)		⑤改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
令和2年度	216	11	5.1%	30	13.9%
令和3年度	229	20	8.7%	28	12.2%
令和4年度	222	20	9.0%	27	12.2%

年度別 生活習慣の改善の意思に関する回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数 …質問に対し各選択肢を選択した人数。

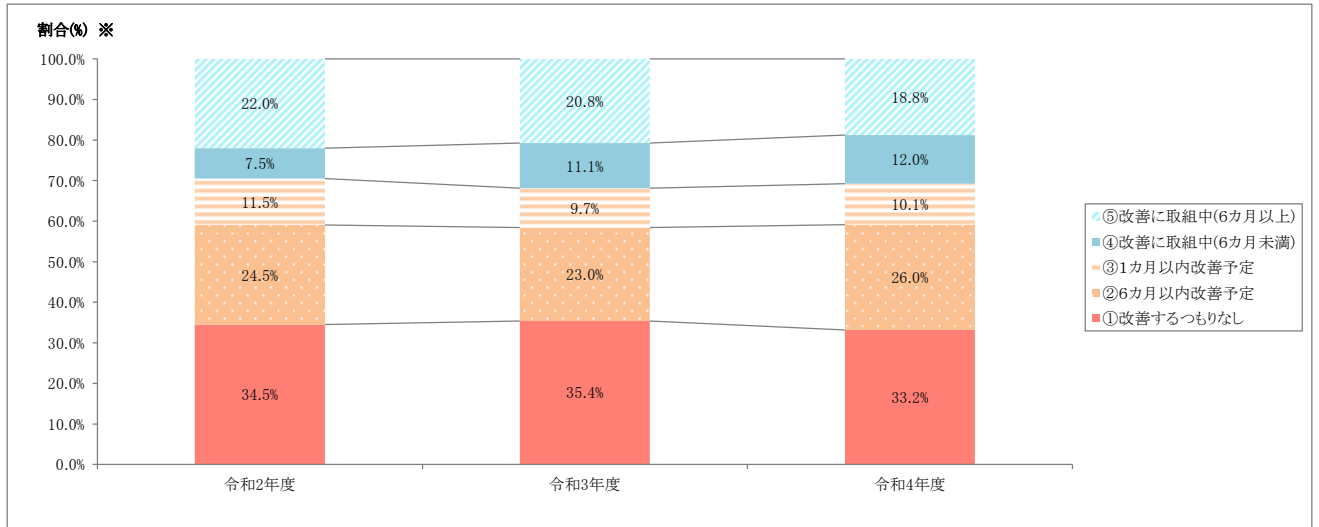
※割合 …質問回答者のうち、各選択肢を選択した人の割合。

年度別 生活習慣の改善の意思に関する回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	①改善するつもりなし		②6カ月以内改善予定		③1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
令和2年度	200	69	34.5%	49	24.5%	23	11.5%
令和3年度	226	80	35.4%	52	23.0%	22	9.7%
令和4年度	208	69	33.2%	54	26.0%	21	10.1%

年度	質問回答者数(人) ※	④改善に取り組中(6カ月未満)		⑤改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
令和2年度	200	15	7.5%	44	22.0%
令和3年度	226	25	11.1%	47	20.8%
令和4年度	208	25	12.0%	39	18.8%

年度別 生活習慣の改善の意思に関する回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか。」の質問に対する回答を集計。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

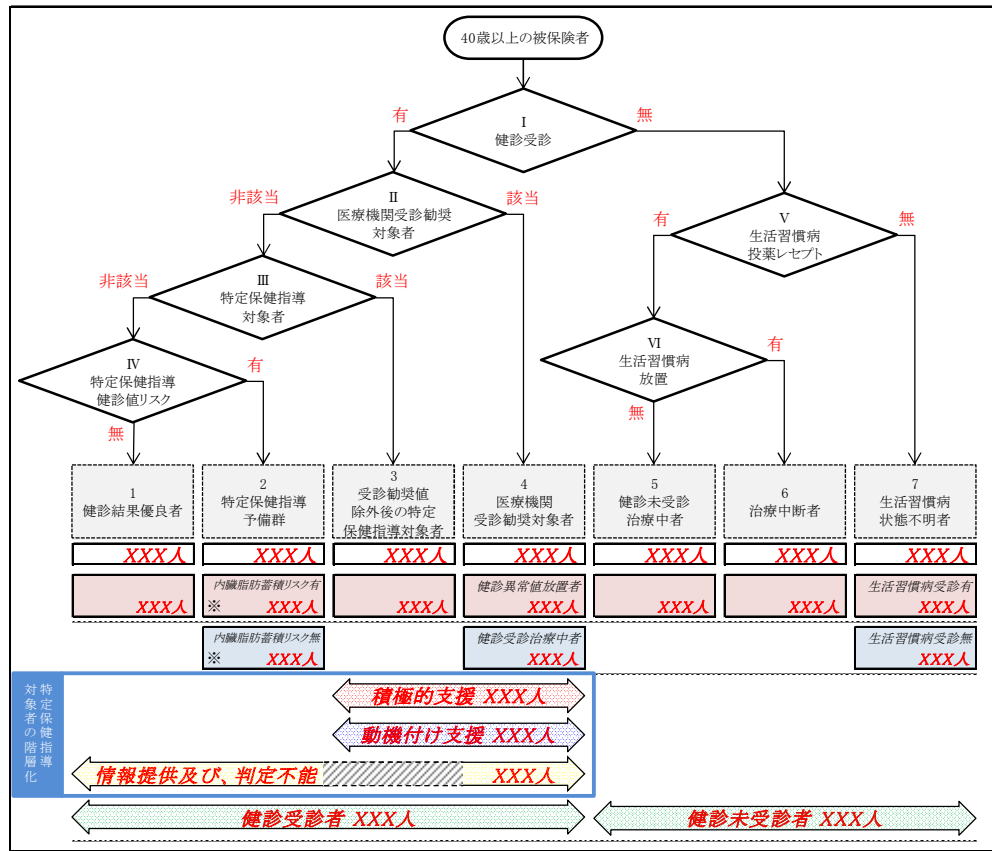
※選択者数…質問に対し各選択肢を選択した人数。

※割合…質問回答者のうち、各選択肢を選択した人の割合。

卷末資料

1. 「指導対象者群分析」のグループ分けの見方

特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析



【フロー説明】

- I 健診受診 …健診受診の有無を判定。
- II 医療機関受診勧奨対象者 …健診値(血糖、血圧、脂質)のいずれかが、厚生労働省が定めた受診勧奨判定値を超えて受診勧奨対象者に該当するか判定。
- III 特定保健指導対象者 …厚生労働省が定めた「標準的な健診・保健指導プログラム」に沿って、特定保健指導対象者に該当するか判定。
- IV 特定保健指導健診値リスク …厚生労働省が定めた保健指導判定値により、健診値(血糖、血圧、脂質)のリスクの有無を判定。判定に喫煙は含まない。
- V 生活習慣病投薬レセプト …生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に関する、投薬の有無を判定。
- VI 生活習慣病放置 …生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)を治療している患者で、一定期間の受診状況により生活習慣病放置の有無を判定。

【グループ別説明】

- 健診受診あり
- 1. 健診結果優良者 …保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しない者。
 - 2. 特定保健指導予備群 …保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しているが、その他の条件(服薬有り等)により保健指導対象者でない者。
 - 内臓脂肪蓄積リスク有 …「2. 特定保健指導予備群」のうち、服薬が有るため特定保健指導対象者にならなかった者。
 - 内臓脂肪蓄積リスク無 …「2. 特定保健指導予備群」のうち、内臓脂肪蓄積リスク(腹囲・BMI)がないため特定保健指導対象者にならなかった者。
 - 3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者 …受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当していない特定保健指導対象者。
 - 4. 医療機関受診勧奨対象者 …受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当する者。
 - 健診異常値放置者 …「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がない者。
 - 健診受診治療中者 …「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がある者。または健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診はないが、健診受診後間もないため病院受診の意志がない「健診異常値放置者」と判断できない者。
- 健診受診なし
- 5. 健診未受診治療中者 …生活習慣病治療中の者。
 - 6. 治療中断者 …過去に生活習慣病の治療をしていたが、生活習慣病に関する医療機関受診が一定期間ない者。
 - 7. 生活習慣病状態不明者 …生活習慣病の投薬治療をしていない者。
 - 生活習慣病受診有 …「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がある者。
 - 生活習慣病受診無 …「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がない者。

2. 用語解説集

	用語	説明
か行	眼底検査	目の奥の状態を調べる検査。通常眼底写真にて検査する。 動脈硬化の程度、高血圧、糖尿病による眼の合併症や緑内障・白内障の有無などを調べるもの。
	血糖	血液内のブドウ糖の濃度。 食前・食後で変動する。低すぎると低血糖、高すぎると高血糖を引き起こす。
	クレアチニン	アミノ酸の一種であるクレアチンが代謝されたあとの老廃物。腎臓でろ過されて尿中に排泄される。 血清クレアチニンの値が高いと、老廃物の排泄機能としての腎臓の機能が低下していることを意味する。
	血圧(収縮期・拡張期)	血管にかかる圧力のこと。心臓が血液を送り出すときに示す最大血圧を収縮期血圧、全身から戻った血液が心臓にたまっているときに示す最小血圧を拡張期血圧という。
	健康寿命	健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間。
	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施	高齢者の心身の多様な課題に対応し、きめ細かな支援を実施するため、後期高齢者の保健事業について、後期高齢者医療広域連合と市町村の連携内容を明示し、市町村において、介護保険の地域支援事業や国民健康保険の保健事業と一体的に実施するもの。
さ行	ジェネリック医薬品	後発医薬品のこと。先発医薬品と治療的に同等であるものとして製造販売が承認され、一般的に研究開発に要する費用が低く抑えられることから、先発医薬品に比べて薬価が安い医薬品。
	疾病分類	「疾病、傷害及び死因の統計分類」の「ICD-10(2013年版)準拠 疾病分類表」を使用。
	人工透析	機能が著しく低下した腎臓に代わり機械で老廃物を取り除くこと。1回につき4～5時間かかる治療を週3回程度、ずっと受け続ける必要があり、身体的にも時間的にも、大きな負担がかかる。
	心電図	心臓の筋肉に流れる電流を体表面から記録する検査。電流の流れ具合に異常がないかがわかる。 また1分間に電気が発生する回数である心拍数も測定される。
	生活習慣病	食事や運動、休養、喫煙、飲酒などの生活習慣が深く関与し、それらが発症の要因となる疾患の総称。重篤な疾患の要因となる。
	積極的支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクがより高い者に対して行われる保健指導。「動機付け支援」の内容に加え、対象者が主体的に生活習慣の改善を継続できるよう、面接、電話等を用いて、3カ月以上の定期的・継続的な支援を行う。
た行	中性脂肪	肉や魚・食用油など食品中の脂質や、体脂肪の大部分を占める物質。単に脂肪とも呼ばれる。
	動機付け支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高い者に対して行われる保健指導。医師・保健師・管理栄養士等による個別、またはグループ面接により、対象者に合わせた行動計画の策定と保健指導が行われる。初回の保健指導修了後、対象者は行動計画を実践し、3カ月経過後に面接、電話等で結果の確認と評価を行う。
	特定健康診査	平成20年4月から開始された、生活習慣病予防のためのメタボリックシンドロームに着目した健康診査のこと。特定健診。40歳～74歳の医療保険加入者を対象とする。
	特定保健指導	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高く、生活改善により生活習慣病の予防効果が期待できる人に対して行う保健指導のこと。特定保健指導対象者の選定方法により「動機付け支援」「積極的支援」に該当した人に対し実施される。
な行	尿酸	食べ物に含まれるプリン体という物質が肝臓で分解されてできる、体には必要のない老廃物。主に腎臓からの尿に交じって体外に排出される。
は行	標準化死亡率	標準化死亡率は、基準死亡率(人口10万対の死亡数)を対象地域に当てはめた場合に、計算により求められる期待される死亡数と実際に観察された死亡数とを比較するものである。我が国の平均を100としており、標準化死亡率が100以上の場合は我が国の平均より死亡率が多いと判断され、100以下の場合は死亡率が低いと判断される。

用語		説明
	腹囲	へその高さで計る腰回りの大きさ。内臓脂肪の蓄積の目安とされ、メタボリックシンドロームを診断する指標のひとつ。
	フレイル	フレイルとは、健康な状態と要介護状態の中間の段階をさす。年齢を重ねていくと、心身や社会性などの面でダメージを受けたときに回復できる力が低下し、これによって健康に過ごせていた状態から、生活を送るために支援を受けなければならない要介護状態に変化していく。
ま行	メタボリックシンドローム	内臓脂肪型肥満に高血圧、高血糖、脂質代謝異常が組み合わさり、心臓病や脳卒中などの動脈硬化性疾患を招きやすい状態。内臓脂肪型肥満(内臓肥満・腹部肥満)に加えて、血圧・血糖・脂質の基準のうち2つ以上に該当する状態を「メタボリックシンドローム」、1つのみ該当する状態を「メタボリックシンドローム予備群」という。
や行	有所見	検査の結果、何らかの異常(検査基準値を上回っている等)が認められたことをいう。
ら行	レセプト	診療報酬明細書の通称。
A～Z	AST/ALT	AST(GOTともいう)は、心臓、筋肉、肝臓に多く存在する酵素である。ALT(GPTともいう)は、肝臓に多く存在する酵素である。数値が高い場合は急性肝炎、慢性肝炎、脂肪肝、肝臓がん、アルコール性肝炎などが疑われる。
	BMI	[体重(kg)]÷[身長(m)の2乗]で算出される値で、Body Mass Indexの略。肥満や低体重(やせ)の判定に用いる体格指数のこと。
	eGFR	腎臓機能を示す指標で、クレアチニン値を性別、年齢で補正して算出する。腎臓の中にある毛細血管の集合体である「糸球体」が1分間にどれくらいの血液を濾過して尿を作れるかを示す値。数値が低いと腎臓の機能が低下していることを意味する。
	HbA1c	ブドウ糖と血液中のヘモグロビンが結びついたもので、過去1～2カ月の平均的な血糖の状態を示す検査に使用される。
	HDLコレステロール	余分なコレステロールを回収して肝臓に運び、動脈硬化を抑える。善玉コレステロール。
	ICT	Information and Communications Technology(インフォメーションアンドコミュニケーションテクノロジー/情報通信技術)の略。コンピュータやデータ通信に関する技術をまとめた呼び方。特定保健指導においてもその活用が推進されており、代表的なツールとしては、Web会議システムやスマートフォンアプリ、Webアプリ等が挙げられる。
	KDB	「国保データベース(KDB)システム」とは、国保保険者や後期高齢者医療広域連合における保健事業の計画の作成や実施を支援するため、健診・保健指導、医療、介護の各種データを併せて分析できるシステムのこと。
	LDLコレステロール	肝臓で作られたコレステロールを全身へ運ぶ役割を担っており、増えすぎると動脈硬化を起こして心筋梗塞や脳梗塞を発症させる。悪玉コレステロール。
	non-HDLコレステロール	総コレステロールからHDLコレステロールを減じたもの。数値が高いと、動脈硬化、脂質代謝異常、甲状腺機能低下症、家族性高脂血症などが疑われる。低い場合は、栄養吸収障害、低βリポたんぱく血症、肝硬変などが疑われる。

3. 疾病分類

疾病分類表(2013年版)

コード	疾病分類	主な疾病		
I. 感染症及び寄生虫症				
0101	腸管感染症	下痢症	急性胃腸炎	感染性胃腸炎
0102	結核	肺結核	結核性胸膜炎	潜在性結核感染症
0103	主として性的伝播様式をとる感染症	梅毒	クラミジア頸管炎	淋病
0104	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	尋常性疣贅	帯状疱疹	単純ヘルペス
0105	ウイルス性肝炎	B型肝炎	C型肝炎	C型慢性肝炎
0106	その他のウイルス性疾患	アデノウイルス感染症	流行性角結膜炎	RSウイルス感染症
0107	真菌症	足白癬	皮膚カンジダ症	爪白癬
0108	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	陳旧性肺結核	肺結核後遺症	小児麻痺後遺症
0109	その他の感染症及び寄生虫症	ヘリコバクター・ピロリ感染症	溶連菌感染症	敗血症
II. 新生物<腫瘍>				
0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃癌	早期胃癌	胃体部癌
0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	大腸癌	S状結腸癌	上行結腸癌
0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌	直腸S状部結腸癌	直腸癌術後再発
0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	肝癌	肝細胞癌	原発性肝癌
0205	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	肺癌	上葉肺癌	下葉肺癌
0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳癌	乳房上下外側部乳癌	乳癌再発
0207	子宮の悪性新生物<腫瘍>	子宮体癌	子宮頸癌	子宮癌
0208	悪性リンパ腫	悪性リンパ腫	非ホジキンリンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫
0209	白血病	成人T細胞白血病リンパ腫	白血病	慢性骨髄性白血病
0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌	睪癌	膀胱癌
0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	子宮筋腫	脳腫瘍	肺腫瘍
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害				
0301	貧血	鉄欠乏性貧血	貧血	巨赤芽球性貧血
0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	播種性血管内凝固	血液凝固異常	血小板減少症
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患				
0401	甲状腺障害	甲状腺機能低下症	甲状腺機能亢進症	甲状腺腫
0402	糖尿病	糖尿病	2型糖尿病	糖尿病網膜症
0403	脂質異常症	高脂血症	高コレステロール血症	脂質異常症
0404	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	脱水症	高尿酸血症	卵巣機能不全
V. 精神及び行動の障害				
0501	血管性及び詳細不明の認知症	認知症	血管性認知症	老年精神病
0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	ニコチン依存症	アルコール依存症	急性アルコール中毒
0503	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症	統合失調症様状態	幻覚妄想状態
0504	気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	うつ病	うつ状態	躁うつ病
0505	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	不安神経症	神経症	心身症
0506	知的障害<精神遅滞>	知的障害	軽度知的障害	重度知的障害
0507	その他の精神及び行動の障害	摂食障害	器質性精神障害	せん妄

コード	疾病分類	主な疾病		
VI. 神経系の疾患				
0601	パーキンソン病	パーキンソン症候群	パーキンソン病	パーキンソン病Yahr3
0602	アルツハイマー病	アルツハイマー型認知症	アルツハイマー病	アルツハイマー型老年認知症
0603	てんかん	てんかん	症候性てんかん	精神運動発作
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	片麻痺	脳性麻痺	不全麻痺
0605	自律神経系の障害	自律神経失調症	神経調節性失神	自律神経障害
0606	その他の神経系の疾患	不眠症	片頭痛	睡眠時無呼吸症候群
VII. 眼及び付属器の疾患				
0701	結膜炎	アレルギー性結膜炎	結膜炎	慢性結膜炎
0702	白内障	白内障	加齢性白内障	後発白内障
0703	屈折及び調節の障害	近視性乱視	遠視性乱視	老視
0704	その他の眼及び付属器の疾患	ドライアイ	緑内障	眼精疲労
VIII. 耳及び乳様突起の疾患				
0801	外耳炎	外耳炎	外耳湿疹	急性外耳炎
0802	その他の外耳疾患	耳垢栓塞	耳介軟骨膜炎	耳瘻孔
0803	中耳炎	滲出性中耳炎	急性中耳炎	中耳炎
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	耳管狭窄症	耳管機能低下	真珠腫性中耳炎
0805	メニエール病	メニエール病	メニエール症候群	内耳性めまい
0806	その他の内耳疾患	良性発作性頭位めまい症	末梢性めまい症	耳性めまい
0807	その他の耳疾患	感音難聴	難聴	耳鳴症
IX. 循環器系の疾患				
0901	高血圧性疾患	高血圧症	本態性高血圧症	高血圧性心疾患
0902	虚血性心疾患	狭心症	急性心筋梗塞	心筋梗塞
0903	その他の心疾患	心不全	不整脈	慢性心不全
0904	くも膜下出血	くも膜下出血	くも膜下出血後遺症	脳動脈瘤破裂
0905	脳内出血	脳出血	脳出血後遺症	視床出血
0906	脳梗塞	脳梗塞	脳梗塞後遺症	多発性脳梗塞
0907	脳動脈硬化（症）	脳動脈硬化症	動脈硬化性脳症	
0908	その他の脳血管疾患	内頸動脈狭窄症	頸動脈硬化症	脳血管障害
0909	動脈硬化（症）	閉塞性動脈硬化症	動脈硬化症	動脈硬化性網膜症
0911	低血圧（症）	起立性低血圧症	低血圧症	起立性調節障害
0912	その他の循環器系の疾患	深部静脈血栓症	末梢循環障害	慢性動脈閉塞症
X. 呼吸器系の疾患				
1001	急性鼻咽頭炎 [かぜ] <感冒>	感冒	急性鼻炎	急性鼻咽頭炎
1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	咽頭炎	急性咽頭炎	扁桃炎
1003	その他の急性上気道感染症	急性上気道炎	急性咽頭喉頭炎	急性副鼻腔炎
1004	肺炎	肺炎	急性肺炎	マイコプラズマ肺炎
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	急性気管支炎	マイコプラズマ気管支炎	クループ性気管支炎

コード	疾病分類	主な疾病		
1006	アレルギー性鼻炎	アレルギー性鼻炎	花粉症	季節性アレルギー性鼻炎
1007	慢性副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎	副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎急性増悪
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	気管支炎	気管気管支炎	びまん性気管支炎
1009	慢性閉塞性肺疾患	慢性気管支炎	肺気腫	慢性閉塞性肺疾患
1010	喘息	気管支喘息	喘息性気管支炎	気管支喘息発作
1011	その他の呼吸器系の疾患	インフルエンザ	呼吸不全	誤嚥性肺炎
X I. 消化器系の疾患				
1101	う蝕	う蝕	二次う蝕	う蝕第2度
1102	歯肉炎及び歯周疾患	歯周炎	歯肉炎	歯冠周囲炎
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	顎関節症	歯痛	顎関節炎
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	出血性胃潰瘍
1105	胃炎及び十二指腸炎	慢性胃炎	胃炎	急性胃炎
1106	痔核	内痔核	痔核	外痔核
1107	アルコール性肝疾患	アルコール性肝障害	アルコール性肝炎	アルコール性肝硬変
1108	慢性肝炎（アルコール性のものを除く）	慢性肝炎	活動性慢性肝炎	慢性肝炎増悪
1109	肝硬変（アルコール性のものを除く）	肝硬変症	原発性胆汁性肝硬変	非代償性肝硬変
1110	その他の肝疾患	肝機能障害	脂肪肝	肝障害
1111	胆石症及び胆のう炎	胆のう結石症	胆のう炎	総胆管結石
1112	膵疾患	膵炎	急性膵炎	慢性膵炎
1113	その他の消化器系の疾患	便秘症	逆流性食道炎	口内炎
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患				
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	皮膚感染症	蜂窩織炎	膿痂疹性湿疹
1202	皮膚炎及び湿疹	湿疹	皮膚炎	アトピー性皮膚炎
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	皮脂欠乏症	皮脂欠乏性湿疹	じんま疹
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患				
1301	炎症性多発性関節障害	関節リウマチ	痛風	関節炎
1302	関節症	変形性膝関節症	変形性関節症	変形性股関節症
1303	脊椎障害（脊椎症を含む）	腰部脊柱管狭窄症	変形性腰椎症	頸椎症
1304	椎間板障害	腰椎椎間板症	腰椎椎間板ヘルニア	頸椎椎間板ヘルニア
1305	頸腕症候群	頸肩腕症候群	頸肩腕障害	
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	腰痛症	坐骨神経痛	筋筋膜性腰痛症
1307	その他の脊柱障害	腰椎すべり症	背部痛	頸部痛
1308	肩の傷害<損傷>	肩関節周囲炎	肩関節腱板炎	肩石灰性腱炎
1309	骨の密度及び構造の障害	骨粗鬆症	閉経後骨粗鬆症	脊椎骨粗鬆症
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	筋肉痛	神経痛	関節痛
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患				
1401	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	腎炎	腎盂腎炎	水腎症
1402	腎不全	慢性腎不全	腎性貧血	腎不全

コード	疾病分類	主な疾病		
1403	尿路結石症	腎結石症	尿管結石症	尿路結石症
1404	その他の腎尿路系の疾患	膀胱炎	腎機能低下	尿路感染症
1405	前立腺肥大（症）	前立腺肥大症	前立腺症	
1406	その他の男性生殖器の疾患	慢性前立腺炎	前立腺炎	亀頭包皮炎
1407	月経障害及び閉経周辺期障害	更年期症候群	月経困難症	萎縮性膣炎
1408	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	子宮腔部びらん	細菌性膣炎	膣炎
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく				
1501	流産	稽留流産	異所性妊娠	絨毛性疾患
1502	妊娠高血圧症候群	妊娠高血圧症候群	重症妊娠高血圧症候群	子癇
1503	単胎自然分娩	自然頭位分娩	自然分娩	単胎自然分娩
1504	その他の妊娠, 分娩及び産じょく	切迫流産	子宮内感染症	血液型不適合
X VI. 周産期に発生した病態				
1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	子宮内胎児発育遅延	低出生体重児	早産児
1602	その他の周産期に発生した病態	新生児黄疸	胎児ジストレス	A B O因子不適合
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常				
1701	心臓の先天奇形	心房中隔欠損症	心室中隔欠損症	先天性心疾患
1702	その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	足底角化症	角皮症	毛孔性苔癬
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの				
1800	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	頭痛	嘔吐症	めまい症
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響				
1901	骨折	腰椎圧迫骨折	肋骨骨折	大腿骨頸部骨折
1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	脳挫傷	外傷性脳出血	硬膜下血腫
1903	熱傷及び腐食	熱傷	第2度熱傷	手熱傷
1904	中毒	刺虫症	蜂刺症	食中毒
1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	打撲傷	結膜異物	捻挫
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用				
2101	検査及び診査のための保健サービスの利用者	検診	健康診断	胃癌検診
2102	予防接種	予防接種		
2103	正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	妊娠	正常妊娠	多産婦
2104	歯の補てつ			
2105	特定の処置（歯の補てつを除く）及び保健ケアのための保健サービスの利用者	抜釘	気管切開口に対する手当て	骨髄移植ドナー
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	白内障術後	ペースメーカー植え込み後	人工股関節置換術後
X X II. 特殊目的用コード				
2210	重症急性呼吸器症候群 [SARS]	重症急性呼吸器症候群		
2220	その他の特殊目的用コード			
分類外				
9999	分類外	ICD-10及び疾病分類に該当のない疾病		

4. 分析方法

データベースの作成方法及び分析方法は、株式会社データホライゾンの特許技術及び独自技術を用いる。

●医療費分解技術(特許第4312757号)

レセプトに記載された全ての傷病名と診療行為(医薬品、検査、手術、処置、指導料等)を正しく結び付け、傷病名毎の医療費を算出する。

レセプトは傷病名毎に点数が振り分けられておらず、通常の統計資料は主傷病名で点数集計されており、また、治療中の傷病と治療済の傷病が併記されている。そのまま分析に使用すると「主傷病以外の傷病の医療費がゼロとなり、傷病名毎の医療費が正確には把握できない」「現在治療中の疾病が把握できない」等の問題がある。医療費分解技術を用いることで、これらの問題を解決し、疾病別に係る医療費を正確に把握できる。

●未コード化傷病名のコード化

レセプトに記載されている未コード化傷病名を、可能な限りコード化する。

レセプトは請求情報のため、傷病名が正確でない場合があり、現状10%程度の未コード化傷病名が含まれている。この問題を解決するため、株式会社データホライゾン独自の辞書情報と突合検索処理を行い、可能な限りコード化を行うことで、集計漏れを極力減らす。

医科レセプト

傷病名	(1) 本態性高血圧(主)	
		(2) 狭心症
	(3) うつ病	
	(4) 高コレステロール血症	
	(5) 2型糖尿病	
	(6) 急性上気道炎	
	(7) アレルギー性鼻炎	
12 再診	調剤レセプト	
13 特診		
60 糖質		
外3 Hb		
尿3 B-	1 プラビックス錠75mg 1錠 66 28	
外3 尿3	2 ニコランマート錠5mg 3錠 2 28	
生1 生1	3 エチカーム錠0.5mg 2錠 1 28	
80 処方	4 スルピリド錠50mg「アメル」 2錠 27 28	
長月	エバデルS900 900mg 2包	
	安全性のため別包	
	【内服】1日2回朝夕食後服用	
	決定点数	2,688

①未コード化傷病名のコード化

未コード化傷病名を株式会社データホライゾン独自の辞書情報と突合検索処理しコード化する。

医科レセプトの記載		コード化
(1)	本態性高血圧(主)	未コード化傷病名 ⇒ 8840107 本態性高血圧症
(2)	狭心症	4139007 狭心症
(3)	うつ病	2961003 うつ病
(4)	高コレステロール血症	2720004 高コレステロール血症
(5)	2型糖尿病	2500015 2型糖尿病
(6)	急性上気道炎	4659007 急性上気道炎
(7)	アレルギー性鼻炎	4779004 アレルギー性鼻炎

②医療費分解後グルーピング

レセプトに記載された全傷病名に対し、適応のある医薬品や診療行為を関連付け、医療費を分解後、傷病毎にグルーピングする。

医科レセプトの記載		薬品	検査	診療行為	合計点数
(1)	本態性高血圧症(主)	184.3	25.2	266.5	476.0
(2)	狭心症	963.6	4.7	61.0	1,029.3
(3)	うつ病	63.7	0.3	11.0	75.0
(4)	高コレステロール血症	858.1	4.1	57.2	919.4
(5)	2型糖尿病	618.3	356.7	61.3	1,036.3
(6)	急性上気道炎	0.0	0.0	0.0	0.0
(7)	アレルギー性鼻炎	0.0	0.0	0.0	0.0
合計					3,536.0

●傷病管理システム(特許第5203481号)

レセプトに記載されている傷病識別情報、医薬品識別情報及び診療行為識別情報に基づき、傷病の重症度を判定する。

例えば糖尿病の重症度を判定することで、将来の重症化予測や特定した対象患者の病期に合わせた的確な指導を行うことが可能となる。株式会社データホライゾンにおいて開発した傷病管理システムを用いて、糖尿病患者を階層化し特定する。

●レセプト分析システムおよび分析方法(特許第5992234号)

中長期にわたるレセプトから特定の患者についてアクティブな傷病名とノンアクティブな傷病名を識別する。

レセプトに記載されている傷病名は、追記式のため、過去から現在までの傷病名が記載されており、そのうち、約4割が現在治療中でない傷病名といわれている。重症化予防や受診勧奨等、個別の保健事業の実施に当たっては、現在治療中の傷病名のみを取り出し、該当者を抽出する必要がある。前述の「医療費分解技術」では、当月の傷病名別にどのような医薬品や診療行為が使用されたのかは把握できた。しかし、傷病の種類によっては、中長期にわたる投薬や診療がなされるため、必ずしもその傷病名がアクティブかノンアクティブかを識別することが困難だったが、当特許技術で解決した。

●服薬情報提供装置、服薬情報提供方法、およびコンピュータプログラム(特許第6409113号)

多剤併用による薬物有害事象(ポリファーマシー)が大きな社会問題となるなか、お薬手帳が実現できなかった患者の全服薬情報を一元的に管理することが求められている。本特許を活用することで、今まで実現できなかった、医科・調剤レセプトから取得した患者毎の全服薬情報を一元的に把握し、患者本人への啓発を促し、かかりつけ医やかかりつけ薬剤師への服薬情報提供を通してポリファーマシー解消のための服薬指導を支援することが可能となる。

●マスタの整備

マスタ(傷病名、医薬品、診療行為等レセプトに記載される全てを網羅したデータベース)を定期的にメンテナンスし最新状態に保つ。

